



ユーザーマニュアル
KABE (Mercedes-Benz)
2023



-
- 新しいキャンピングカーおめでとうございます!
 - KABEキャンピングカーの選択おめでとうございます。
 - KABEキャンピングカーは細心の注意を払って設計および製造されています。そのよく計画されたレイアウトと細部までの品質へのこだわりは、それが非常に長年にわたってあなたに大きな喜びを与えることを保証します。
 - キャンピングカーの使用を開始する前に、ユーザーマニュアルを注意深くお読み下さい。これにより、不要な問題を回避出来ます。さらに、マニュアルの指示はKABEキャンピングカーを最大限に活用するのを助けるでしょう。
 - もちろん、特定の機器アイテムは非常に詳細な理解を必要とします。KABE販売店は喜んでキャンピングカーの技術仕様や正しい使用に関して不確実性がある場合はご相談下さい。
 - 私達はオーナー様のKABEトラベルマスターとたくさんの幸せを願っています!

インデックス

前書き

ユーザーマニュアルについて.....	1-1
添付ドキュメント.....	1-1

安全についての案内

交通安全.....	2-1
電気安全.....	2-1
換気.....	2-1
内装金具.....	2-1
火災安全.....	2-1
ガスボンベ.....	2-1

使用

チェックリスト.....	3-2
ご旅行の前に.....	3-2
駐車時.....	3-2
キャンプ場に設営する場合.....	3-2
冬季使用時.....	3-3
ガソリン充填時.....	3-3
主電源スイッチ.....	3-4
コントロールパネル.....	3-4
ステップの操作.....	3-5
シート.....	3-6
ラウンジシートの準備.....	3-8
シートベルト.....	3-8
旅行中のテーブルの位置.....	3-8
テーブルの調整.....	3-9
ダイネットベッドのメイクアップ.....	3-1
引き出し式エクステンション付きのシート.....	3-10
引き出し式エクステンションとサイドソファ付きのシート.....	3-11
サイドソファとベッドクッション1個付きシート.....	3-12
サイドソファ1台とベッドクッション2個付きシート.....	3-13
サイドソファとベッドクッション3個付きシート.....	3-14
KABE VANのラウンジシート.....	3-15
フロントプルダウンベッド.....	3-16
フロントガラスブラインド.....	3-17
電気ブラインドの操作.....	3-17
KABE VAN:フロントガラスブラインド.....	3-18
積載.....	3-19
全般.....	3-19
負荷ポジショニング.....	3-19
ガレージ(ラゲッジ).....	3-19
ガスボンベシステム.....	3-20
ガスボンベの交換.....	3-20
リークインジケータの使用.....	3-20
冷蔵庫.....	3-21
ガスコンロ.....	3-23
ガスコンロの使用.....	3-23
ガスコンロをオフにする.....	3-23
電子レンジ.....	3-24
暖房システム.....	3-25
暖房システムの起動.....	3-26
温度設定.....	3-27
温水.....	3-27
230V電源を使用したボイラー.....	3-28
ガスボンベを使用したボイラー.....	3-29
床暖房の設定.....	3-30
走行中のリビングエリアの暖房.....	3-31
冬季使用時.....	3-32

清水/排水システム	3-33
真水で満たす.....	3-33
清水システムの排水.....	3-34
清水タンクの清掃.....	3-34
排水タンクの排水.....	3-35
排水タンクの清掃.....	3-36
水道の蛇口を使う.....	3-37
排水システムの使用.....	3-37
シャワーを使う.....	3-37
シンデレラモーションガス燃焼トイレ	3-38
トイレの使用準備.....	3-38
トイレを使う.....	3-38
汚物を空にする.....	3-38
セットフォードC263水洗力セットトイレ	3-39
トイレの使用準備.....	3-39
トイレを使う.....	3-39
汚物を空にする.....	3-40
サブバッテリー充電	3-41
サブバッテリーの充電を確認する.....	3-41
サブバッテリーの充電.....	3-41
サイレントモード.....	3-41
3.....	4
.....	1

説明

説明 - 車両	4-2
シャーシー.....	4-2
牽引フック.....	4-2
ランニングライト.....	4-2
ホイール.....	4-3
スノーチェーン.....	4-3
サポートレグ	4-4
手動サポートレグ.....	4-4
油圧サポートレグ.....	4-5
ガス配管システム	4-6
ガスポンペ.....	4-6
ガス配管システム.....	4-6
ガスボトル.....	4-7
ホースブレークバルブ.....	4-8
ガス用圧力調整器.....	4-8
リークインジケータ.....	4-9
ガス配管システムの確認.....	4-10
ガスの圧力と温度.....	4-10
ガスポンペ消費量.....	4-10
冷蔵庫	4-11
冷蔵庫の電源を切る.....	4-11
トラベルキャッチ.....	4-11
冷蔵庫の換気を適応させる.....	4-12
冷蔵庫の後ろのファン.....	4-12
冷蔵庫の説明.....	4-13
暖房システム	4-15
暖房システムに関する一般	4-15
ボイラー.....	4-17
リザーバータンク.....	4-19
暖房システム.....	4-20
対流式暖房システム.....	4-20
床暖房.....	4-21
ゾーンヒート.....	4-22
フロントガラス暖房.....	4-22
冬季使用時.....	4-22
換気	4-23
固定換気.....	4-23
ルーフハッチ.....	4-23
キッチン換気扇.....	4-23
結露.....	4-23
エアベント.....	4-24
エアコン(エアコン).....	4-24

清水/排水システム.....	4-25
清水システム.....	4-25
排水システム.....	4-29
凍結のリスク.....	4-31
トイレ.....	4-32
シンデレラモーションガス焼却トイレ.....	4-32
セットフォードC263水洗カセットトイレ.....	4-33
電気系統.....	4-34
230 V AC 電気システム.....	4-34
230Vインバーター.....	4-35
主電源スイッチ、12 Vシステム.....	4-36
エンジン始動時のアラーム.....	4-36
リビングエリア12Vシステムの一般的な技術的説明.....	4-37
コントロールパネル.....	4-38
バッテリーとバッテリー充電.....	4-45
照明.....	4-48
人感センサー付きポーチライト.....	4-48
ヒューズ／ブレーカー.....	4-49
回路図.....	4-60
ソーラーパネル.....	4-63
説明-アンテナシステム.....	4-64
KABE Smart Dリモート.....	4-65
紹介.....	4-65
条件.....	4-65
車両への接続.....	4-65
複数の携帯電話を接続する.....	4-65
車両所有権の変更について.....	4-65
スタートメニュー.....	4-66
ボイラーメニュー.....	4-67
エアコン / エアVENTメニュー.....	4-68

メンテナンス

メンテナンススケジュール.....	5-2
毎週のメンテナンス.....	5-2
毎月のメンテナンス.....	5-2
年次メンテナンス.....	5-2
清掃.....	5-3
外装を洗う.....	5-3
内部の掃除.....	5-5
まな板.....	5-5
長期保管.....	5-6
長期保管前の注意事項.....	5-6
長期保管時の注意事項.....	5-7
長期保管後のご使用前の注意事項.....	5-7
対流式暖房システムのエア抜き.....	5-8
ワークトップ引き出し.....	5-9
引き出し調整.....	5-9
引き出しの取り外し.....	5-9
引き出し継手.....	5-9
ワークトップ引き出しバスケット.....	5-10
引き出し式取り外し.....	5-10
引き出し式フィッティング.....	5-10
フロントパネルの調整.....	5-10
食器棚のドア調整.....	5-11
食器棚の扉.....	5-11
オーバーヘッド食器棚ドア.....	5-11

前書き

ユーザーマニュアルについて

このユーザーマニュアルは、2022年のKABEトラベルマスター(メルセデスベンツ)のリビングエリア用です。

このマニュアルの情報は、次の4つのセクションに分かれています。

- ・安全についての案内
- ・使う
- ・説明
- ・メンテナンス

このマニュアルの「安全上の注意」セクションでは、リスクを回避するための簡潔な情報を提供します。

「使用」セクションは参照用です。さまざまな機器の使用に関するわかりやすいステップバイステップの指示を提供します。

「使用」セクションでは、キャンピングカーのリビングエリアを正しく使用するための十分な情報も提供します。ただし、詳細と深い理解を得るには、「説明」セクションも読む必要があります。

「説明」セクションは、次の目的で設計されています。

- ・キャンピングカーとその部品に関する情報を提供して、ユーザーがこれらがどのように機能し、相互に相互作用するかを理解します。
- ・マニュアルに従って使用および保守できるように、部品を特定して名前を付けます。
- ・キャンピングカーを正しく使用するために重要なリスクに注意して下さい。
- ・詳細な情報と指示を追加して、「使用」セクションの手順を補完します。
- ・これらのセクションのテキストとイラストは、主に説明的であることを目的としています。

「メンテナンス」セクションでは、キャンピングカーを正しくメンテナンスするための手順を説明します。メンテナンスには、スケジュールされたチェックとその他の対策の両方が含まれます。

このユーザーマニュアルは、キャンピングカーのリビングエリアにのみ関連していることに注意してください。

キャンピングカーの車両部分の使用とメンテナンスに関する指示については、KABE車両の製造元が提供するユーザーマニュアルを参照します。

本マニュアルの図は、オプションの機器または非標準のバリエーションに関連している場合があります。

添付ドキュメント

キャンピングカーの電化製品および機器の製造元からの文書は、このマニュアルに添付されています。すべての機器の正しい操作、使用、およびメンテナンスを理解するには、このドキュメントも読むことが重要です。

特定の情報は、KABEのユーザーマニュアルと機器メーカーのドキュメントの両方に記載されています。これらの情報または指示の間に矛盾がある場合は、製造元のドキュメントが優先されます。

安全についての案内

交通安全

キャンピングカーが正しくロードされていることを確認して下さい。荷物はキャンピングカーに均等に分散して固定する必要があります。

重い荷物は低く配置する必要があります。軽量の機器のみが頭上の食器棚や同様の保管施設に保管されません。

乗客に害を及ぼす可能性のある緩い機器があってはなりません。

荷物の重量を確認し、車両の最大許容重量を超えていないことを確認します。

キャンピングカーに荷重を分散して、許容された車軸荷重を超えないようにします。各車軸の許容荷重は、エンジンベイのプレートに記載されています。

自転車運搬船付きのキャンピングカー:

自転車キャリアが「ドライブ」位置に固定されていること、および自転車が正しく取り付けられて固定されていることを確認して下さい。

ご旅行前に:

- すべての外部ドアを閉じます。
- キャンピングカーのステップが引っ込められていることを確認して下さい。
- サポートレグが完全に巻き上げられていることを確認します。
- 内部の食器棚のドアと引き出しを閉じます。
- 冷蔵庫のドアが固定されていることを確認して下さい。

電気安全

230 V ACを接続するには、3x2.5 mm²アースケーブルを使用します。

屋外での使用と3,600Wの電力負荷が承認されています。電源ケーブルはアースされたソケットにのみ接続して下さい。

電源ケーブルがすべての危険の邪魔にならないように配置されていることを確認して下さい。

損傷した電源ケーブルを交換する必要があります。サブバッテリーを交換するときは、キャンピングカーとその機器に適した種類のサブバッテリーを使用して下さい。怪我や過熱の危険があります。

換気

すべての換気チャネルが遮られていないことを確認して下さい。

屋根のハッチと換気装置は遮るものがないようにする必要があります。換気を妨げるものがないことを確認して下さい。降雪後は、ルーフハッチとバルブを介した換気を開いたままにしておく必要があります。

内装金具

一部のモデルには天井に取り付けられたベッドがあります。ベッドのフォールガードを使用して下さい。

特定のモデルにはステップがあります。

ステップの最大許容荷重は100kgです。

火災安全

キャンプ場の消防設備をよく理解して下さい。

キャンピングカーの火災には消火器をお勧めします。

ドアがふさがれている/詰まっている場合は、開閉可能な窓を非常口として使用出来ます。開閉可能なウィンドウが遮られたり詰まったりしないようにして下さい。

キャンピングカーの火災警報器が機能していることを確認して下さい。必要に応じて、または年に一度サブバッテリーを交換して下さい。週に一度火災警報器をテストします(警報が鳴るまでボタンを押し続けます)。

火災が発生した場合:

230V電源を切断します

- ガスボンベロッカーのガスボンベのマスターバルブを閉じます。
- 可能であれば、ガスボンベを安全な場所に移動して下さい。それらは過度に高い温度にさらされてはならない圧力容器です。ガスボンベを安全に移動出来ない場合は、キャンピングカーの近くから避難して下さい。
- 消防士にガスボンベの場所を伝えます。

ガスボンベ

ガスボンベは非常に可燃性です。それは敬意を持って扱われなければなりません。

ガスボンベを交換する時は、その領域に引火や、ガスを発火させる可能性のある光る物体や高温の物体がないことを確認して下さい。

ガス器具に火がついている場合は、ガソリンスタンドへの運転は禁止されています。ボイラーと冷蔵庫の電源がオフになっていることを確認して下さい。ガソリンスタンドに運転する前にすべてのガス器具の電源を切る事は、ドライバーの責任です。

ガレージ、フェリー、またはその他の閉鎖された場所では、ガス器具の電源を切り、各ボンベのマスターバルブを閉じる必要があります。

キャンピングカーを使用していない時は、各ガスのモーターバルブを閉じて下さい。

ガスボンベを交換する時は、リークテスターを使用してシステムの漏れをテストします。漏れの疑いがある場合は、専門家に連絡して下さい。

毎年、専門家はガスシステムの漏れをテストする必要があります。ガスシステムの修理は専門家が行う必要があります。キャンピングカーのガス器具には、このマニュアルに記載されている種類のガスボンベ(つまり、標準のガスボンベ)のみを使用出来ます。

使用

使用

チェックリスト

ご旅行の前に

- ・ 負荷: 過負荷を避けて下さい。キャンピングカーの総許容重量を超えないようにして下さい。
負荷は正しく分散されている必要があります(重心が低く、キャンピングカーの右側と左側に均等に分散されます)。
リビングエリアには、乗客に危険をもたらす可能性のある緩い物体があってはなりません。
荷物は、荷物がずれたり、緩んだり、損傷したりするリスクがないように固定または配置する必要があります。
- ・ テレビアンテナは下がっているか確認
- ・ 冷蔵庫のドアが固定されているか確認 室内ドア、引き出し、まな板は閉じたり固定したりします。
- ・ 屋根のハッチと窓は閉じてあるか確認 ルーフハッチの遮光カーテンを上げる必要があります。
- ・ シャワードアまたは折りたたみパネルが固定されているか確認
- ・ 旅行中はトイレのドアを閉める必要があります。
- ・ 特定のレイアウトには中央の通路を横切って閉じるドアがあります。旅行中は、トイレのドアを閉める必要があります。
- ・ 旅行中はトイレのドアを閉める必要があります。これは、中央通路を横切って閉じるドアがあるモデルにも当てはまります。旅行中は、トイレのドアを閉める必要があります。
- ・ 進行方向に回転シートを戻して下さい。
- ・ ステップが収納された事を確認
- ・ ドアが閉まった事を確認
- ・ 各ガスボンベのメインバルブが閉じたことを確認
- ・ 外部AC電源ケーブルとTVケーブルを外した事を確認
- ・ 屋根の上に雪、氷、その他の緩い物体が無い事を確認
- ・ サポート脚を収納した事を確認(サポートレッグを装着したキャンピングカー)
- ・ 装着オプション機器(自転車キャリア、エアコンなど)の作動確認

駐車時

駐車時:運転席のドアを開閉します。

キャンピングカーの車両部分は、短い間も動作するいくつかの機能を持つようにプログラムされています。

ドアを開閉する事で、車両が駐車されていることを確認します。

サイドライトが消え、他のいくつかの機能がシャットダウンします。

運転席/助手席ドアが開いている時は、関連するステップライトが点灯します。ステップライトはしばらくすると消えますが、運転席または助手席のドアが開いている時はいつでも再び点灯します。

キャンプ場に設営する場合

積み荷を簡単にアクセス出来る事を確認して下さい。

キャンピングカーを水平になるように駐車します(つまり、どの方向にも傾けないようにします)。

サポートレッグを展開してキャンピングカーを安定させます。(サポートレッグを装着したキャンピングカー)

可能/必要な場合は、230V電源を接続します。

特定のキャンピングカーにはアラームがあります。

キャンピングカーがロックされると、アラームが作動します。

室内にいる時にキャンピングカーをロックする場合は、アラームの人感センサーを無効にする必要があります。(キャンピングカーのドアは警戒しています)

アラームの人感センサーを無効にするには、デバイスのウィンドウモジュールのアラームLEDの横にあるボタンを使用します。LEDが消えるまでボタンを押し続けます。次に、リモコン(キー)を使用してキャンピングカーをロックします。アラームの人感センサーは、キャンピングカーのイグニッションがオンになるまで非アクティブになります。これにより、アラームが通常の機能にリセットされます。

冬季使用時

冬季使用前

- ・ ロックを凍結から保護する為に、適切な潤滑油等でロックを潤滑します。
- ・ 暖房システムのラジエーター液レベルが正しいことを確認して下さい。
- ・ サブバッテリーが完全に充電されている事を確認します。
- ・ 安全策として、ガスボトルを2本携帯して下さい。
- ・ 冬のハッチを冷蔵庫の換気グリルに取り付けます。
- ・ サイドブレーキを使用する場合は、凍結するリスクがあります。
- ・ 暖房を開始する前に、ルーフハッチとバルブから雪と氷を取り除きます(キャンピングカーの換気が機能するように)
- ・ ルーフハッチとルーフバルブが雪で覆われていないことを確認して下さい。安全換気が制限される恐れがあります。

冬季使用時

キャンピングカーが寒い場合は、以下を確認して下さい。

- ・ 電源ケーブルが接続されている事を確認
- ・ 電源ポスの230Vブレーカーの確認
- ・ キャンピングカーのボイラー用回路ブレーカーの確認
- ・ リザーバータンクのレベルが正しい事を確認
- ・ 冷蔵庫が冷えない場合は、230 Vではなくガスモードで起動して下さい。
- ・ 水を給水し、清水システムを満たす前に、すべての蛇口と排水バルブが閉じた位置にある事を確認
- ・ 水が蛇口に来ていない場合は、供給ラインが凍結していないことを確認して下さい。
- ・ 煙突に雪や氷がないことを確認して下さい。冬にキャンピングカー使用する時は煙突エクステンションを取り付ける必要があります(屋根に取り付けられた煙突を備えたモデルのみ)
- ・ 固定安全換気システムが雪などで妨げられていないことを確認して下さい。

冬季使用後

- ・ 給水タンクと排水タンクを排水します(別の手順を参照)。すべてのタップをOPENの位置(ホットとコールドの中間)にします。
- ・ 排水ホース、蛇口、ボイラー トイレの汚物タンク処理 それを徹底的に確認して下さい。
- ・ 水道の蛇口とシャワーホース内の水は抜いて下さい。
- ・ 浄水器(オプション)が取り付けられている場合は、取り外して下さい。
- ・ トイレの汚物タンクを空にします。
- ・ 低温によって害を受ける可能性のある食品や身の回り品を取り除きます。
- ・ ボイラーヒーター、サーモスタット、循環ポンプの設定が正しいことを確認して下さい。
- ・ すべてのルーフハッチが閉じていることを確認します。

ガソリン充填時

すべてのガス器具の電源がオフになっていることを確認して下さい。

ガス炎が点灯している場合は、ガソリンスタンドへの運転は禁止されています。火災の危険があります。ポンプが自動的にオフになるまで充填します。



主電源スイッチ

リビングエリアの12Vシステムには、キー付きの主電源スイッチがあります。
キャンピングカーを使用していないときは、メインを回します
電源スイッチをオフにします。



使用

コントロールパネル

コントロールパネルの機能については、セクション4「説明」で説明します。

電気系統(スタンバイ)
オン/オフ



ステップの操作

格納式ステップを持つモデルにのみ適用されます。ドアのすぐ内側にあるスイッチを使用して、ステップを操作します。

ステップは、完全に伸ばした位置でのみ使用する必要があります。

移動する前に、スイッチを使用してステップを引っ込みます。

ステップが完全に引っ込めたことを確認後、走行して下さい。

ステップは、キャンピングカーのエンジンが始動すると自動的に格納されるように接続されています。これは、エンジンが作動しているときにステップが格納位置にロックされていることも意味します。



警告！

旅行する前に、ステップが引っ込められていることを確認して下さい。

旅行中は、他の道路利用者や歩行者に危険を及ぼさないように、ステップを引っ込める必要があります。



使用

備考！

ステップは、完全に伸ばした位置でのみ使用する必要があります。

部分的にしか伸びていない時に利用すると、ステップの部品が損傷する可能性があります。

シート

キャンピングカーのキャブシートは回転出来ます。

旅行中は、運転席と助手席を前向きにロックする必要があります。

Royal Imperial Crown



KABE Van



Royal Imperial Crown



KABE Van



使用

ラウンジシートの準備

シートベルト

一部のモデルには、シートベルト用の格納式マウントがあります。

旅行中、シートベルトマウントは移動位置にある必要があります。正しい移動位置はマーク(A)で示されます。



Travel

Camping

マウントを調整するには、マウントの高さも調整しながらボタンを押します。ボタンはクッションに隠されています。シートベルトマウントは強力なバネを備えています。押し下げるにはかなりの力が必要です。



旅行中、マーク(A)は柱の外側セクションの端(B)と同じ高さでなければなりません。



旅行中のテーブルの位置

旅行中、テーブルは「ドライブ」位置にある必要があります。

一部のモデルには、折り畳むことができる固定テーブルがあります。旅行中、テーブルは下の位置にあり、上がり前を向くように折り畳まれている必要があります。写真を参照して下さい。

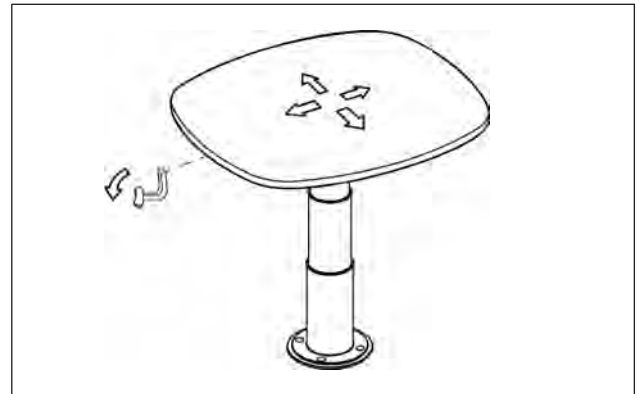
一部のモデルには壁掛けテーブルがあります。旅行中、テーブルはドライブ位置にある必要があります。車両が急ブレーキをかけたり、交通事故が発生した場合にリスクが生じないように、テーブルをドライブ位置に固定します。



テーブルの調整

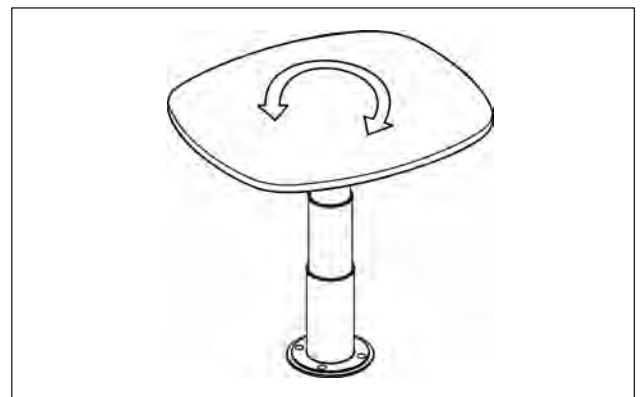
テーブルトップの位置は数センチ調整できます。

- ・キャッチを下に引っ張ります。
- ・テーブルトップの位置を調整します。
- ・キャッチを上を押して、テーブルトップの位置をロックします。



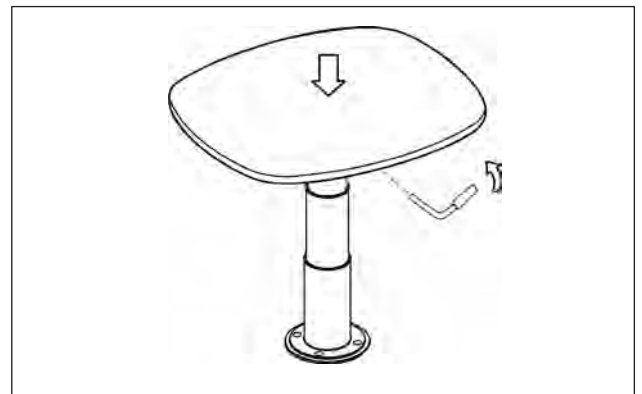
テーブルは回転出来ます。

- ・テーブルをひねります。



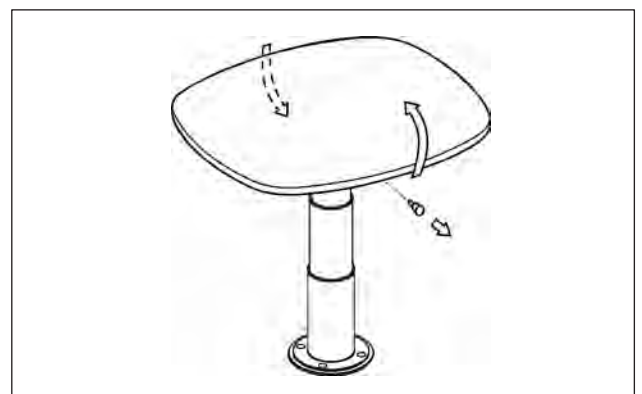
テーブルの高さを調整出来ます。

- ・レバーを傾けます。
- ・テーブルの脚に直接圧力をかけ、テーブルを下に押しします。
- ・レバーでテーブルの高さをロックします。テーブルの高さの設定は3つあります。



テーブルは角度を付けることができます。

- ・バネ仕掛けのピンを外側に引きます。
- ・卓上に角度を付けます。



ダイネットベッドのメイクアップ

キャンピングカーのレイアウトに応じて、ラウンシートにはさまざまな種類があります。

ラウンジのシーティングベッドは、次のいずれかの説明に従って構成します。

引き出し式エクステンション付きのシート

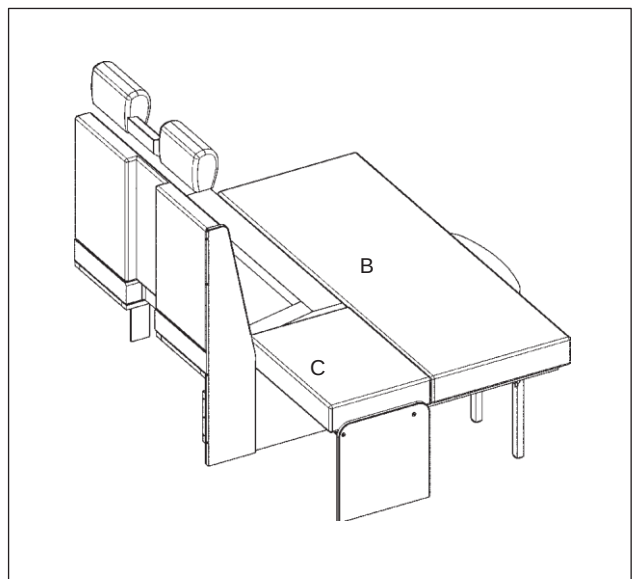
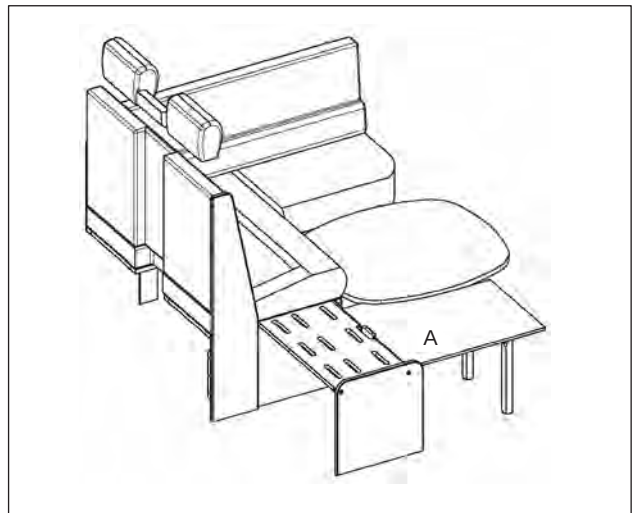
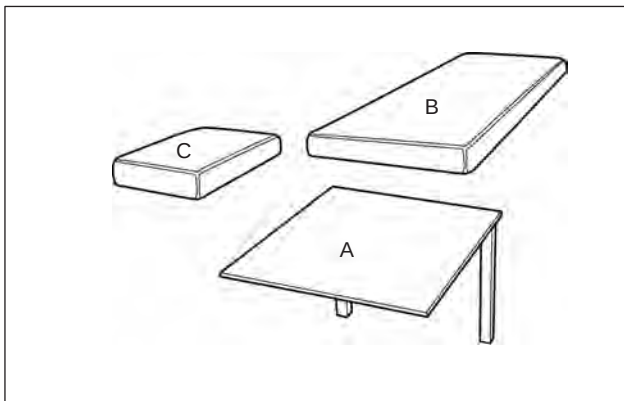
既存のソファに加えて、ベッドメイキングには次の要素が必要です。

A サポート脚付きベッドボード

B ベッドクッション

C ベッドクッション

- 1 テーブルを下げます。
- 2 ソファエクステンションを引き出します。
- 3 ベッドボード(A)を置き、ベッドボード(A)を自分の脚とソファエクステンションで支えるようにします。
- 4 下の図に示すようにクッションを配置します。

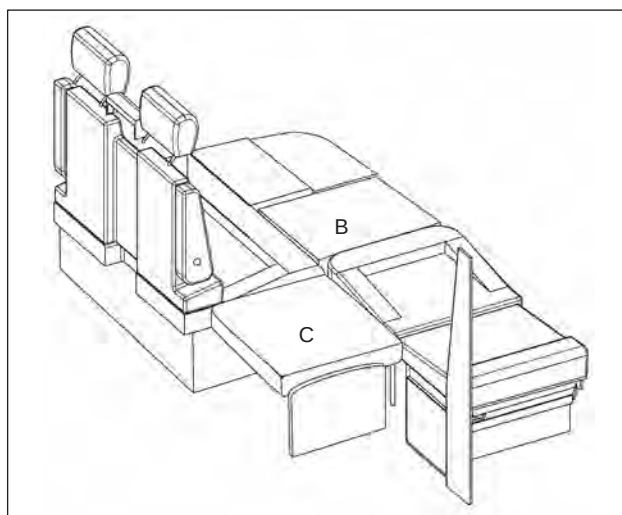
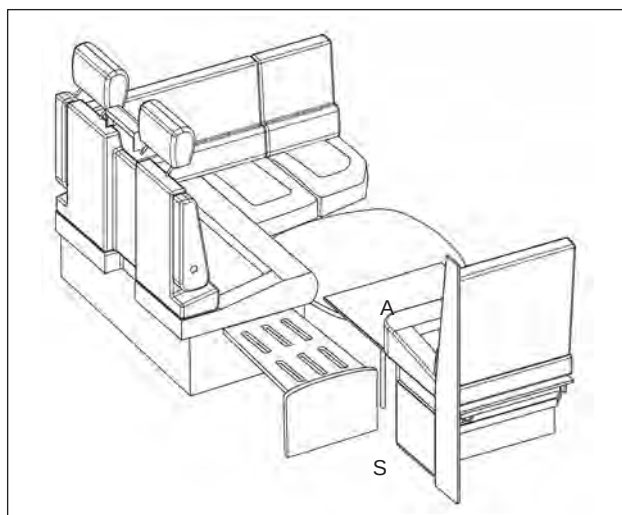
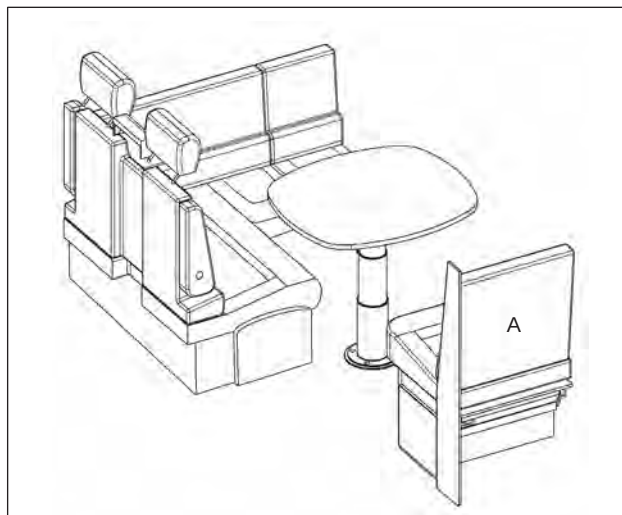
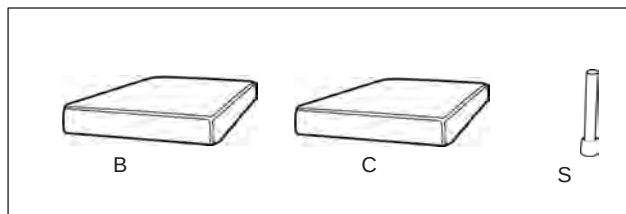


引き出し式エクステンションとサイドソファ付きのシート

既存のソファに加えて、ラウンジシーティングベッドを構成するには、次の要素が必要です。

- B. ベッドクッション
- C. ベッドクッション
- S. 脚をサポートします

- 1 テーブルを下げて調整し、ソファの端に載るようにします。
- 2 ベッドボード(A)をシートとテーブルの間に配置します。ベッドボードを支えるようにサポートレッグ(S)を取り付けます。
- 3 サポートレッグの数はモデルによって異なる場合があります。
- 4 旅行中は、ベッドボード(A)をサイドシートの背もたれの横に収納して下さい。
- 5 ソファエクステンションを引き出します。
- 6 図のようにクッションを配置します。



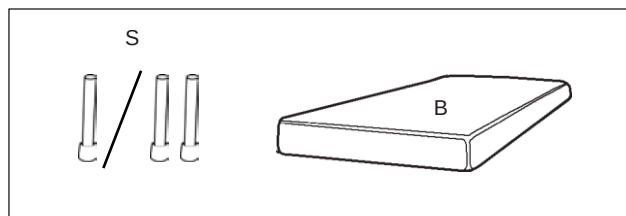
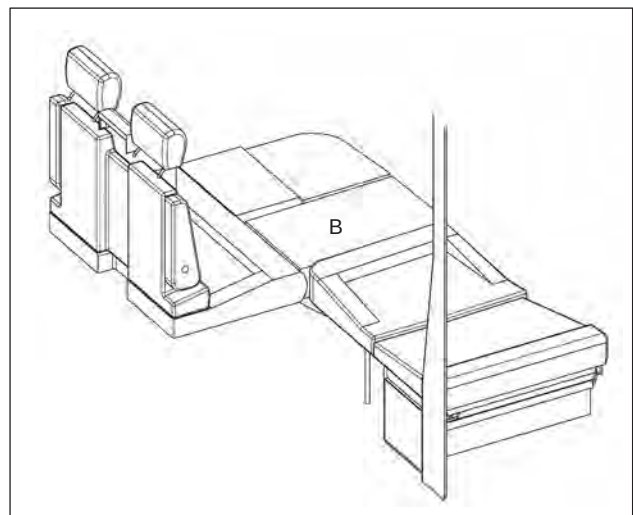
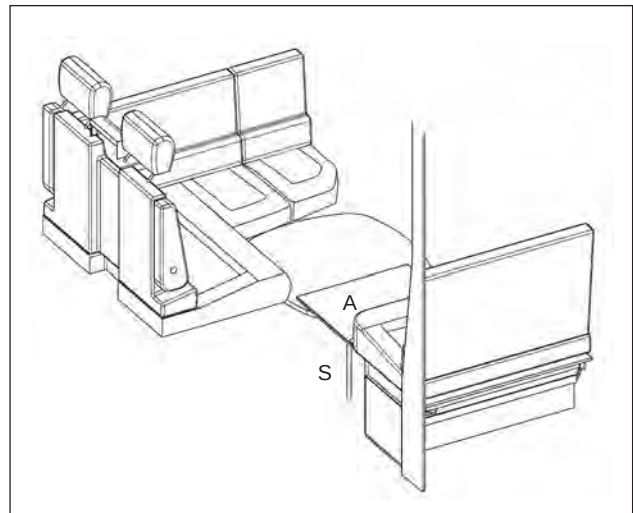
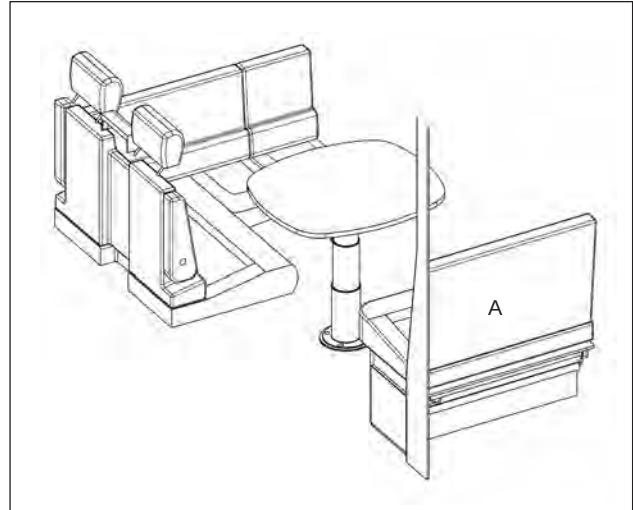
使用

サイドソファとベッドクッション1個付きのシート

既存のソファに加えて、ラウンジシーティングベッドを構成するには、次の要素が必要です。

B.ベッドクッション
S.サポートレッグ

- 1 テーブルを下げて調整し、ソファの端に載るようにします。
- 2 ベッドボード(A)をシートとテーブルの間に配置します。ベッドボードを支えるようにサポートレッグ(S)を取り付けます。サポートレッグの数はモデルによって異なる場合があります。旅行中は、ベッドボード(A)をサイドシートの背もたれの横に収納して下さい。
- 3 図のようにクッションを配置します。

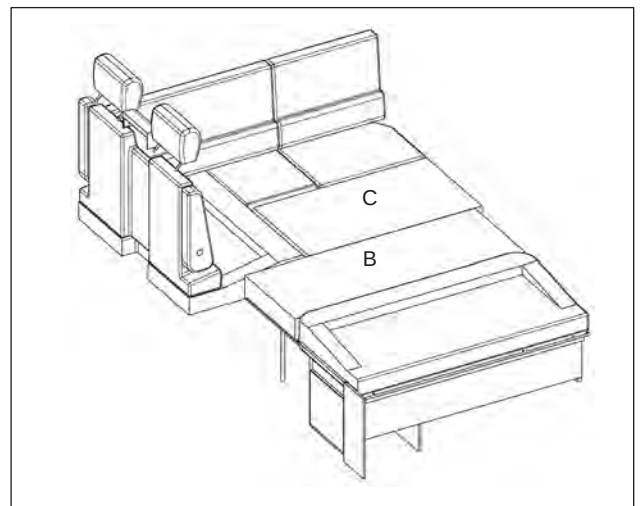
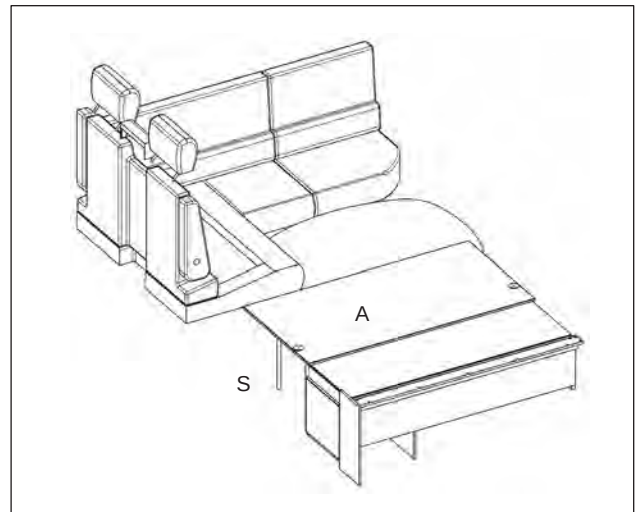
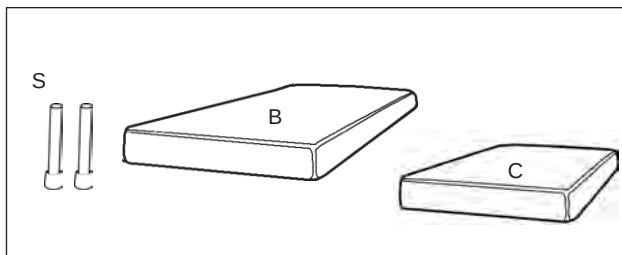
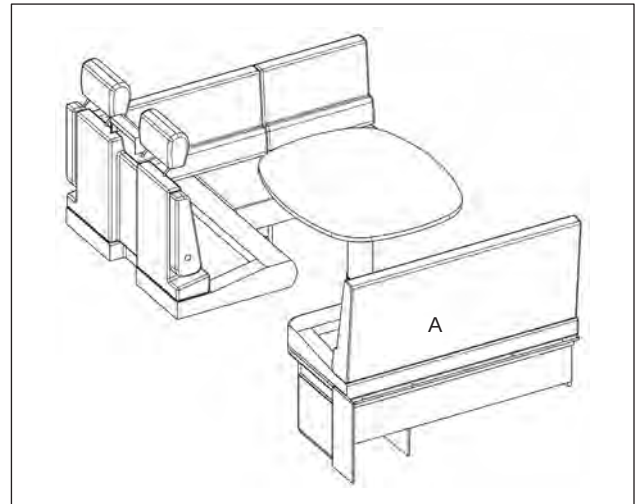


サイドソファとベッドクッション2個付きシート

既存のソファに加えて、ラウンジシーティングベッドを構成するには、次の要素が必要です。

- B. ベッドクッション
- C. ベッドクッション
- S. サポートレッグ

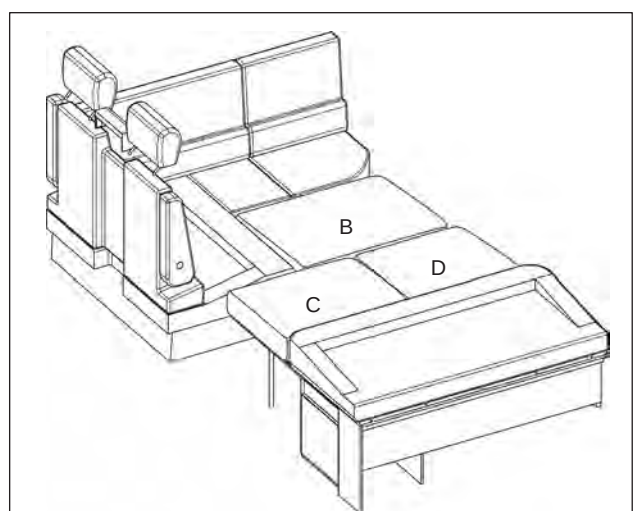
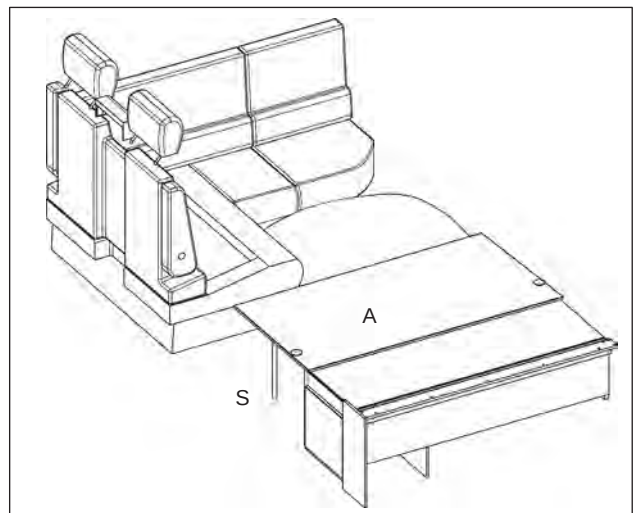
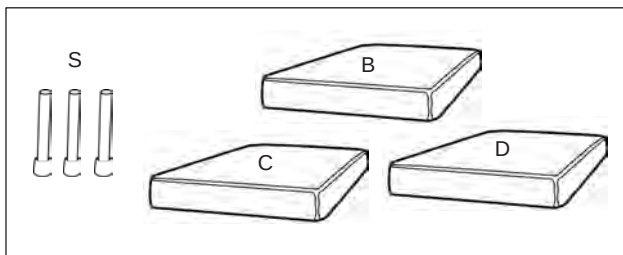
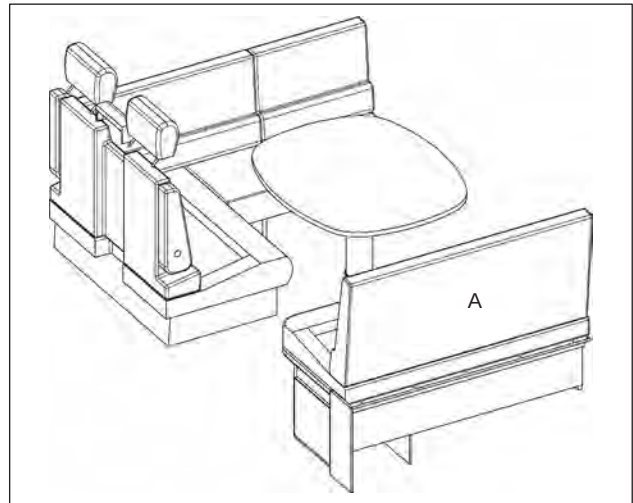
- 1 テーブルを下げて調整し、ソファの端に載るようにします。
- 2 ベッドボード(A)をシートとテーブルの間に配置します。ベッドボードを支えるようにサポートレッグ(S)を取り付けます。サポートレッグの数はモデルによって異なる場合があります。旅行中は、ベッドボード(A)をサイドシートの背もたれの横に収納して下さい。
- 3 図のようにクッションを配置します。



サイドソファとベッドクッション3個付きシート

既存のソファに加えて、ラウンジシーティングベッドを構成するには、次の要素が必要です。

- B. ベッドクッション
 - C. ベッドクッション
 - D. ベッドクッション
 - S. サポートレッグ
- 1 テーブルを下げて調整し、ソファの端に載るようにします。
 - 2 ベッドボード(A)をシートとテーブルの間に配置します。ベッドボードを支えるようにサポートレッグ(S)を取り付けます。サポートレッグの数はモデルによって異なる場合があります。旅行中は、ベッドボード(A)をサイドシートの背もたれの横に収納して下さい。
 - 3 図のようにクッションを配置します。



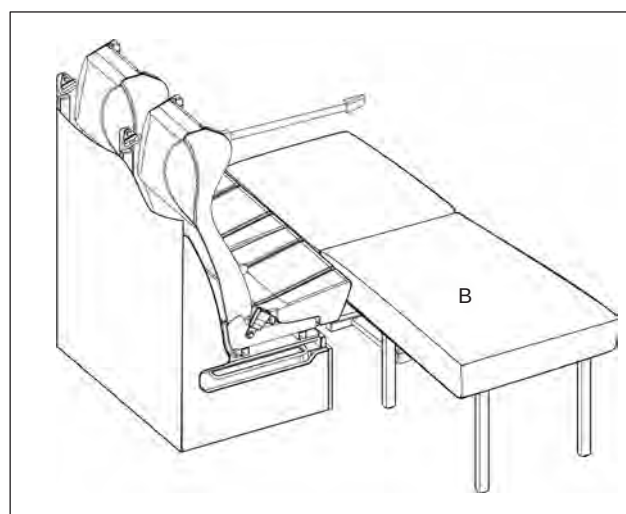
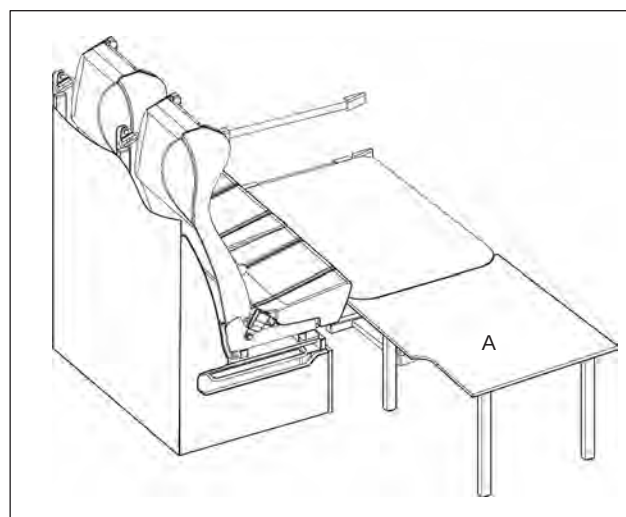
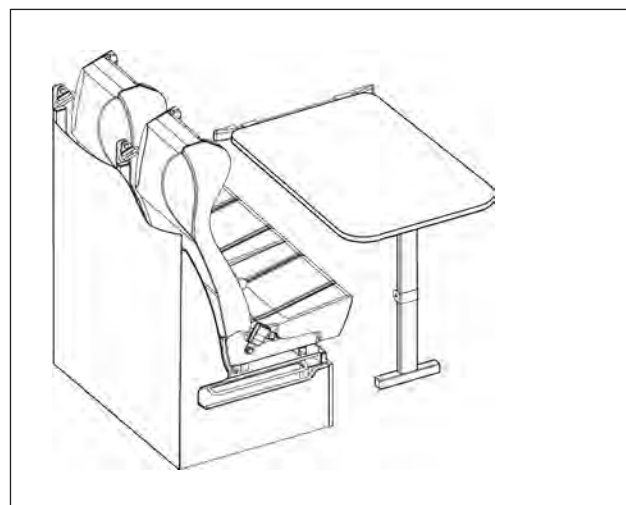
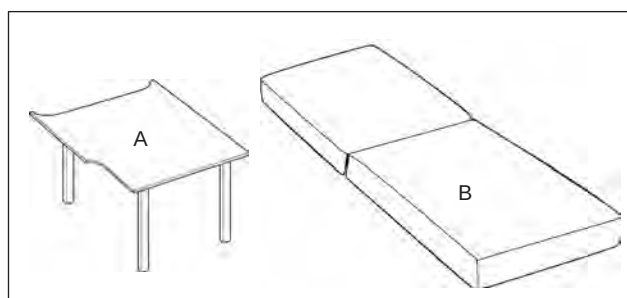
KABE VANのラウンジシート

既存のソファに加えて、ベッドメイキングには次の要素が必要です。

A. サポート脚付きベッドボード

B. ベッドクッション

- 1 テーブルを下げます。
- 2 ベッドボード(A)を使用して、テーブルを拡張します。
- 3 下の図に示すようにクッション(B)を配置します。



使用

フロントブルダウンベッド

一部のモデルには、キャンピングカーのシート上にブルダウンベッドがあります。

旅行中は、ベッドを上端の位置で持ち上げる必要があります。

ベッドを使用する場合は、下端の位置まで下げる必要があります。最大許容荷重は200kgです。ベッドを昇降させている間は、ベッドを利用しないで下さい。

特定のモデルにはステップがあります。

ステップの最大許容荷重は100kgです。

電動ベッドは、キャンピングカーのコントロールパネル(A)から制御されます。



ベッドを操作するには:

1. ベッドがシートに載らないように、シートの背もたれを完全に折り畳んで下さい。
2. シートの背もたれクッションを保護するために、水平に置きます。
3. ベッドを終了位置まで下げます。
4. ベッドのフォールガードを使用して下さい。落下防止ネットのストラップが、ベッドがストラップで保持されないように十分な長さであることを確認して下さい。

ご旅行の前に:

1. ベッドを上端まで持ち上げます。
2. 荷物は別の場所に収納する必要があります。
3. ベッドの中/上に荷物がかけると、終了位置に達するのを防ぐことができます。手動ベッド(モーター駆動ではありません) 上げた位置で、ベッドが両方のロックで固定されていることを確認します。

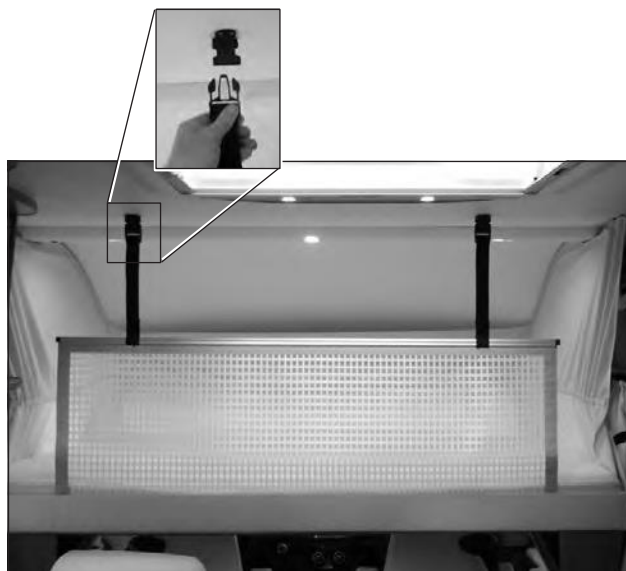
備考！

ベッドの邪魔になるものや、ベッドによって損傷する可能性のあるものがないかを注意深く確認してください。
ベッドのモーターの動作が遅い、または不均一であると思われる場合は、停止して原因を確認して下さい。



警告！

怪我の危険がないように、ベッドの中、下、または近くに誰がいる間は、ベッドを上げたり下げたりしないで下さい。



フロントガラスブラインド

すべてのKABEキャンピングカーにはブラインドが付いているので、キャンピングカーの前部を暗くすることができます。これらのブラインドは、走行中に使用しないで下さい。

- ・一部のモデルには手動で操作するブラインドがあります。
- ・一部のモデルには電動ブラインドがあります。以下の情報を参照してください。

電気ブラインドの操作

(一部機種のみ)

走行中はキャンピングカーのブラインドを完全に上げる必要があります。電気ブラインドはキャンピングカーのコントロールパネルから操作します。



- A. ポジションを開きます
- B. ブラックアウト
- C. プライバシーポジション フロントガラスの下部を覆うプリセット位置



使用

緊急操作

キャンピングカーの電気ブラインドに問題がある場合は、次の緊急対策を試して下さい。

1. キャンピングカーの電気システムの電源を切ります。

電気系統を再起動します。電氣的に操作してみてください。

- 2.A) フロントガラスの上にある2つのグリルを緩めます。

B) グリルがない場合は、ブラインドの2つのモーターを隠しているパネル(フロントガラスの上)を取り外します。パネルはネジで固定されています。

3. 各モーターの隣には、六角レンチを使用してブラインドを巻き上げるための配置があります。モーターの1つがブラインドの上部を駆動します。もう一方はブラインドの下部を駆動します。

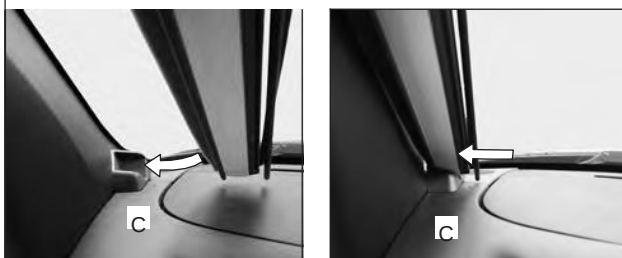
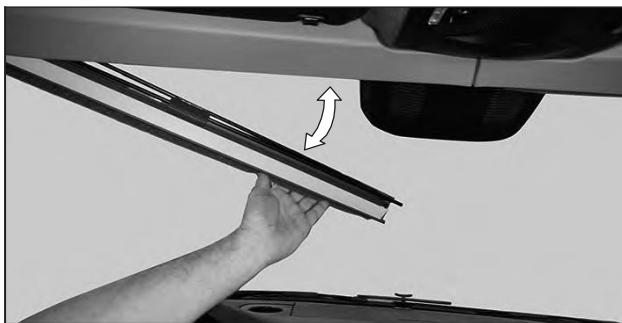
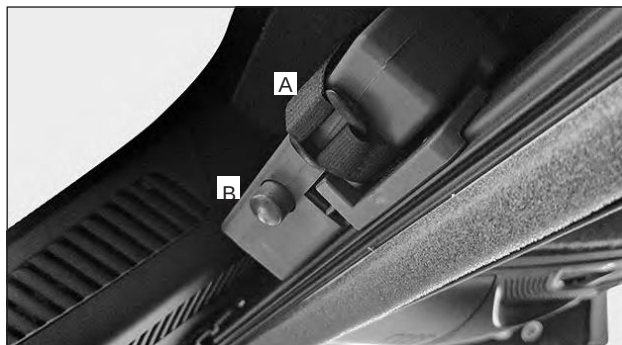
KABE VAN:フロントガラスブラインド

KABE Van.(一部機種のみ)

走行中、キャンピングカーのブラインドは上げられた位置に固定する必要があります。

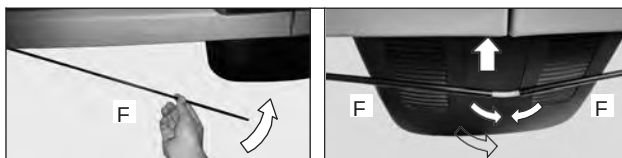
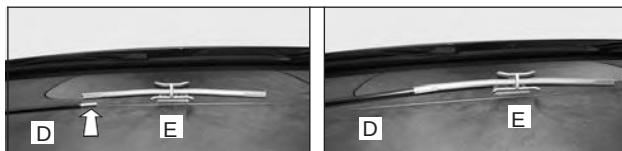
フロントガラスブラインドの展開

- 1 ブラインドのベルクロストリップ(A)を外します。
- 2 ボタン(B)を押してブラインドを下げます。
- 3 ブラインドの底をホルダー(C)に挿入します。
- 4 下部ガイドロッド(D)をダッシュボードのホルダー(E)に取り付けます。
- 5 残りの半分に対してポイント1~4を繰り返します。
- 6 上部ガイドロッド(F)を上へ振って結合します。結合した上部ガイドロッドをホルダーに挿入します(端の後ろに隠れています)。
- 7 ブラインドの半部分を慎重に引き出します。ブラインドの半分の端を傾けて、ホルダーに収まり、フロントガラスの中央で合うようにします。



フロントガラスブラインドの収納

- 1.ブラインドの半分を引き離します。
目隠しがきちんと正しく折りたたまれていることを確認して下さい。
- 2.上下のガイドピン(FとD)を元に戻します。
- 3.ブラインドを端の後ろで振り上げます。ホルダー(ボタンB)にしっかりと引っ掛かっていることを確認します。
- 4.旅行中にブラインドが緩むリスクがないように、ベルクロストリップ(A)を使用して固定します。



積載

全般

過負荷を避けて下さい。キャンピングカーの総許容重量を超えないようにして下さい。

負荷ポジショニング

荷重は正しく分散する必要があります:

- 頭上の食器棚に軽い荷物 重い荷物は低い位置
- キャンピングカーの右側と左側に均等に分散されます。
- 許容軸荷重を超えないように適切に分散されます。許容される車軸荷重は、エンジンベイのプレートに記載されています。

リビングエリアには、走行中に乗客に危険をもたらす可能性のある緩い物体があってはなりません。荷物がずれたり、緩んだり、損傷したりするリスクがないように、荷物を固定または配置する必要があります。



使用

ガレージ(ラゲッジ)

ドアのフレームに過負荷がかからず、変形する危険がないことを確認して下さい。荷物がガレージの床(ドアのフレームではなく)によって支えられていることを確認して下さい。

走行前に荷物を固定して下さい。



備考！

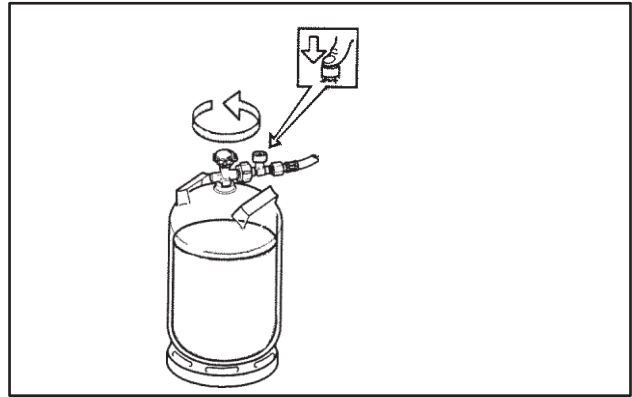
ドアのフレームを損傷するリスクがあります。ドアのフレームに過負荷をかけないで下さい。

ガスボンベシステム

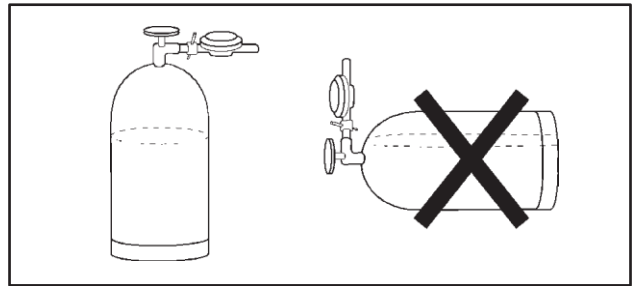
ガスボンベの交換

次のようにガスボトルを交換してください。

- 1 キャンピングカー内のすべてのガス器具の電源を切ります。
- 2 ガスボンベのマスタバルブを閉じます。
- 3 ガスボンベからホースを緩めます。コネクタには左ねじがあり、時計回りでネジが外れます。特定のモデルには、ホースとボトルの間にホースブレイクバルブがあります。ホース断線バルブはホースに残します。
- 4 ガスボンベを交換して下さい。新しいガスボンベを固定します。
- 5 ホース(ホースブレイクバルブ)を新しいガスボンベにしっかりとねじ込みます。
- 6 ガスボンベのマスタバルブを開きます。漏れがないことを確認して下さい。
- 7 ホースブレイクバルブのみを備えたモデル:ホース内のガス圧が等しくなるように、ボタンを数秒間押し続けてホースブレイクバルブを開きます。必要なガス器具の電源を入れます。
- 8 ガスボンベを交換した後、ガスラインに空気がある場合があります。これにより、たとえばホブに火をつけるのが難しくなる可能性があります。ガスが最終的に到達するまで試行を繰り返します。



ボタンを押して、ホースブレイクバルブを開きます。ホース断線弁が閉じていると、ガス器具に火がつきません。



ガスボンベは直立させて保管する必要があります。

冬には、接続スレッドに閉じ込められた湿気が凍結し、ガスの供給を妨げる可能性があります。ホースを取り付ける前に、マスタバルブを一時的に開きます。これにより、水分が吹き飛ばされます。火災の危険性を考慮して、細心の注意を払って下さい。



警告！

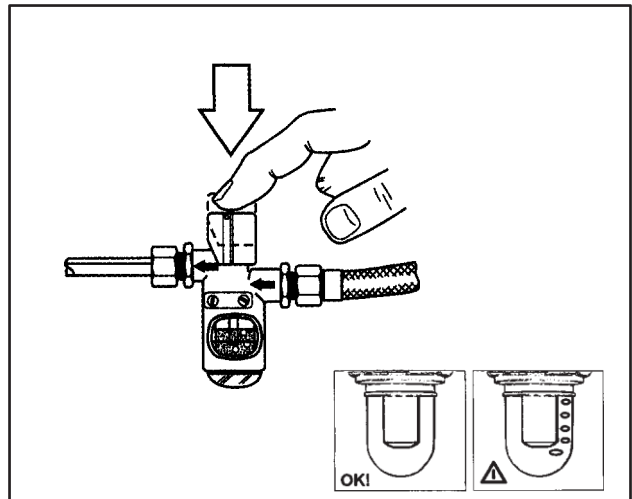
可燃性ガスは危険です！

ガスボンベを交換するときは、その領域に裸火や、ガスを発火させる可能性のある物体や高温の物体がないことを確認して下さい。

リークインジケーターの使用

特定のモデルにはリークインジケーターがあります。次のようにガスシステムに漏れがないか確認して下さい。

1. ガス器具(コンロ、ボイラー、冷蔵庫)の電源を切り、火災障害安全装置が導くまで待ちます。
2. キャンピングカーのすべての換気バルブを開きます。ホブの操作バルブも開きます。リークインジケーターのボタンを押します。
3. ガラスドーム内の液体を通してガスが泡立っていないか確認して下さい。
4. 液体中に気泡があってはなりません。少なくとも10秒間待ちます。好ましくは、試験は1分間実施されます。すべてのガス器具にもかかわらず気泡が出た場合オフになっていると、ガスシステムに漏れがあります。すぐにガスボンベのマスタバルブを閉じ、最寄りのKABEサービスワークショップにアクセスして漏れを修理して下さい。



冷蔵庫

冷蔵庫はガスボンベまたは230Vの電力供給で駆動されます。

走行中は、車両の12V電源を使用して冷蔵庫に電力を供給することも出来ます。

冷蔵庫の設定は、冷蔵庫とキャンピングカーのコントロールパネルの両方からアクセスできます。

冷蔵庫を最初に使用すると、特定の臭いがする場合があります。これは数時間後に消えます。部屋をよく換気して下さい。

冷蔵庫は数時間後に動作温度に達します。

冷蔵庫メーカーの使用およびお手入れ方法も参照してください。

大事！

使用前に冷蔵庫を掃除して下さい。



特定のモデルでは、冷蔵庫に自動エネルギーセクター(AES)があります。これにより、冷蔵庫は主に230V電源で駆動されます。

キャンピングカーが230V電源に接続されていない場合、冷蔵庫はガス運転に切り替わります。

走行中、冷蔵庫は車両の12V電源で駆動されます。

他のモデルでは、冷蔵庫の動作モードを設定する必要があります。

AES付きの冷蔵庫は、走行中ずっと12V電源を使用します。休憩または停止すると、冷蔵庫は自動的に別の動作モードを選択します。冷蔵庫がガス運転に切り替わるまでに約15分の遅延があります。これは、ガス運転を開始する前にガソリンスタンドで車両が燃料を補給できるようにするためです。ガソリンスタンドの停留が長い場合は、冷蔵庫のガス運転を手動でオフにする必要があります。



冷蔵庫のオン/オフ

冷蔵庫の動作モードの選択



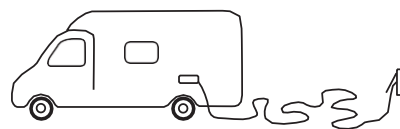
冷蔵庫エネルギーモード

使用

使用とメンテナンスの詳細については、製造元のユーザーマニュアルを参照して下さい。

230V電源で使用

- 1 キャンピングカーが230V電源に接続されていることを確認してください。
- 2 ON-OFFボタンを使用して、冷蔵庫の電源が入っていることを確認します。
- 3 コントロールパネルで動作モードを選択します。230 V または自動 (AES)。
- 4 必要に応じて、冷蔵庫の温度設定を調整して下さい。

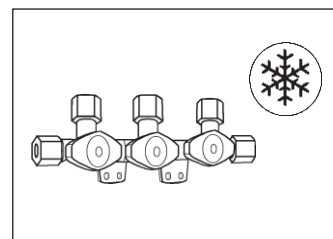


ON-OFF



ガスボンベ運転

- 1 ガスボンベのバルブを開きます。
- 2 ガス供給の遮断弁を開きます。
- 3 ON-OFFボタンを使用して、冷蔵庫の電源が入っていることを確認します。
- 4 コントロールパネルで動作モードを選択します。ガスまたは自動 (AES)。
- 5 必要に応じて、冷蔵庫の温度設定を調整して下さい。



ON-OFF



備考！

走行中に冷蔵庫をガスで操作する場合は、キャンピングカーが走行する国の法律で規定されているすべての措置を遵守する必要があります。

走行中のガスボンベの操作が禁止されています。ガソリンスタンド内およびその周辺でのガスボンベの使用は常に禁止されています。

12V電源で使用

12V電源は走行中にのみ使用出来ます。

- 1 ON-OFFボタンを使用して、冷蔵庫の電源が入っていることを確認します。
- 2 コントロールパネルで動作モードを選択します。12 V または自動 (AES)。
- 3 必要に応じて、冷蔵庫の温度設定を調整して下さい。



ON-OFF



冷蔵庫の電源を切る

ユーザーに応じて冷蔵庫の電源を切ります。

冷蔵庫の供給バルブが閉じていることを確認して下さい。

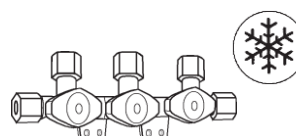
冷蔵庫の電源を切ったら、ドアを開けたままにしておく必要があります。これは、内部での金型形成を防ぐのに役立ちます。

冷蔵庫をしばらく使用しない場合:

- ・ 冷蔵庫を空にします。解凍して清掃します。
- ・ 冬のハッチを冷蔵庫の換気グリルに取り付けます。



ON-OFF



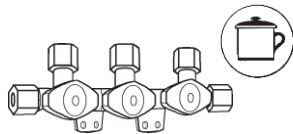
ガスコンロ

KABEトラベルマスターには、さまざまなモデルでさまざまな種類のコンロがあります。このユーザーマニュアルには、各モデルの説明が記載されています。該当する指示をお読み下さい。

ホブのバーナーには火災故障安全装置が装備されています。これにより、炎が消えた場合(液体が沸騰した場合など)にガス供給が自動的に遮断されます。

ホブを使用する前に、次のガスバルブを開く必要があります。

- ガスボンベのメインバルブ
- ホブの供給バルブは、ホブに隣接する食器棚にあります



ガスコンロの使用

- 1 ホブのガラス蓋とフレームガードを上げます。コンロが熱いときはいつでもガラスの蓋を上げておく必要があります。上から照明プロセス全体を見ることができなければなりません。これを妨げる鍋やその他の物体がないようにして下さい。
- 2 バーナーのコントロールを「高炎」記号に変えます。
- 3 バーナーのコントロールを押し込み、点火ボタンを押して炎につけます。炎が点灯したら、点火ボタンを放します。
- 4 コントロールを約10秒間押し続けます(火災故障安全装置が熱くなります)。
- 5 調理器具をバーナーの中央に置きます。グリルよりも大きい調理器具は使用しないで下さい(ホブの端が熱くなるリスクがあります)炎がの側面をなめないようにして下さい。

底が曲がっている、または形が崩れている調理器具は使用しないで下さい。



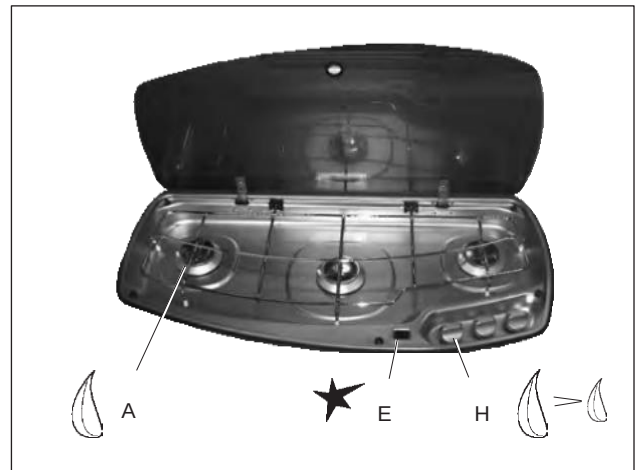
警告！

怪我の危険があります！

ホブのコンポーネントは、使用中および使用後に高温になります。火傷をしないように注意して下さい。

ストーブ、オーブン、グリルでガス炎で調理する場合は、追加の換気が重要です。十分な換気を確保するために窓を開けて下さい。

キャンピングカーの暖房にはガスコンロを使用しないで下さい。



ガスコンロ

A バーナー

E イグニッションボタン

H バーナー供給制御

ガスコンロをオフにする

- 1 バーナーのコントロールをオフの位置にします。炎が消えるのを待ちます。
- 2 バーナーが冷えるまで、ホブのガラス蓋を上げたままにします。
- 3 ホブの供給バルブを閉じます(ホブの下の方の食器棚内)。

備考！

バーナーのいずれかが点灯または高温のときにガラス蓋を閉じないで下さい。

大事！

製造元の使用およびお手入れ方法(ホブに付属)も参照して下さい。

電子レンジ

一部のモデルには電子レンジがあります。

(その他の場合は工場で取り付けられたオプション)

電子レンジは、キャンピングカーが230V電源に接続されている場合にのみ使用出来ます。

電子レンジは一度に30分以上使用しないで下さい。その後、(過熱を防ぐため)冷却する必要があります。

電子レンジを掃除する。製造元の指示も参照して下さい。



最大30分

暖房システム



キャンピングカーのコントロールパネル



ボイラーのコントロールパネル

ボイラーのコントロールパネルは、キャンピングカーの電気システムに接続されています。したがって、ボイラーの最もよく使用される機能は、キャンピングカーのコントロールパネルから(他の暖房システム機能とともに)アクセス出来ます。

通常の使用では、ボイラーはキャンピングカーのコントロールパネルから制御されます。

ボイラーのコントロールパネルは目立たないように配置されています(ワードローブなど)

ボイラーのコントロールパネルの横にスイッチがあり、ボイラーのコントロールパネルが次の条件であるかどうかを設定するために使用されます。

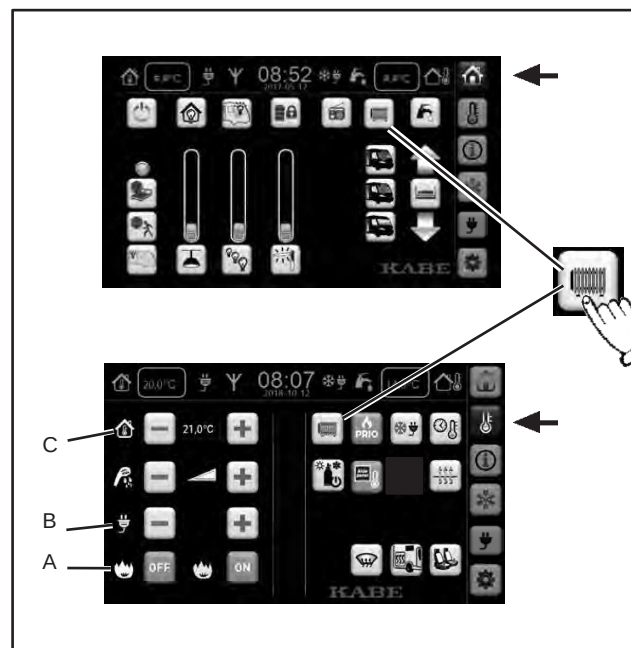
キャンピングカーの電気システムに接続され、その結果、キャンピングカーのコントロールパネルに接続されています。又はバッテリーに直接接続されています。

通常の使用では、スイッチは「システム」の位置にある必要があります。

キャンピングカーの電気システムが中断によって脅かされている場合は、スイッチを「12Vバッテリー」の位置に置くことでボイラーを稼働させ続けることができます。

ボイラーのさまざまな機能の詳細については、ALDEの個別のユーザー手順を参照して下さい。

暖房システムの起動



スイッチオフの暖房システムを起動するには、「暖房オンオフ」アイコンを押します。

「暖房のオン-オフ」アイコンは、コントロールパネルの「開始」および「暖房」メニューからアクセス出来ます。

次の設定が指示に従っていることを確認します。

- A. ガスボンベを使用した暖房
- B. 230V電源を使用した暖房
- C. 希望の温度設定

手順は別々のセクションで与えられます。

温度設定



0.5°C間隔で + 5°Cから+ 30°Cまで温度を設定出来ます。



特定のモデルにはゾーンヒーティングがあります。
(KABE Imperial)

ゾーン加熱では、ゾーン1と2の温度
個別にベット設定可能。



ゾーン1は、
キャンピングカー(ラウンジ席)



ゾーン2は、
キャンピングカー(ベッド)

温水ボイラー



温水ボイラーの場合、暖房システムがオンになっている
必要があります(ガスボンベまたは電源)。

夏には、温水はあるが、リビングエリアの暖房はしない
ことが望ましい。温度設定を現在の周囲温度より低くし
ます。その後、循環ポンプは始動せず、リビングエリア
の暖房は行われません。



温水温度は一時的に50°Cから65°Cに上げることが出来
ます。これにより、所望の温度でより多くの量の温水が
提供されます。

約30分後、設定は自動的に通常の給湯に戻ります。
十分な温水が生成されている間、循環ポンプはオフに
なっています(リビングエリアの暖房はありません)

**警告！**

やけどの危険があります。
温水の超高温は火傷を引き起こす可能性が
あります。十分な温水が生成されていると
きは細心の注意を払って下さい。
温水が一時的に通常よりも熱くなっている
ことを関係者全員に知らせて下さい。

230V電源を使用した温水ボイラー



警告！

怪我の危険があります。

屋外での使用が承認されている電源ケーブルを使用して下さい。

ケーブルは、損傷のリスクから離して設置して下さい。損傷したケーブルは交換する必要があります。

1 キャンピングカーを230V電源に接続します。

2 エネルギーモードを電気操作に設定します:

消灯=スイッチオフ

1 kW = 1,050 W(フィードに5Aヒューズが必要)

2 kW = 2,100 W(フィードに10Aのヒューズが必要)

3 kW = 3,150 W(フィードに16Aのヒューズが必要)

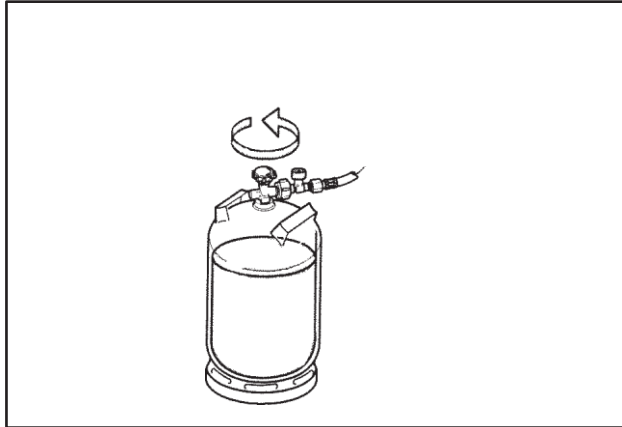
3 サーモスタットが希望の室温に設定されていることを確認して下さい。



大事！

コントロールパネルで電気操作とガスボンベ操作の両方が選択されている場合、電気操作が優先されます。温度が設定値を下回っていることをサーモスタットが感知すると、ガス運転が開始されます。

ガスポンベを使用した温水ボイラー

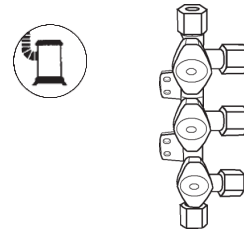
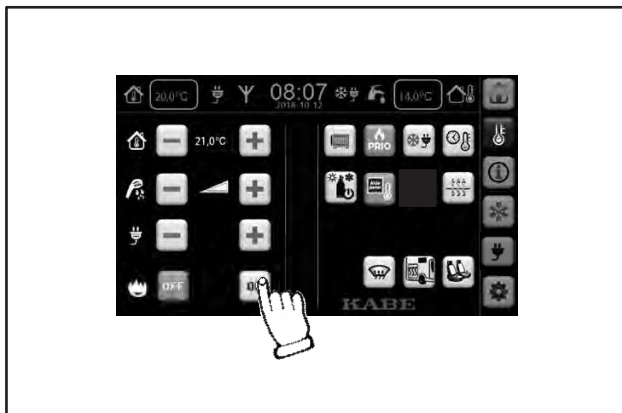


大事！

コントロールパネルで電気操作とガスポンベ操作の両方が選択されている場合、電気操作が優先されます。

温度が設定値を下回っていることをサーモスタットが感知すると、ガス運転が開始されます。

- 1 ガス配管のマスターバルブを開きます
- 2 ボイラーへの供給バルブを開きます



- 3 ガスポンベ操作をオンにする

床暖房の設定

すべてのKABEトラベルマスターには床暖房が付いています(モデルによって異なります)

以下では、キャンピングカーに関連するものをお読み下さい。
セクション4「説明」も参照して下さい。

AGS II床暖房システム

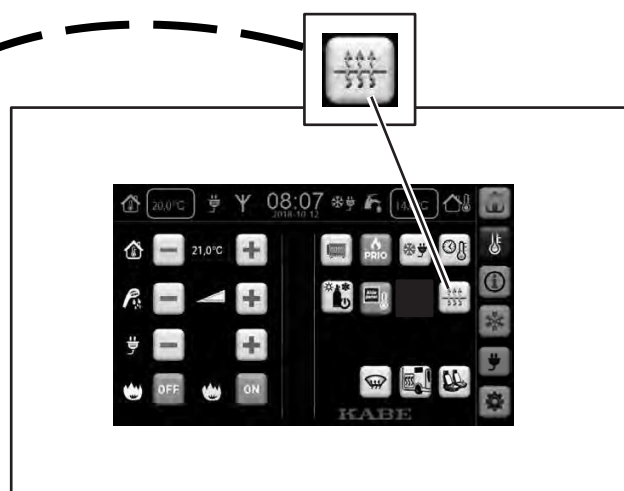
多くのKABEキャンピングカーモデルには、キャンピングカーの全体的な暖房システムと統合された床暖房があります。これは、床暖房の温度が自動的に暖房システム全体の温度に従うことを意味します。床暖房の温度は室温によって調節されます。

これは、床暖房を個別に設定することなく快適な床温度を提供する実績のあるテクノロジーです。

AGS II Pro床暖房システム

一部のKABEキャンピングカーには、AGS II Pro床暖房システム(工場装着オプションとしても利用可能)があります。ここの床暖房は、別々の循環を持つ独自の回路を持っています。

コントロールパネルから床暖房の循環を開始します。



床暖房は均一な床温度を維持します。

キャンピングカーの室温が何であれ、回して床暖房温度を調整します。

「シャント」制御。

床暖房のシャントの工場出荷時の設定値バルブは6です。



AGS II Pro床暖房は認識可能です
ボイラーのそばのシャントバルブ

走行中のリビングエリアの暖房



特定のモデルには、車両部品の暖房システムと居住領域部分の間で熱を伝達する熱交換器があります。

走行中、熱交換器を備えたキャンピングカーは、次のように車両のエンジンを使用して居住エリアの暖房システムを加熱出来ます。

- 1 ボイラーのコントロールパネルから暖房システムを始動することにより、リビングエリアの循環ポンプを始動します。
- 2 サーモスタットが希望の室内温度に設定されていることを確認して下さい。
- 3 暖房と車両エンジンのみを介して加熱する場合は、ボイラーからの加熱をオフにする必要があります(ガスポンベ操作オフ)

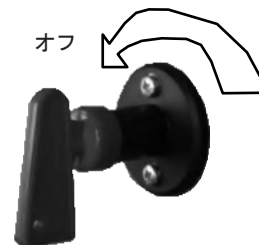
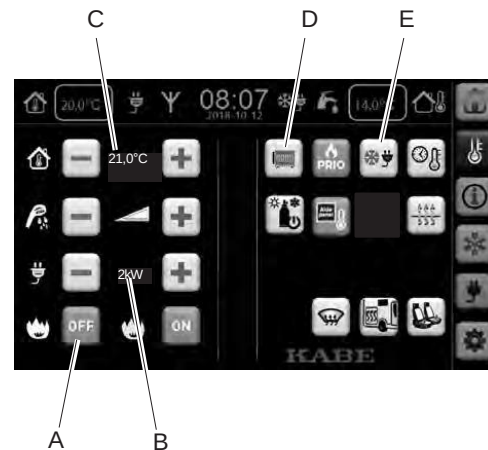
ウィンターコネクション

冬の接続では、230V電源がキャンピングカーに接続されるとボイラーが始動します。

230 V電源が接続されているときにキャンピングカーを暖かくするには、暖房システムを以下に説明するように設定する必要があります。

冬の接続設定:

- 1 暖房システムをアクティブにします。(D)
- 2 ガスボンベの操作をオフにする。(A)
- 3 電気動作エネルギーモードを選択します:1 kW、2 kW、または3 kW。(B)
- 4 希望の温度を設定する。(C)
- 5 冷蔵庫を暖房と一緒に始動する場合は、冷蔵庫が230 V動作に設定されている(そしてオンになっている)ことを確認して下さい。
- 6 冬の接続を有効にする。(E)
- 7 キャンピングカーのコントロールパネルをオフにします
- 8 安全カットアウトスイッチを「オフ」の位置にします。これにより、バッテリーが消耗するのを防ぎます。
- 9 230 V 電源を外します (230 V 電源ケーブルを引き出します)。



230 Vの電源ケーブルがキャンピングカーに接続されている場合(またはタイマーが電源をオンにする場合)、ボイラーは設定に従って始動します。

清水/排水システム

真水で満たす

給水タンクのレベルの読み取り(A).

給水システムと給湯器を洗い流します:

- 水の消費量が少ない場合(水が新鮮でない場合)。
- システムがしばらくの間空であった場合(長期保管)。

「水システムの排水」セクションも参照して下さい。

次のコンセントが閉じていることを確認して下さい:

- 清水タンクの排水バルブと電気排水バルブ。
コントロールパネルを参照して下さい(B).
- ボイラーの横にある給湯器の排水バルブ(C).

- 1 コントロールパネル(E)でアラームをアクティブにします。
- 2 清水タンクがいっぱいになるとアラームが鳴ります。アイコン(E)をもう一度押してアラームをオフにします。
フィルターキャップを外します。タンクに真水を入れます。

- 3 ウォーターポンプを始動します。

• コントロールパネルでウォーターポンプが作動していることを確認します。ウォーターポンプアイコンが表示されている必要があります。必要に応じて、ボタン(V)を使用してウォーターポンプを作動します。

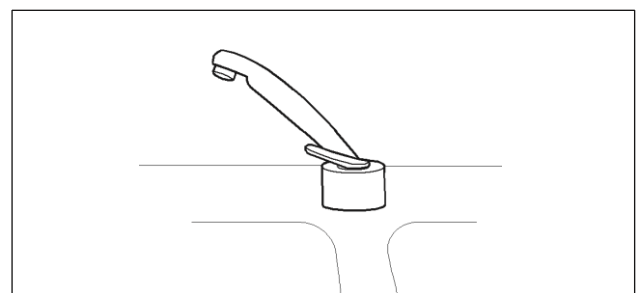
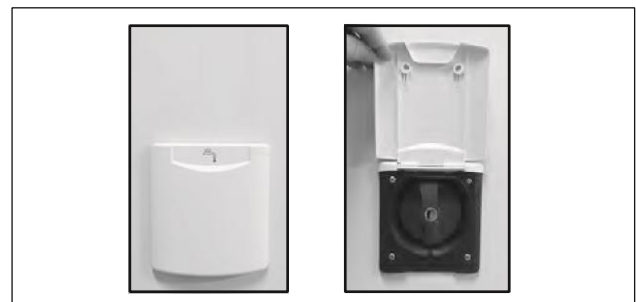
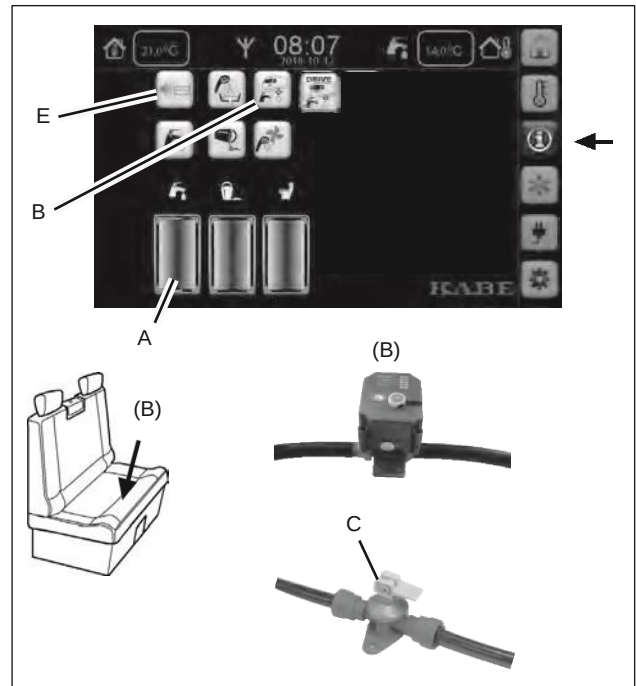
- 水道の蛇口をオンにする。

- 4 給水システムが空の場合:

温水の蛇口をオンにして給湯器を満たします

蛇口の注ぎ口から均一な流れがあります。

ウォーターポンプでキッチン、洗面台、シャワーに水を汲み出すことで、給水システムを流水させます。



大事！

清水でいっぱいになったら、清水タンクを排水します。これにより、清水タンクがいっぱいになるリスクを回避出来ます。

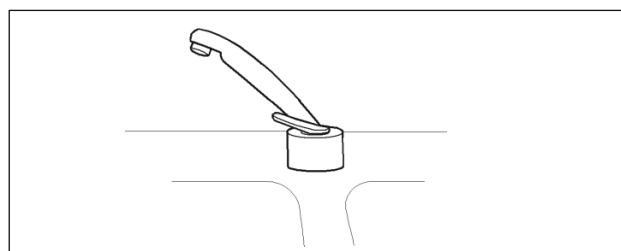
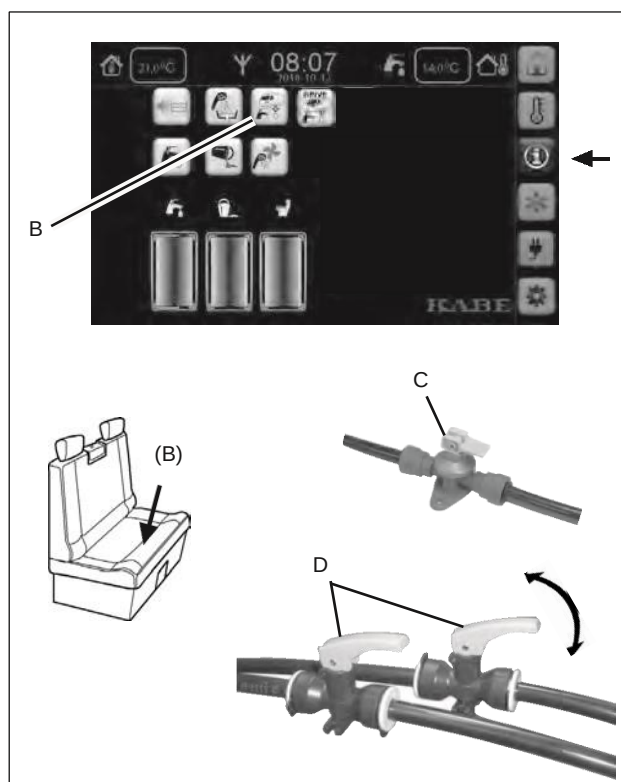
清水システムの排水

清水システムを排水します。

- ・ キャンピングカーがしばらく使用されない場合。
- ・ キャンピングカーが加熱されていないままになっている場合(凍結の危険があります)。
- ・ システム内の水が新鮮でない場合。
- ・ 給湯器のエアクッションを更新します。

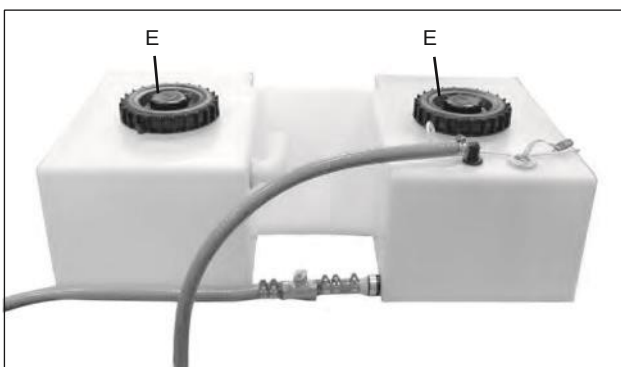
- 1 清水タンクと冷水/温水ホース(B)を排水します。キャンピングカーの下に水が流れ出します。
- 2 給湯器の排水バルブ(C)を開きます。排水バルブ(C)はボイラーの隣にあります。給湯器からの水はキャンピングカーの下に流れ出します。
- 3 (一部機種のみ)冷水ホースと温水ホースのドレンコック(D)を開きます。キャンピングカーの下に水が流れ出します。
- 4 すべての給水栓をオンにして、ウォーターポンプが始動するようにします
ホースとポンプ自体からすべての水を洗い流します。
温水と冷水の両方で蛇口がオンになっていることを確認します(冷水と温水の間の開いた位置にある蛇口)。
蛇口から水がなくなるまでウォーターポンプを作動させます。
シャワーホースを床に置いて、「閉じ込められた」ようにします
水がなくなる可能性があります。
ラゲッジルームのシャワーホースにも適用されます。(一部機種のみ)
トイレの水洗ボタンを押して、水がなくなるようにします。

- 5 コントロールパネルのボタン(V)を使用して、送水ポンプ。ポンプアイコンが消えます。
温度変化の影響下で空気がホースに吸い込まれるように、すべての給水栓をオンにします。温水と冷水の両方(冷水と温水の間の開いた位置)の蛇口がオンのままになっていることを確認して下さい。



清水タンクの清掃

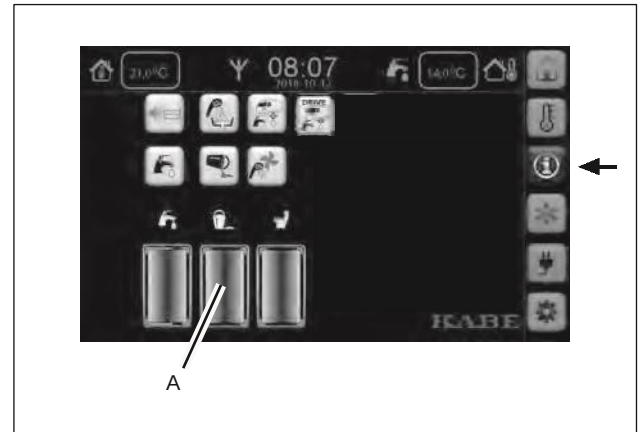
- 1 タンクの内部を清掃するには、タンクの上部にあるキャップ(E)を緩めます。
- 2 食器用ブラシを使用してチャンバーを清掃します。必要に応じて、清水タンクに洗剤を使用して下さい。水タンクを洗い流し、水ラインを洗い流します。
- 3 キャップを取り付け直します。キャップガスケットが適切にシールされていることを確認します。



排水タンクの排水

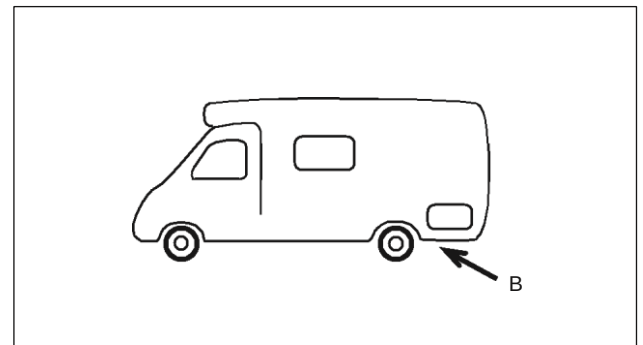
排水タンクのレベルを読み取る(A).

排水は、標準的なトイレまたはその他の承認された施設で空にする必要があります。



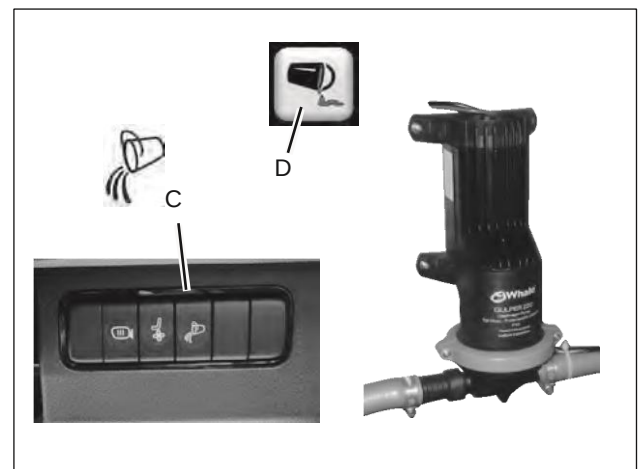
- 1 灰色の排水タンクの排水ホースの下に適切なレセプタクを置きます(B).

大事！
排水にホースを取り付けることで排水を容易にします
タンクの円錐形の出口。



- 2 スイッチ(C)を介して排水タンクポンプを起動して、排水タンクを排水します。
排水ポンプは、コントロールパネル(D)から起動することも出来ます。

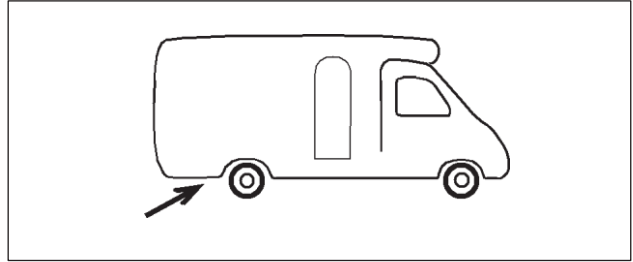
大事！
排水ポンプは、車両のエンジンが停車中のみ起動で
出来ます。



排水タンクの清掃

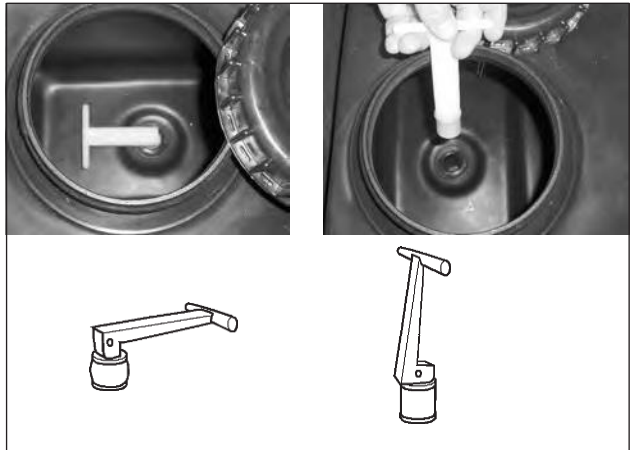
次のように排水タンクを清掃します：

- 1 排水タンクを排水します。
- 2 フラッシング出口の下に適切なレセプタクルを置きます。
- 3 排水タンクのフラッシング出口を開きます。



ハンドルを上げてプラグを引き上げて、排水タンク内のプラグを取り外します。
特定のモデルには、プラグの代わりにボールバルブが付いている場合があります。

- 4 タンク内をきれいに洗い流して下さい。
必要に応じて、排水タンクを洗浄で洗い流します。
- 5 スラッジは容器に回収し、承認された場所で処分して下さい。
- 6 排水タンクのフラッシング出口を閉じます。
プラグをフラッシングコンセントに取り付け直します。
プラグが出口を密閉するようにハンドルを下に振ります。



タンクをきれいに洗い流す

特定のモデルには、洗浄時に水でタンクを洗い流すための別のホースがあります。

色付きのホースは清水タンクに接続されています。

マーキングのないホースは、排水タンクに接続されています。

各ホースのバルブは、ホースの方向にねじれると開きます

タンクを補充する前に、バルブが閉じていることを確認してください



KABE TMI

KABE TMI:

ホースには、キャンピングカーの外部ドアの1つからアクセス出来ます。

KABE Van:

タンクを洗い流すためのホースは調理台の下にあります。

ホースには、キャンピングカーの引き戸からアクセスできます。一番下の引き出しを取り外します。

(ドロワーを取り外すには、セクション5「メンテナンス」を参照してください。

これにより、排水タンクの最初のキャップにもアクセスできるようになります。灰色の水タンクの2番目のキャップは冷蔵庫の下のスペースにあります。

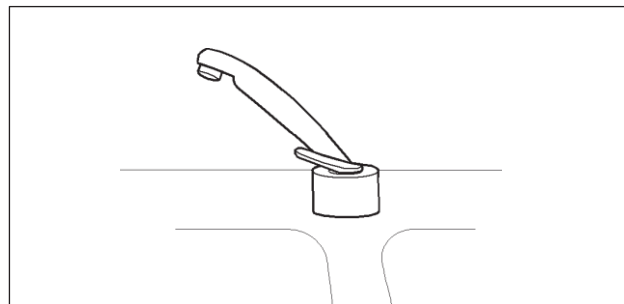
灰色の水タンクの3番目のキャップは、ワードローブの後ろのベッド下のスペースにあります。



KABE Van

水道の蛇口を使う

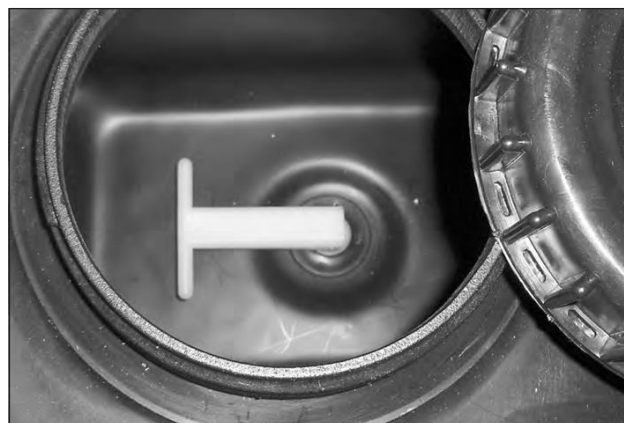
- 1 コントロールパネル(V)で水ポンプが作動していることを確認します。水ポンプアイコンが表示されている必要があります。
- 2 混合機能を使用して水の流れを調整します。
青いマーキングは冷水を示します。
赤いマーキングはお湯を示します。
中間位置では、温水と冷水が混合になります。



使用

排水システムの使用

- 1 排水システムを使用する前に、排水タンクのフラッシング出口が閉じていることを確認。プラグが出口を密閉するようにハンドルを下に振ります。特定のモデルには、プラグの代わりにボールバルブが付いている場合があります。
- 2 沸騰した液体を排水システムに注がないで下さい。



シャワーを使う

- 1 コントロールパネルで水ポンプが作動していることを確認します。水ポンプアイコンが表示されている必要があります。



シンデレラガス燃焼トイレ

シンデレラガス燃焼トイレ(特定のモデルのみまたは工場で取り付けられたオプション)。このトイレは、し尿とトイレットペーパーのみを対象としています。

トイレの使用準備

ガスボンベが利用可能であり、トイレへの供給バルブが開いていることを確認して下さい。

燃焼には機能する電気も必要です。キャンピングカーの12V電源は、燃焼中ずっと利用可能でなければなりません。

トイレの燃焼機能には、完全に機能的な換気が必要です。吸気と排気の両方の換気が空いていることを確認して下さい。たとえば、雪はトイレの換気を妨げてはなりません。必要に応じて、煙突エクステンションを取り付けることが出来ます。走行中は煙突の延長部を配置しないで下さい。

トイレを使う

トイレ専用の紙袋を使用して下さい。使用のたびに新しい紙袋を使用して下さい。

トイレをした後、スタートボタンを押して「フラッシュ」します。

燃焼を開始する前に、紙袋は灰のボウルに落ちなければなりません。バッグが軽いと、正しく落下しないリスクがあります。必要に応じて、少量の水を注ぐことでバッグの重量を増やすことが出来ます。

トイレの排泄物を燃焼するには、約1~2時間かかります。燃焼が機能するためには、トイレの蓋を下ろす必要があります。

燃焼が終わっていても、トイレは再び使用出来ません。蓋を上げると焼却が中断されます。トイレ使用時の燃焼はありません。

スタートボタンを押すと焼却が再開されます。

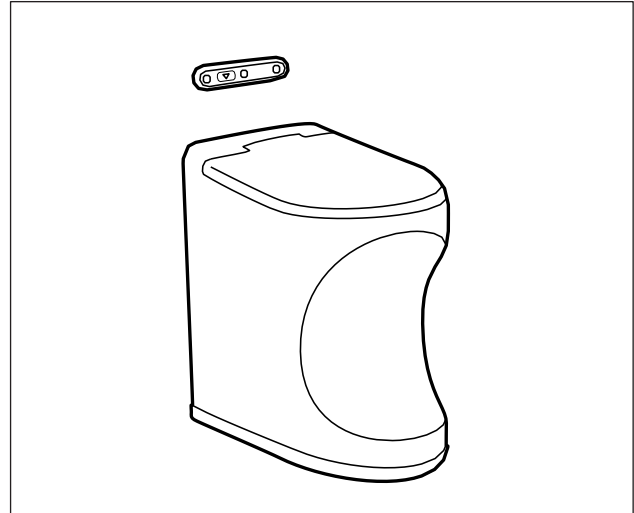
ステータス表示はトイレのパネルに表示されます。

- 緑は正常です。
- 黄色は焼却中です。
- 赤は機能障害です。

トイレを空にする

トイレは、製造元の指示に従って維持する必要があります。

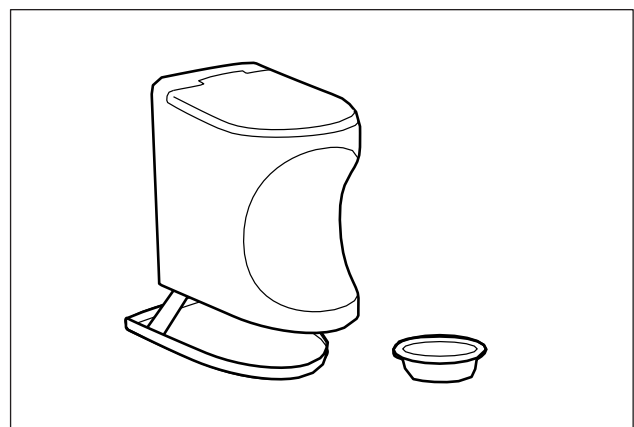
- 少なくとも週に一度は灰のボウルを空にします。
- 3回空になるたびに灰のボウルを掃除します。
- 指示に従って触媒を清掃します。



警告！

このトイレは、し尿とトイレットペーパーのみを対象としています。

他の材料の燃焼はリスクをもたらす可能性があります。



使用とメンテナンスの詳細については、製造元のユーザーインストラクションを参照して下さい。

セッフォードC263カセットトイレ

トイレの使用準備

トイレを使用する前に:

衛生的な消臭液と水を汚物タンクに追加して、底を水と消臭液で満たして下さい(約2リットル)

排出口から消臭液を追加します(便器)。

消臭液はKABEの販売代理店から購入出来ます。



トイレを使う

通常のトイレトペーパーは詰まりを引き起こす可能性があります。代わりにアクアソフトトイレトペーパーを使用して下さい。このトイレトペーパーは非常に柔らかく、急速に崩壊し、詰まりを防ぎ、汚物タンクを空にするのが簡単になります。

フラッシュボタンを1回押して、コントロールパネルをアクティブにします。次に、水洗ボタンを数秒間押し続けてトイレを洗い流します。

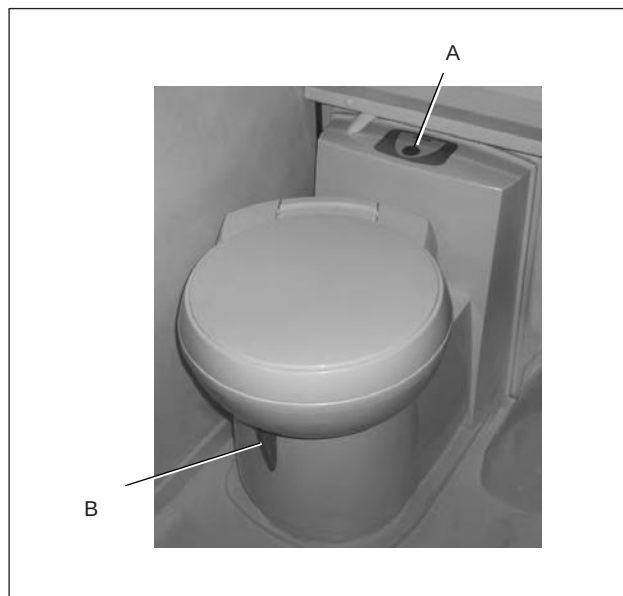
トイレはバルブブレードを開いた状態または閉じた状態で使用出来ます。(B)

1フラッシュボタン(A)を押して便器に少量の水を流します

2 レバー(B)を使用してバルブブレードを開きます。

3 使用後:
フラッシュボタン(A)を押して便器をきれいに洗い流す

4 トイレのバルブブレードを閉じます。



大事！

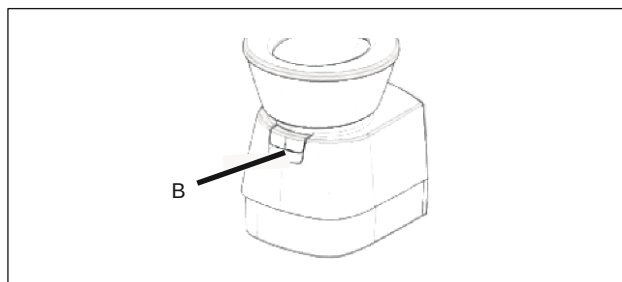
水ポンプを始動するには、コントロールパネルで水ポンプをオンにする必要があります。水ポンプアイコンが表示されている必要があります。

大事！

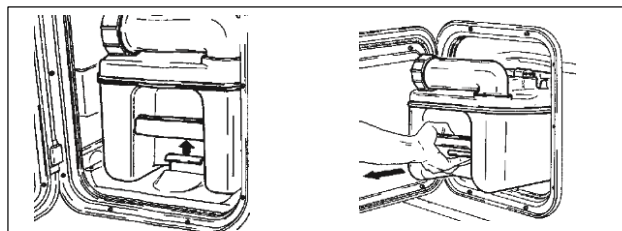
製造元の使用およびお手入れ方法も参照して下さい。

トイレを空にする

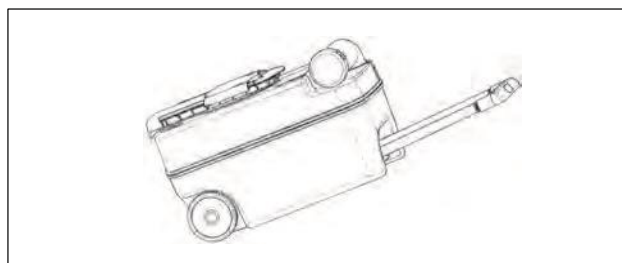
- 1 トイレのバルブブレード(B)を閉じます。



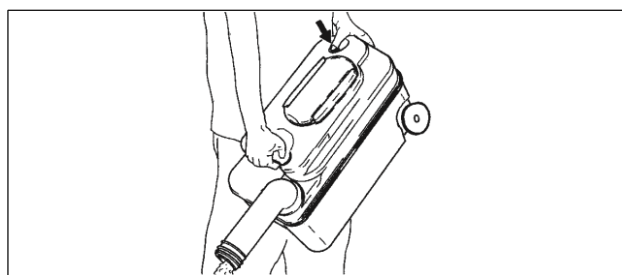
- 2 汚物タンクを引き出します。



- 3 汚物タンクを運ぶ車輪で引っ張ります。



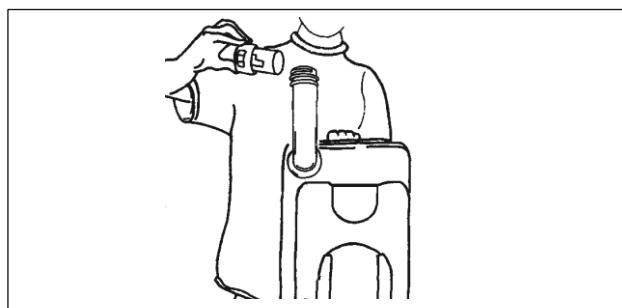
- 4 汚物タンクを標準のトイレまたはその他の承認された場所で処理して下さい。
汚物が汚物タンクからなくなるまで、エアバルブを押し続けます。



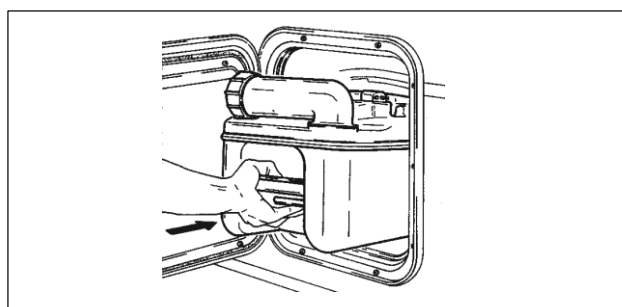
大事！

汚物の注ぎ口が下を向く前にエアバルブを押さないで下さい。

- 5 消臭液と水を汚物タンクに追加して、底を水と消臭液で覆って下さい(約2リットル)
汚物の注ぎ口を介して消臭液を追加します。
消臭液はKABEの販売代理店から購入出来ます。



- 6 キャップを汚物の注ぎ口に戻します。
- 7 汚物タンクをキャンピングカーのトイレの下に押し戻します。



サブバッテリー充電

サブバッテリーの充電を確認する

コントロールパネルでサブバッテリーの電圧レベルを読み取ります。

スターターバッテリーの充電レベルを読み取るには、車両のイグニッションがオンになっている必要があります(ただし、エンジンは作動していません)。

読む前に:

- バッテリーが充電されていないことを確認します(つまり、エンジンが作動しておらず、230V電源が接続されていません)。
- できるだけ多くのライトを消します。

以下は、20°Cでのガイドライン値です。

> 12.5Vバッテリーは完全に充電されています。

12.2 V – 12.5 Vバッテリー50%充電済み。

< 12.2 V バッテリーは充電が必要です

サブバッテリーの充電

キャンピングカーが230V電源に接続されている間、リビングエリアのサブバッテリーはバッテリー充電器によって自動的に充電されます。コントロールパネルにアイコンが表示されます。

バッテリー充電器は、車両のスターターバッテリーも充電します。

バッテリーは、少なくとも24時間連続して充電すると最適に機能します。「補充」するために、バッテリーを短時間充電することが出来ます。ただし、バッテリーの全容量を維持するには、時々フル充電する必要があります。

「説明-電気システム」も参照して下さい。

サイレントモード

バッテリー充電器は、静かに動作するように設定出来ます(サイレントモード)。

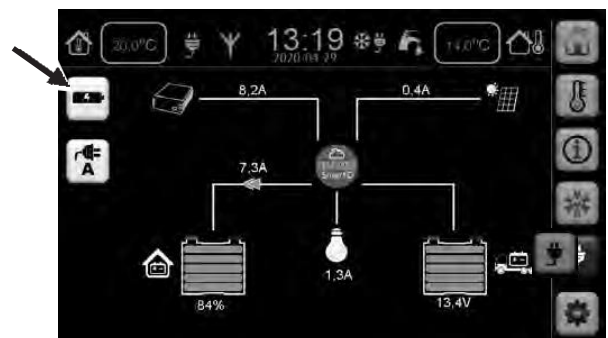
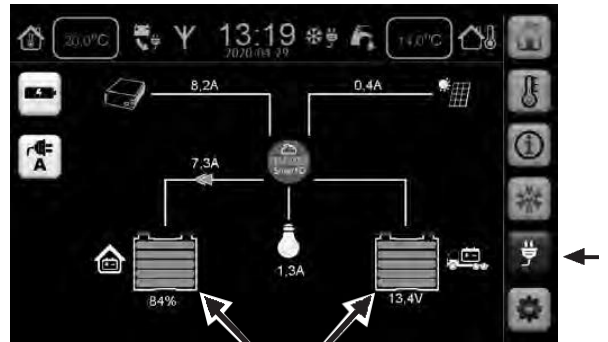
その後、バッテリーは低電力で充電されます。

サイレント(縮小)モードを開始および停止する時間を設定します。



サイレントモード
オン/オフ

サイレントモードの開始
時間/終了時間



説明

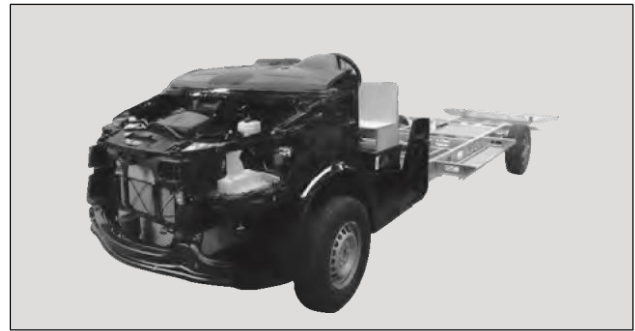
説明

説明一車両

各KABEトラベルマスターは、自動車メーカーのメルセデスベンツから供給された「ベース」上に構築されています。

キャンピングカーの車両部分については、車両メーカーは別のユーザーマニュアルを提供します。これにより、車両の機能、操作、およびメンテナンスに関する指示と説明が提供されます。

車両のユーザーマニュアルを調べて下さい。車両は、ユーザーマニュアルまたはサービス手順に従ってメンテナンスする必要があります。



TMI車両部品(完全一体型キャンピングカー)

シャーシ

各KABEトラベルマスターは、薄型で軽量のシャーシ上に構築されています。リアアクスルとシャーシはAL-KOIによって提供されます。

KABE Vanはメルセデスプリンターをベースに構築されています。



車両部品(半一体型キャンピングカー)。

牽引フック

KABEは、工具の有無にかかわらず取り外し/再取り付けできる工場で行われた牽引フック(オプション)を備えた完全に統合されたキャンピングカーを提供しています。トレーラーなしで運転するときは、牽引フックを取り付けないで下さい。

ランニングライト

私たちのキャンピングカーで使用されているランニングライトの多くはLEDタイプです。これらはエネルギーをほとんど消費せず、長寿命です。車両の電気システムは、これらのLEDライトが消えるかどうかを感知出来ません。



KABE Van車両部品。

パーキング

駐車時:運転席のドアを開閉します。

キャンピングカーの車両部分は、ショートのストップ中にいくつかの機能がまだ動作するようにプログラムされています。ドアを操作して閉じることで、車両が駐車されていることを確認します。

サイドライトが消え、他のいくつかの機能がシャットダウンします。

車輪

タイヤの空気圧と摩耗は定期的にチェックする必要があります。

ホイール交換後：

約50km後にホイールボルトを締め直します(新車にも適用されます)。

アルミリム：

アルミリムのホイールボルトの締め付けトルクは

180ナノメートル。

スチールリム：

スチールリムのホイールボルトの締め付けトルクは

180ナノメートル。



警告！

最初のトリップ中およびホイールフィッティング後に、ホイールボルトが正しくトルクをかけられていることを確認して下さい。

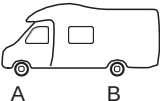
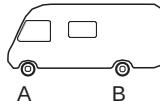
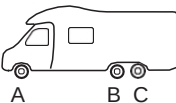
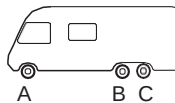
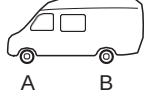
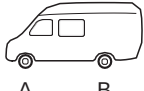
適切なタイプのホイールボルトを使用して下さい。

選択したリムに適切なホイールボルトを使用することが重要です。リムのホイールボルトの接触面積は、リムによって異なります。リムを取り付けるために間違ったホイールボルトを使用すると、損傷を引き起こす可能性があります。

タイヤ空気圧

長期保管でのタイヤの変形を打ち消すには、圧力を550 kPa(5,5バール)に上げる必要があります。推奨されるオンロードタイヤ空気圧表を参照して下さい。

記載されている値はコールドタイヤの場合です。

	A	B	C
 	500 kPa (5,0 bar)	450 kPa (4,5 bar)	---
 	500 kPa (5,0 bar)	430 kPa (4,3 bar)	400 kPa (4,0 bar)
KABE Van  	370 kPa (3,7 bar)	490 kPa (4,9 bar)	---
KABE Van  	420-480 kPa (4,2 - 4,8 bar)	390-430 kPa (3,9 - 4,3 bar)	---

スノーチェーン

スノーチェーンの取り付けと使用については、説明書を参照して下さい。

スノーチェーンの使用に関する地域の規制を遵守して下さい。

サポートレッグ

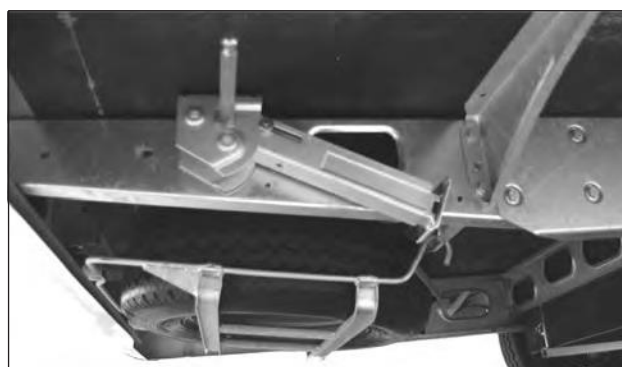
手動サポートレッグ

特定のキャンピングカーにはサポートレッグがあります。サポートレッグはキャンピングカーの下のシャーシに取り付けられています。

クランクを使用して、各サポートレッグを上げ下げします。旅行の前にサポートレッグは一番上まで戻して下さい。サポートレッグは自動的に最上部に固定されます。

サポートレッグは、キャンピングカーのスタビライゼーション専用設計されています。サポートレッグを巻き下げる前に、キャンピングカーが水平であることを確認して下さい。サポートレッグは車両を持ち上げるようには設計されていません。

サポートレッグは、車両ジャッキと組み合わせて、または車両ジャッキの代わりに使用しないで下さい。



最上部にあるサポートレッグ

備考！

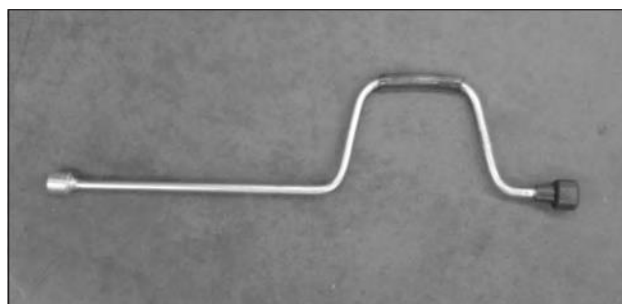
移動する前に、サポートレッグが一番上の位置まで正しく持ち上げられていることを確認して下さい。



キャンピングカーを安定させるために巻き取られたサポートレッグ



サポートレッグは一番上の位置まで巻き上げる必要があります



クランク

油圧サポートレッグ

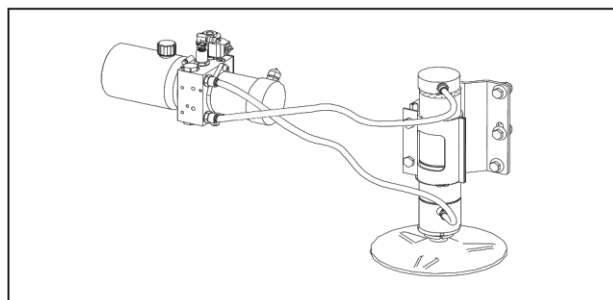
特定のモデルには油圧サポートレッグがあります。モデルアルコHY4。

油圧サポートレッグは、独立したハンドヘルドコントロールを介して作動します。

油圧サポートレッグは固定用にプログラムされています。

- ・ オートレベル(キャンブ)。
- ・ 自動撤回(旅行前)。

各サポートレッグには、キャンピングカーのリビングエリアバッテリーによって駆動される油圧ポンプがあります。サポートレッグは、車両のイグニッションがオフになっている場合にのみ作動になります。



自動リトラクト

「サポートレッグを引っ込める」ボタンを押します。このポジションは走行前に従事する必要があります。キャンピングカーは、運転席のインジケータライトが緑色に変わるまで動かないようにする必要があります。すべてのサポートレッグは、走行前に完全に引っ込める必要があります。

自動レベル

この位置はキャンブ時に使用されます。サポートレッグキャンピングカーを水平位置に自動的に調整します。

支持脚は不均一な地面を補正します。ある程度まで、支持脚は傾斜した地面を補うことができます。それでも、比較的平坦な駐車場を選択する必要があります。

支持脚をアクティブにするには:

- ・ ハンドブレーキをかけます。
- ・ ギアボックスを「パーク」に入れます。
- ・ 別のハンドヘルドコントロールのオフバットンを押して、エアサスペンションX4を無効にします。(一部機種のみ)
- ・ その後、イグニッションをオフにすることが出来ます。

特定のキャンピングカーにはエアサスペンションX4があります(エアサスペンションX2には適用されません)。油圧サポートレッグをアクティブにする前に、エアサスペンションをオフにしてください。エアサスペンションと油圧サポートレッグの両方がキャンピングカーの傾きを感知します。したがって、彼らは対立し、互いに打ち消し合う可能性があります。エアサスペンションは走行中のみ使用して下さい。

サポートレッグはキャンブ時にのみ使用して下さい。



大事！

製造元の使用およびお手入れ方法も参照して下さい。

メンテナンス

メンテナンス手順は、製造元の指示に従う必要があります。

緊急操作

緊急操作時は製造元の指示に従う必要があります。

ガス配管システム

ガスボンベ

ガスボンベは石油製品です。ガスボンベのガスが燃焼すると、二酸化炭素と蒸気を放出します。完全燃焼を確実にするためには、十分な空気の供給が不可欠です。2つのバーナーを備えたガスコンロは、重い肉体労働を行う人の最大7倍の空気を必要とします。

ガスボンベは、周囲の空気よりも重く、容易に混ざりません。ただし、特定の状況下では、低地に集まります。

ガスには特有の臭いがあります。

ガスは毒性がありません(既知の毒性症状はありません)。

ガスボンベには2種類あります(液化石油ガス–LPG)。

- ・ プロパン (C₃H₈)
- ・ ブタン (C₄H₁₀)

-40°C前後までガス化するため、プロパンを使用して下さい。

ブタンは約±0°Cでガス化を停止します。

スウェーデンでは、プロパンのみが利用可能です。他の国では、ブタンも販売されています。冬にガスを使用する場合は、プロパンを依頼して下さい。



警告！

火災の危険があります。

ガスボンベは、非常に可燃性ガスに分類されません。それは敬意を持って扱われなければなりません。

漏れの疑いがある場合は、ガス配管のマスターバルブを閉じて、ガスシステムの漏れを専門的にテストしてもらいます。



警告！

火災の危険があります。

ガス器具が点灯している場合は、ガソリンスタンドへの運転は禁止されています。



ガス配管システム

ガスボンベはボトルロッカーに保管されています。

ガスボンベロッカーは、リビングエリアから分離された密閉された換気スペースです。ロッカーの床には通気孔があります。これらは、漏れたガスを逃がすことができます。

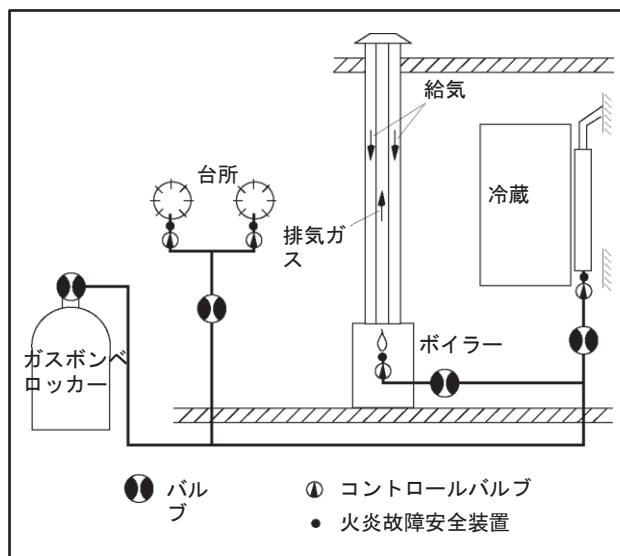
ガス配管システムは、ネジ取り付け式の銅パイプを使用しています。ガスボンベは、承認されたゴムホースを介してガスシステムに接続されています。

ガス配管システムには、部分的または完全な閉鎖システムのマスターバルブはガスボンベにあります。標準バージョンでは、キャンピングカーには3つのガス器具があります。

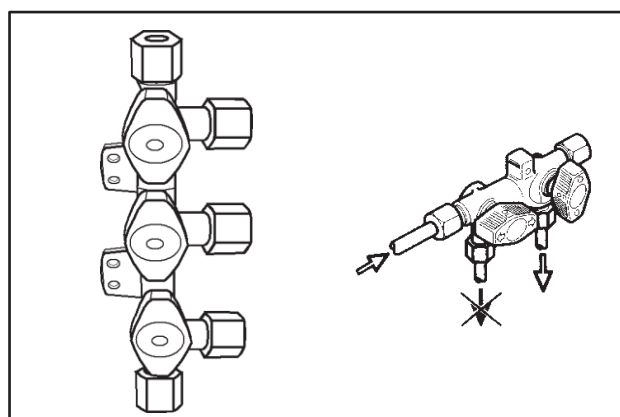
- ・ コンロ
- ・ ボイラー
- ・ 冷蔵庫



各ガス器具については、独自のセクションで説明します。



ガス配管システムの概略図。



ガス配管バルブは、ガスボンベのガスを閉じるために使用されます

ガスボンベ

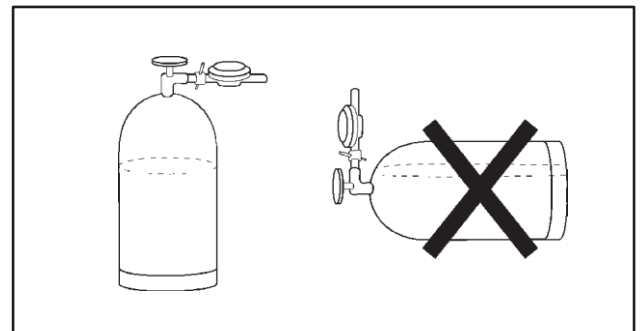
各ガスボンベには10kgのプロパンが入っています。キャンピングカーのガスシステムでは、ガスボンベは直立している必要があります。図を参照してください。横向きに使用すると、液化ガスがシステムに浸透し、ホブバーナーの炎が定期的に燃え上がる可能性があります。ガスボンベは圧力容器であり、異常な加熱に屈服してはなりません。ガスボンベに直射日光が当たらないようにして下さい。ガスボンベは圧力容器であるため、10年ごとにテストする必要があります。各ガスボンベには、最後にテストされた年がマークされています。マーキングが10年以上前の日付である場合は、検査をして下さい。



ボトルロッカーのガスボンベ

ガスボンベのバルブを開くと、ガスがボトルの上部から排出され、ボトル内の圧力が低下します。これを補うために、ボトル内の液化ガスはガスの流出と一致する程度にガス化し、圧力を正確に回復します。このプロセスは、ボトルに液体のガスが含まれなくなるまで続きます。

ガスボンベのガスシステムへの接続には、左側のネジがあります。ガスボンベを交換するには、「使用」セクションの手順を参照してください。



ガスボンベは直立させて保管する必要があります

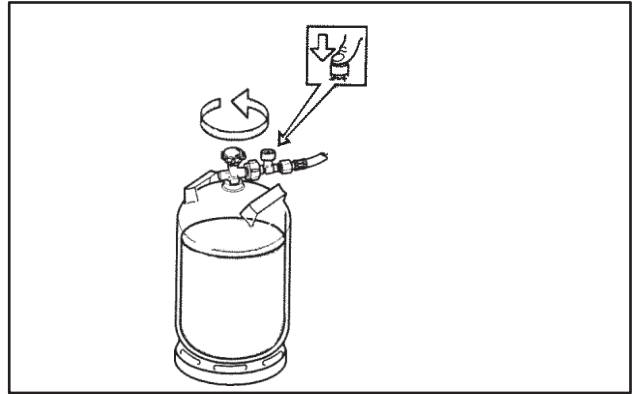
大事！

以下は、KABEディストリビューターからオプションのエクストラとして購入出来ます。

ホースブレイクバルブ

Tホースブレイクバルブは、ガス配管に取り付けられています。ホース断線弁は、ホースが破損した場合にガスの流れを遮断する安全装置です。

ガスボトルを交換した後、ボタンを押してホースブレイクバルブを開く必要があります。その後、ガスボンベシステムが加圧されている限り、開いたままになります。



ホースブレイクバルブはガスボンベに取り付けられています

ガス用圧力調整器

ガス圧力調整器は、減圧弁とも呼ばれます。

ガスボンベの隣の壁に取り付けられ、還元弁があります。これにより、ガス圧が3 kPa(30 mbar)に低下します。キャンピングカーのすべてのガス器具は、この前提で動作します。

何らかの理由で減圧弁を交換する必要がある場合は、その交換が正しい圧力になるように設計されていることを確認して下さい。



トルマモノコントロールは1本のガスボンベを対象としています

ガス配管システムには、大きな衝撃が発生した場合にガスの流れをブロックするクラッシュセンサーもあります。交通事故時のガス漏れを防止する安全装置です。通常の使用ではトリガーされません。それにもかかわらず、クラッシュセンサーがトリガーされた場合は、ツールでボタンを20~30秒間押し続けることでリセット出来ます。

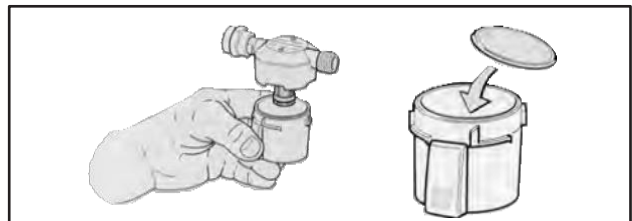


ガス圧力調整器用工具

ガスボンベとガス圧力調整器の間にガスフィルターが取り付けられています。

吸収パッドは、ガスボンベと同時に交換する必要があります。ガスフィルター取り外し可能な部分の下部に配置されています。(トルマ商品番号:50681-01)

製造元のマニュアルも参照してください。



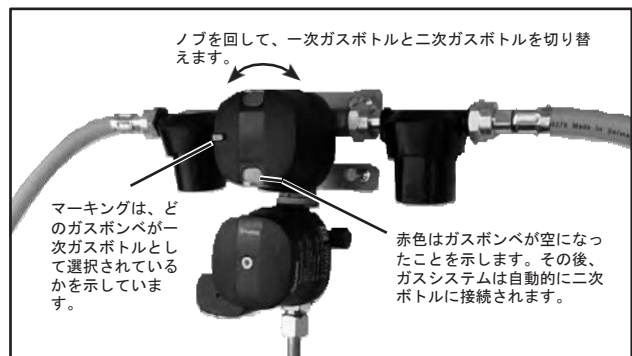
フィルターパッドの交換

トルマデュオコントロールは、2本のガスボンベを対象としています。ノブを回して一次ガスボンベを選択します。

二次ガスボトルにガスが含まれていることを確認してください。

ガスボンベが空になると、オートマで一次ガスボンベから二次ガスボトルに切り替えます。

ノブを回して、一次ガスボンベと二次ガスボンベを切り替えます。



トルマデュオコントロールは2本のガスボンベを対象としています

ホースブレーキバルブと衝突センサーを備えたキャンピングカーは、旅行中にガス器具を使用するように設定出来ます。電気システムの設定は、この可能性のために前記システムを適応させます。

キャンピングカーのエンジンがオフになると、電気システムは冷蔵庫とボイラーのガスボンベの動作を15分間自動的にオフにします。(これは、ガソリンスタンドの点灯ガス器具を防ぐためです。コントロールパネルメニューには、次のオプションが表示されます。

- ガスボンベの運転が開始されるまで15分待ちます。
- すぐにガスボンベの運転を開始して下さい。
- ガスボンベの操作はオフのままにします。

最初のオプションは、別のオプションが選択されるまでプリセットされます。

シンデレラガス焼却トイレは電気系統に接続されていないことを忘れないで下さい。ガソリンスタンドに入る前に手動でオフにする必要があります。シンデレラガス焼却トイレが点灯していないことを確認するために、蓋を持ち上げます。



警告！

火災の危険があります。ガス器具に火がついている場合は、ガソリンスタンドへの運転は禁止されています。



リークインジケーター

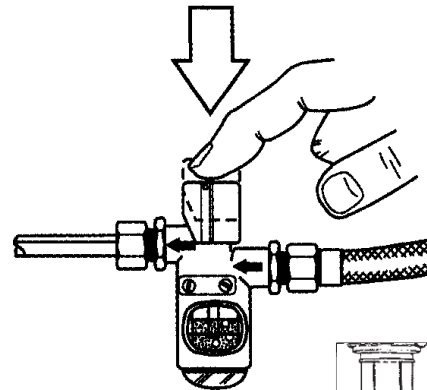
特定のモデルには、ガスボンベのリークインジケーターがあります。インジケーターのボタンを押すと、ガラスドーム内の液体を通してガスが泡立ちます。

車両内のすべてのガス器具の電源を切ると、システム内を流れるガスや流体に気泡があつてはなりません。少なくとも10秒間待ちます。

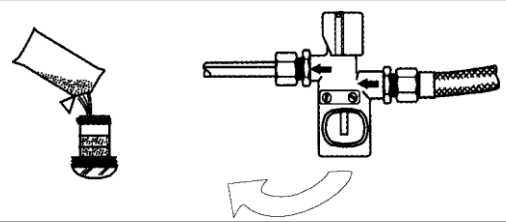
すべてのガス器具の電源を切っても気泡が発生した場合は、ガスシステムのどこかに漏れがあります。漏れの疑いがある場合は、すぐにガスのマスターバルブを閉じ、最寄りのKABEサービスワークショップにお越し下さい。

ガラスドーム内の液体レベルは2つのマークの間にある必要があります。必要に応じてガラスドームに漏れインジケーター液(プロピレングリコール)を入れます。ガラスドームを手で所定の位置にねじ込みます(工具は使用しないで下さい)。液体はKABEディストリビューターから購入出来ます。

個々のジョイント、コネクタ、バルブは、石鹼液でブラッシングするか、リークスプレーでスプレーしてチェックする必要があります。気泡は漏れがあることを示します。



リークインジケーターを10秒間押してガスシステムをテストします。液体中の気泡は漏れを示しています。



インジケーターを液体で満たします

ガス配管システムの確認

配達時に、各KABEトラベルマスターは、その時点で適用される規制に従ってテストされています。

次のチェックも定期的に行う必要があります。

- ・連続使用時は、ガスラインやガスを点検して下さい。
- ・電化製品に損傷や漏れがないか調べます。
- ・リークインジケーターを使用して、週に一度、およびガスボンベを交換した後にガスシステムをチェックします。

少なくとも年に一度、ガスシステム全体を専門家がテストする必要があります。

ひび割れ、経年劣化、摩耗、またはその他の欠陥を交換する必要があります。

損傷の兆候や誤った機能を示すガスボンベのガス部品または器具は、専門家が検査する必要があります。

ガスの圧力と温度

-15°Cでは、ボトルから流れるガス量は+13°Cの半分だけです。これは、ガス圧が温度とともに低下するためです。

10kgのボトルに2.5kgのガスがあり、温度が-15°Cの場合、最大流量は毎時350グラムです。+13°Cでは、毎時700グラムを完全に提供出来ます。

新しく充填されたガスボンベは、寒い天候でも比較的優れたパフォーマンスを発揮します。-15°Cでは、新しく充填された10kgのボトルは、毎時約900グラムを供給出来ます。+13°Cでは、これは毎時1,800グラムになります。

複合材料で作られたガスボンベは、-10°Cまでしか使用出来ません。

ガスボンベ内のガス量 (kg)

	2,5	4,5	7,0	9,0	11,0
温度.	可能な流量 (g/h)				
-18	315	427	603	767	807
-12	387	522	735	943	989
-7	458	617	871	1120	1170
-1	531	712	1010	1290	1360
+4	603	812	1140	1470	1550
+10	671	907	1280	1650	1730

ガスボンベ消費量

消費量は季節によって異なります(冬の暖房は大量のガスを使用する可能性があります)そしてもちろん、コンロの使用量。

冷蔵庫は毎時多くのグラムを使用しませんが、日中数時間稼働しています。

以下に、いくつかのガイドラインを示します。

- ・コンロ:弱火–高炎、毎時35～110g
- ・ボイラー:毎時10～400g(熱出力による)
- ・冷蔵庫:毎時16g(1日あたり380g)。

冷蔵庫

冷蔵庫はガスボンベまたは230Vの電力供給で駆動されます。走行中は、車両の12V電源を使用して冷蔵庫に電力を供給することも出来ます。

冷蔵庫の設定は、冷蔵庫とキャンピングカーのコントロールパネルの両方からアクセス出来ます。

冷蔵庫のモデルはキャンピングカーによって異なります。

特定のキャンピングカーでは、冷蔵庫に自動エネルギー選択(AES)があります。これにより、冷蔵庫は主に230V電源で駆動されます。キャンピングカーが230V電源に接続されていない場合、冷蔵庫はガス運転に切り替わります。走行中、冷蔵庫は車両の12V電源で駆動されます。

冷蔵庫の電子機器と制御機器はバッテリーに接続されています。したがって、バッテリーが平らであるか切断されている場合、冷蔵庫はどのエネルギーモードでも動作しません。



冷蔵庫が通常の動作温度に達するまでに数時間かかります。旅行のかなり前に冷蔵庫を始動し、可能であれば、予冷した食品をストックして下さい。

冷蔵庫を最初に使用すると、特定の臭いがする場合があります。これは数時間後に消えます。部屋をよく換気して下さい。

大事！

冷蔵庫メーカーの使用と手入れも参照して下さい。
説明書(冷蔵庫に付属)
冷蔵庫は使用前に清掃する必要があります。

冷蔵庫を初めて使用する場合、およびガスボンベを交換した後、ガスパ管内に空気が入ることがあります。ガスラインから空気を取り除くには、別のガス器具(コンロなど)を短時間使用します。

キャンプ場で230 V主電源の高負荷でよくあることで、電圧降下があると、冷蔵庫の容量が減少します。

備考！

走行中に冷蔵庫をガスで運転する場合、キャンピングカーが走行する国の法律で規定されているすべての措置を遵守する必要があります。
走行中のガスボンベの操作が禁止されています。
ガソリンスタンド内およびその周辺でのガスボンベの使用は常に禁止されています。

冷蔵庫の電源を切る

ユーザーの指示に従って冷蔵庫の電源を切ります。

冷蔵庫の供給バルブが閉じていることを確認して下さい。

冷蔵庫の電源を切ったら、ドアを開けてそのままにしておく必要があります

これは、内部での金型形成を防ぐのに役立ちます。

冷蔵庫をしばらく使用しない場合:

- ・ 冷蔵庫を空にします。解凍して清掃します。
- ・ 冬のグリルハッチを冷蔵庫の換気に取り付けます。



トラベルキャッチ

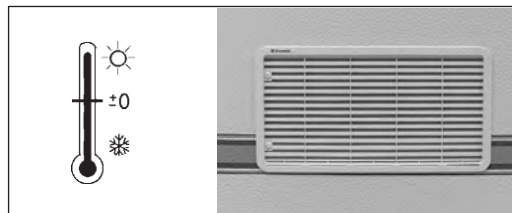
冷蔵庫のドアにはトラベルキャッチがあります。旅行する前に、ドアが固定されていることを確認して下さい。

冷蔵庫の換気を適応させる

十分に換気機能するには、冷蔵庫が正しくなければなりません。
冷蔵庫はキャンピングカーの壁のグリルで換気されます。
冷蔵庫の換気を屋外温度に適応させる。

屋外温度が約+8°C以上

夏の天候では、冷蔵庫の背面が十分に換気されていることが重要です。
冷蔵庫の換気が妨げられていないことを確認して下さい。



屋外温度約+8°C以下

寒い季節には、プラスチック製のハッチを下部の換気グリルに取り付ける必要があります。これにより、冷蔵庫が十分に機能するように換気が制限されます。

冷蔵庫の後ろに汚れが入るのを防ぐために、キャンピングカーが使用されていないときはプラスチック製のハッチを取付して下さい。



備考！

冷蔵庫の換気グリルは、空気の循環が妨げられないように遮らないようにする必要があります。障害物は過熱につながる可能性があります。
冬の操作中は、冬のハッチを使用してグリルを部分的に覆う必要があります。ただし、ある程度の換気が必要です。

大事！

冬の間に車両を片付ける場合は、冬のハッチを取り付けることをお勧めします。

冷蔵庫の後ろのファン

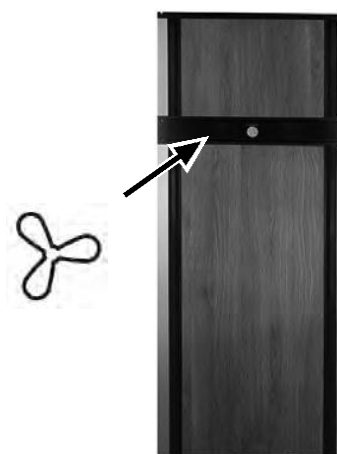
暖かい季節には、冷蔵庫を十分に冷やすために換気を増やす必要がある場合があります。

冷蔵庫の後ろにファンがあります。サーモスタットは必要に応じてファンが起動します。

特定のモデルでは、冷蔵庫のコントロールパネルでファンを介してオフにすることが出来ます。

通常、ファンはサーモスタットによって制御されるようにオンにする必要があります。

製造元の指示も参照して下さい。



冷蔵庫の説明

アドバイスとケア

冷蔵庫は、室温で簡単に消える食品や冷却して提供する必要がある食品を保管するのに適しています。食料品を配置する必要があります。

味と匂いの強い食品は、他の食品にしみ込みます。したがって、冷蔵庫に保管されているすべての食品は、密閉容器に入れるか、プラスチックフィルムで包む必要があります。これはまた、保管中に食品が乾燥するのを防ぎ、冷蔵庫での霜の形成を減らします。

隔年で必要な安全検査、推奨される機能チェック、修理については、常に専門家を使用して下さい。

少なくとも年に一度、そして冷蔵庫を使用する前に

次の事を確認して下さい。

- ・ ガスシステムには漏れがありません。
- ・ パーナーは清潔で、近くに可燃物が無いか確認
- ・ 換気口はふさがれていないか確認。
- ・ ユーザー指示は手元において下さい。

いくつかのヒント

次のことを確認して下さい

- ・ 冷蔵庫は定期的に解凍して下さい。
- ・ 冷蔵庫をしばらく使用しないときは、最初に洗浄し次に乾燥させます。ドアは開いたままにしておきます。
- ・ 液体物や臭いの強い商品はよく梱包して下さい。
- ・ 換気口には障害物が無いことを確認して下さい。
- ・ ドアは旅行中のキャッチによって固定して下さい。

食品の保管

- ・ 食品は密閉容器、アルミホイル等に保管して下さい。
- ・ 暖かい食べ物を冷蔵庫に入れないで下さい(最初に冷まして下さい)。
- ・ 揮発性、可燃性ガスを放出する可能性のある製品は冷蔵庫に保管しないで下さい。

2つ星の冷凍室(最大-12°C)は、角氷の冷凍や冷凍食品の短期保管に適しています。

食品の冷凍には適していません。

大事！

暖かい食べ物を冷蔵庫に入れないで下さい。

氷作り

夜に氷を作るのが最善です。冷蔵庫の負荷はその後低く、冷蔵要素の予備力は大きくなります。

製氷皿をほぼ一番上まで飲料水で満たし、それらを冷凍室の底に置きます。

サーモスタットが一時的に最大位置に設定されている場合、凍結はより速くなります。ただし、氷の準備ができたら、通常の位置に戻すことを忘れないで下さい。そうしないと、冷蔵庫が冷たくなりすぎる可能性があります。

解凍

時間が経つにつれて、凍結面に霜が形成されます。冷凍庫の効率を低下させるため、これが蓄積することを許してはなりません。

冷凍庫のエレメントを毎週定期的にチェックして下さい。

霜の厚さが3 mm以上の場合、冷蔵庫は解凍する必要があります。

解凍するとき:

- ・ 冷蔵庫の電源を切ります。
- ・ 冷蔵庫からすべての食品と製氷皿を取り出します。
- ・ ドアを少し開いたままにします。

いかなる形態の加熱装置でも霜取りをスピードアップしようとししないで下さい。これにより、冷蔵庫のプラスチック表面が損傷する可能性があります。同様に、鋭利なものを使用して氷をこすり落としてはいけません。

冷凍庫の要素からの溶融水は、コリクションチャンネルからパイプを通して、冷蔵庫の背面にあるボウル(通常は蒸発する場所)に流れます。

霜が重く、溶けた水が多い場合は、排水ホースをボウルから持ち上げ(換気グリルを介して車両の外部からアクセスできます)、水をホースから適切な容器に流します。

解凍後、ホースをボウルに戻します。雑巾を使用して、冷凍室から溶けた水を乾かします。

すべての氷が溶けたら、冷蔵庫を乾かします。

食品は冷蔵庫に入れることが出来ますが、冷蔵庫が再び冷えるまで氷を作ろうとししないで下さい。

備考！

氷の層は力を使って取り除かないで下さい。

熱源を使用して霜取りをスピードアップしてはなりません。

大事！

冷蔵庫をしばらく使用しない場合は、キャンピングカーの遮断弁とガスポンペの弁を閉じる必要があります。

冷蔵庫の掃除

冷蔵庫を定期的に掃除して下さい。

- 1 冷蔵庫の電源を切ります。
- 2 冷蔵庫の内部を水と刺激の少ない刺激の少ない洗浄液できれいにします。強力な化学薬品や研磨剤は使用しないで下さい。冷蔵庫の内部をきれいにするために、洗浄剤、精練剤、精練剤、香りのよい製品、またはワックスポリッシュを使用しないで下さい。これらは表面を損傷したり、強い臭いを残したりする可能性があります。
- 3 湿らせた布とマイルドな洗浄剤で冷蔵庫の外側を掃除します。
- 4 石鹼液でドアシールを清掃します。乾かしてそれらを拭きます。
- 5 ブラシを使用して、冷蔵庫の背面にある要素を掃除します。エレメントを掃除するときは、冷蔵庫の電源がオフになっていることを確認して下さい。

冷蔵庫が機能していない場合

サービス技術者を呼ぶ前に、以下を確認して下さい:

- 1 冷蔵庫が水平であること。
- 2 接続されたエネルギー源のいずれかを使用して冷蔵庫を始動できる場合。
- 3 冷蔵庫がボトル入りガスで動作していない場合は、次のことを確認して下さい。
- 4 ボトルには十分なガスがあります。
- 5 ガスバルブが開いています。
- 6 冷蔵庫が12 Vで動作していない場合は、次のことを確認して下さい。
- 7 車両のヘッドライトが点灯しています。
- 8 12Vヒューズは飛んでいない。
- 9 冷蔵庫が230 Vで動作していない場合は、次のことを確認して下さい。
- 10 230V電源は冷蔵庫に接続されています。
- 11 230Vヒューズは飛んでいない。

冷蔵庫が十分に冷たくない場合、これは原因である可能性があります:

- 1 サーモスタットが正しく設定されていません。
- 2 一度に冷蔵庫に入れられた(熱い)食べ物が多すぎる。
- 3 ドアが適切に閉じられていないか、ドアシールに欠陥があります。
- 4 冷凍庫の要素はつや消しになっています。
- 5 グリルがふさがれているか、冬のハッチが空気供給を制限しているため、換気が不十分です。
- 6 周囲温度が高すぎます(たとえば、換気口が日よけに囲まれた場所にあるため)

それでも冷蔵庫が正常に機能しない場合は、サービスファクトリーへ

暖房システム

暖房システムに関する一般

KABEトラベルマスターは水系暖房を備えています。熱はを介してリビングエリアに分散されます:

- 壁に沿って空気を加熱する暖房システムの対流式暖房。快適な室内温度を与え、窓でのドラフトを打ち消します。
- 床暖房、それは床のための快適な温度を保証します。
- キャンプシートの下にあるファン付き暖房ユニット。(一部機種のみ)

図は、リビングエリアの暖房システムのコンポーネントと、循環システムが互いにどのように接続されているかを示しています。

熱がリビングエリアの暖房回路を循環するために、リビングエリアの循環ポンプ(MKV)を始動する必要があります。

キャンピングカーの温度がコントロールパネルで設定した値を下回ると、循環ポンプ(MKV)が始動します。熱は対流式暖房を循環します。

対流式暖房と床暖房はさまざまな方法で相互作用します。モデルまたはオプション機器によって異なります。

2つの回路図は設計を示しています。

ほとんどのトラベルマスターでは、床暖房は図1のように対流式暖房に接続されています。床温度は対流式暖房の温度に従います。

一部のKABEトラベルマスターは、図2のような床暖房を使用しています。

床暖房には独自の循環ポンプ(MGV)があります。これはスイッチを介して開始されます。床温度はによって調節されます。

独立したサーモスタットを備えたシャントバルブ。これにより、より均一な床温度が得られます。

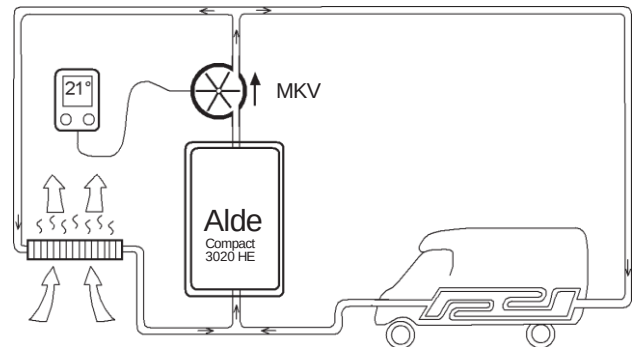


図1:
リビングエリアの暖房システムの概略図

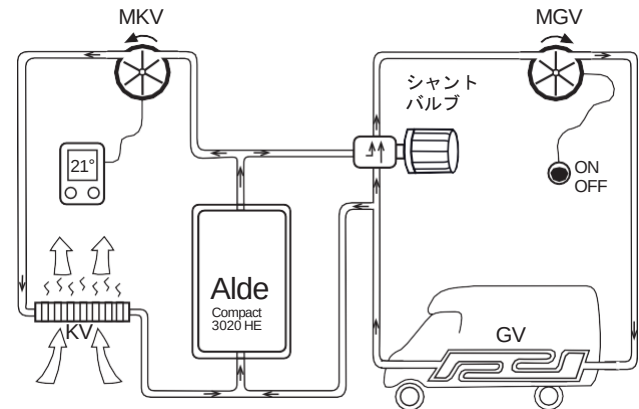
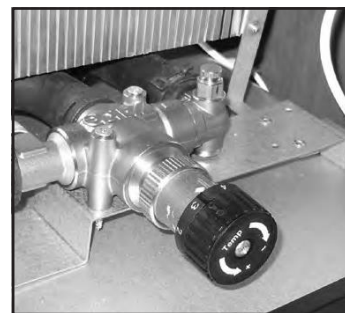


図2:
AGS II Pro暖房を備えたリビングエリアの概略図
システム(シャントバルブ付き床暖房)。

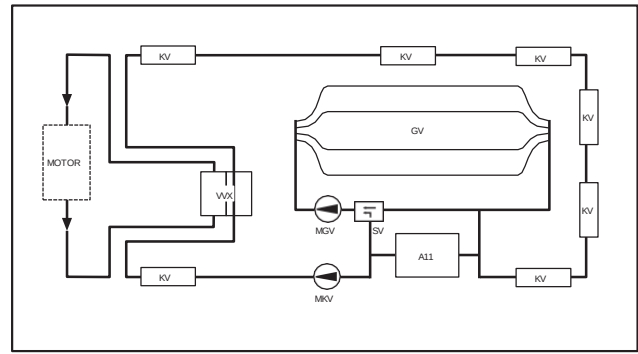


床暖房用シャントバルブ
(特定のキャンピングカーのみ)

暖房システムは、別々の流体システムを備えた2つの別々の循環システムで構成されています。

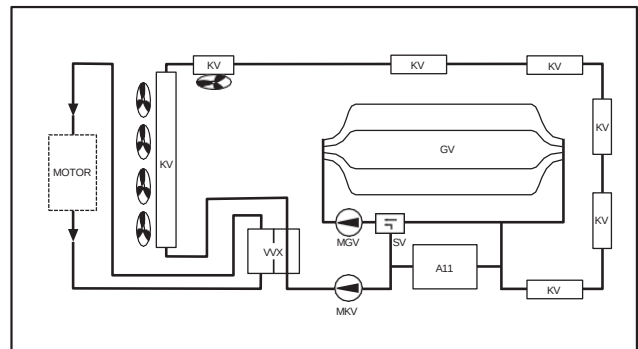
- ・ モーター回路
- ・ リビングエリアの暖房回路

一部のKABEトラベルマスターには暖房(VVX)があります。暖房は、一方の循環システムから他方の循環システムに熱を伝達します。走行中は、車両のエンジンでリビングエリアを温めることができます。キャンピングカーの温度がコントロールパネルで設定した値を下回ると、循環ポンプ(MKV)が始動します。熱は対流式暖房を循環します。



AGS II Pro 付き半統合キャンピングカー
(シャントバルブ付き)

A11	ボイラー
GV	床暖房
KV	対流
M2	運転席下の暖房ユニットファン
M3	循環ポンプ、モーター回路
M4	助手席下のヒーターユニットファン
MKV	循環ポンプ、対流式暖房
MGV	循環ポンプ、床暖房
SV	シャントバルブ
VVX	熱交換器



AGS II Pro(シャントバルブ付き)を備えた
完全に統合されたキャンピングカー

説明

熱損失を打ち消し、厳しい寒さの中でもキャンピングカーの快適な温度を維持するために、車両の壁、床、屋根は断熱されています。

キャンピングカーの前面を体の他の部分ほど効果的に断熱することは出来ません。フロントガラス、サイドウィンドウ、エンジンベイはすべて急速に熱を失う可能性があります。これは、ドライバーの環境における安全機能にも当てはまります。

次の提案を実装すると、キャンピングカーのフロントでの熱損失が減少されます。

- ・ 内部的には、キャンピングカーの前面にあるフロントガラス/ウィンドウに遮光カーテンを使用します。
- ・ 外部的には、キャンピングカーの正面にある風の隙間/窓に断熱材の冬用カバーを使用します。
- ・ エンジンベイから壁や床を絶縁するには、ダッシュボードにテキストカバーを取付けます。
- ・ 完全に統合されたキャンピングカー:ダッシュボードのファンを使用して、フロントガラスに暖かい空気を吹き込みます。

ボイラー

キャンピングカーにはALDEコンパクト3020HEタイプのボイラーがあります。

ボイラーはキャンピングカーを加熱し、お湯を供給する為に使用されます。

ボイラーには2つの動作モードがあります。

- ・ ガスポンペ

- ・ 230 V

ボイラーコントロールパネルで両方の動作モードが作動になっている場合、電氣的操作が優先されます。その後、必要に応じてガスポンペの運転が開始されます。

ボイラーは独自のコントロールパネルから操作されます。

ボイラーには、8Lを保持する統合された給湯器があります。70°Cの温水温度では、これは12リットルの「水道水」(40°C)に相当します。回復時間は約30分です。

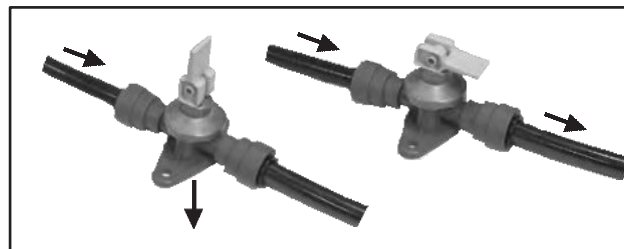
排水バルブを介して給湯器を排水します。これはボイラーの隣の床にあります。

キャンピングカーの下に水が流れ出します。

排水バルブは、給湯器に過圧がある場合は安全バルブとしても機能します。



ボイラー



給湯器の排水バルブ オープンポジション
とクローズポジション

備考！

凍結の危険があるとき、水システムは常に排水しなければなりません

ガスボンベ運転

ガスボンベを使用して加熱する場合は、ガス配管バルブを開く必要があります。



ボイラーは吸引パイプを介して燃焼用空気を取り、屋根の煙突を介して排気を放出します。したがって、燃焼はキャンピングカーの内部から完全にスクリーニングされます。

ボイラーには、何らかの理由で炎が消えた場合にガス供給を自動的に遮断する火災故障安全装置があります。

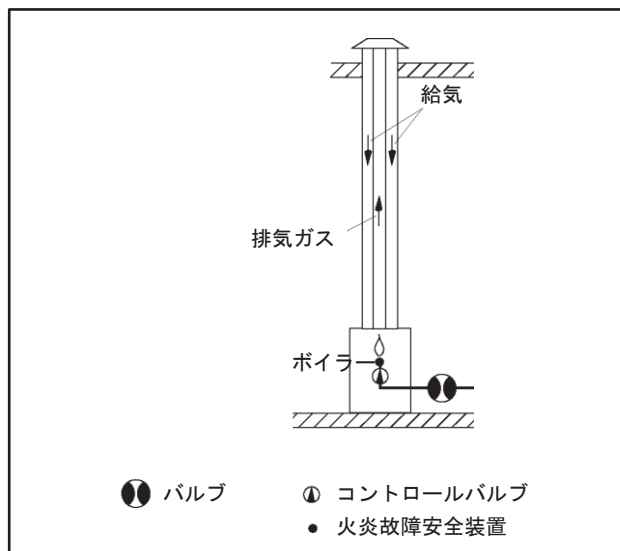
エンジン始動時にボイラーのガスボンベモードはオフになります。

特定のキャンピングカー(特定のモデル)には、ガスボンベシステムにクラッシュセンサーがあります。これにより、旅行中のガスボンベの操作が可能になります。ボイラーのガスボンベモードは、エンジンが始動しても続きます。

衝突センサーは、衝突などの際のガス漏れを防ぎます。衝突センサーは、たとえばDuo-コントロールに含まれています。

(衝突センサーを後付けする場合、エンジン始動時にボトル入りガスの運転が継続するように工場出荷時の設定を変更出来ます)

キャンピングカーのエンジンがオフになると、ボイラーのガスモードは常にオフになります。ガスの運転は約15分後に再開されます。



警告！
火災の危険があります。
ガス器具に火がついている場合は、ガソリンスタンドへの運転は禁止されています。



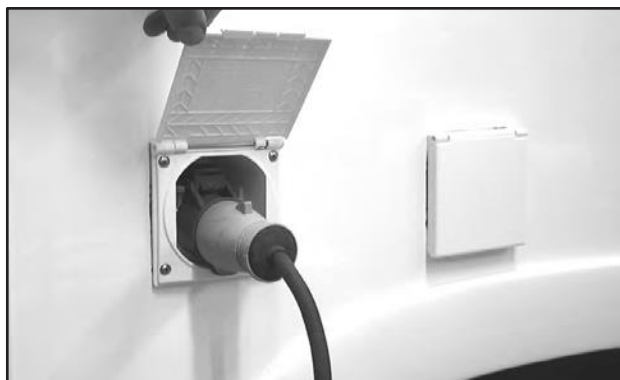
電氣的操作

ボイラーの温水ヒーターは230Vに接続されています

回路と16A回路ブレーカーで個別に保護されています。

ボイラーの温水ヒーターには3つの電力モードがあります。より高い電力はより速く加熱することを意味しますが、より多くのカレントを必要とします。したがって、接続された電源ケーブルがこれを処理できることを確認する必要があります(そうしないと、回路ブレーカーが作動します)。

電源モード 1 kW	必要なブレーカー 6 A
2 kW	10 A
3 kW	16 A



ACで温水ヒーターを使用するには230V電源が必要です

ボイラーのコントロールパネル

ボイラーのコントロールパネルは、キャンピングカーの電気システムに接続されています。したがって、ボイラーの最もよく使用される機能は、キャンピングカーのコントロールパネルから(他の暖房システム機能とともに)アクセス出来ます。

通常の使用では、ボイラーはキャンピングカーのコントロールパネルから制御されます。

ボイラーのコントロールパネルは目立たないように配置されています(ワードローブなど)

ボイラーのコントロールパネルの横にスイッチがあります。ボイラーのコントロールパネルが次の条件であるかどうかを設定するために使用されます。

- ・キャンピングカーの電気システムに接続され、その結果キャンピングカーのコントロールパネルに接続されています。

- ・又はバッテリーに直接接続されています。

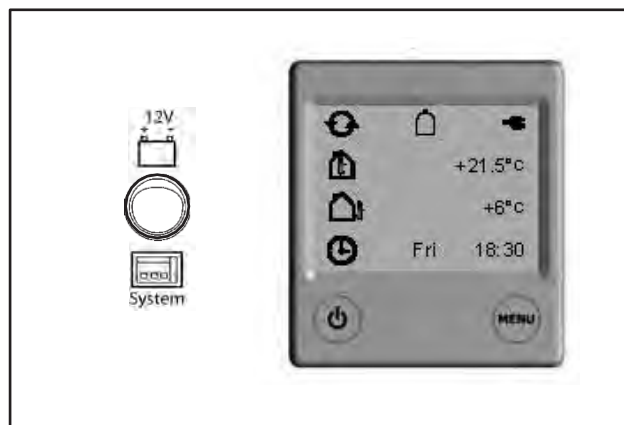
通常の使用では、スイッチは「システム」の位置にある必要があります。

キャンピングカーの電気システムが中断によって脅かされている場合は、スイッチを「12Vバッテリー」の位置に置くことでボイラーを稼働させ続けることができます。

ボイラーのさまざまな機能の詳細については、ALDEからの個別のユーザー手順を参照して下さい。

大事！

停電後、ボイラーの自動点火が使用出来るまでに約30秒かかります。



ボイラーのコントロールパネル



キャンピングカーコントロールパネルの暖房メニュー

リザーバータンク

リザーバータンクはカバープレートで隠されています。タンク内の液面は、カバープレートの検査穴から読み取ることができます。

リザーバータンクは、暖房システムの温度による液面の変化に対応するのに役立ちます。システムが熱くなると流体が膨張し、システムが冷えているときよりも高いタンクレベルが得られます。

膨張タンク内の液面はマーキング内である必要があります。

加熱システム内の液体が少なすぎると、循環ポンプの故障や損傷につながる可能性があります。

システム内の液体が多すぎると、次の場合にオーバーフローが発生する可能性があります。システムが熱くなります。



膨張タンクと点検穴付きカバープレート

暖房システム流体

水とグリコールの混合物が暖房システムで使用されます。

適切なタイプのグリコールを使用することは、加熱システムを腐食から保護する(したがって将来の漏れを回避する)ために重要です。

適切な混合比は、低温で凍結しますので以下から保護するために重要です。

グリコールが消え、その完全な効果を確実にするために交換する必要があります。交換の間隔は、使用するグリコールの種類によって異なります。特定の種類のグリコールは2年ごとに交換する必要があります。長寿命グリコールは、最大5年間の完全な保護を提供します。グリコールの変更がサービスブックに記載されていることを確認します。

KABEが推奨するグリコールのみを使用して下さい。

備考！

異なる種類のグリコールを混ぜないで下さい。これにより、ヒーティングシステムに損傷を与える化学反応を引き起こす可能性があります。

推奨グリコール製品

腐食防止剤を含む(モノ)エチレングリコールを使用して下さい。これは、SAE J 1034品質基準に従ってテストされています。長寿命製品は、G12++の要件を満たす必要があります。

要件を満たす製品の例:AldeプレミアムG12++不凍液(長寿命、5年)

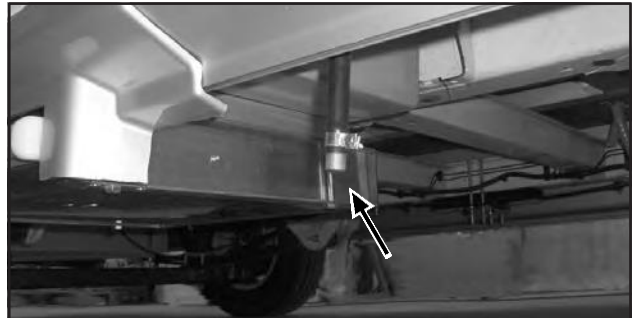
充填

リザーバータンクの手前にあるカバープレートを取り外します。冷たいボイラーでレベルがちょうどになるようにシステムを満たします。キャップとカバープレートを取り付け直します。

加熱システムを定期的にチェックして、加熱ループのどの接合部にも漏れがないことを確認して下さい。グリコールが漏れた場合は、水でよくすすいでから乾かして下さい。

排水

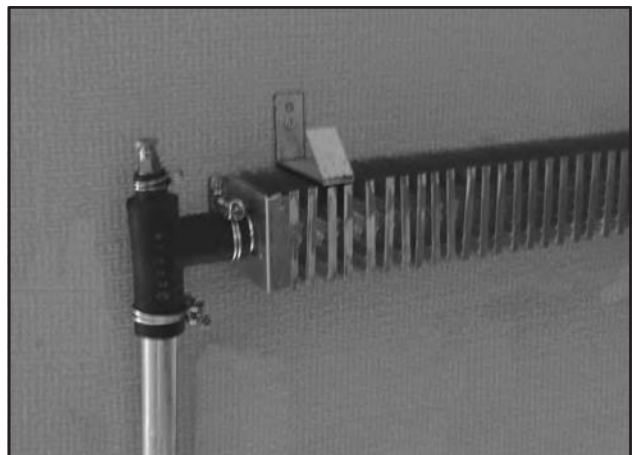
排水は、ペンチを使用してドレンプラグ(床下)を取り外します。また、膨張タンクのキャップを取り外します。



暖房システムを排水するための排水プラグ
キャンピングカーの下(ボイラーのそばと暖房システムの最低点)でアクセスできます

対流式暖房システム

対流式暖房は壁に取り付けられています。熱は対流式暖房フィンの周りを通過するときに空気に伝達されます。対流式暖房の間では、加熱システムの流体がホースとパイプを介して導かれます。これらのいくつかはニップルから空気を抜きます。加熱システム内の空気は、流体が正しく循環するのを防ぎます。このユーザーマニュアルには、空気を抜く手順が含まれています。



ブリードニップルとの対流式暖房およびホース接続

床暖房

暖房システムの液体は、リビングエリアの床に組み込まれた配管を通して循環します。

キャンピングカーのモデルに応じて、床暖房はさまざまな方法で規制されています。

AGS II床暖房は対流式暖房と統合されています。

AGS II Pro床暖房には独自の暖房回路があります。各モデルの床暖房について以下に説明します。



警告！

配管が損傷した場合、漏れの危険があります。

床にねじ込んだり釘付けしたりしないでください。これにより、床に組み込まれている配管に漏れが発生する可能性があります。

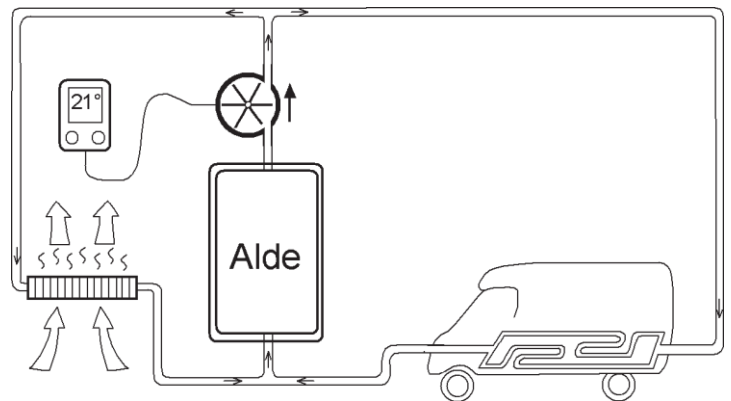
AGS II床暖房を内蔵した暖房システム

統合された床暖房では、床システムの温度は他の暖房システムの温度と同じです。

ボイラーからの熱は、壁暖房と床暖房に分配されます。

キャンピングカーの温度は、暖房システムのコントロールパネルによって監視されます。

必要に応じて、凸部と床暖房の温度が上下します。



対流式暖房は空気を加熱し、空気は壁に沿って上昇します。

床暖房の温度は、他の暖房システムの温度と同じです。

説明

AGS II Pro床暖房付き暖房システム

AGS II Pro床暖房は、ボイラーのそばのシャントバルブから認識出来ます。

対流式暖房には別の暖房システムがあり、床暖房とは別の暖房システムがあります。

対流式暖房：

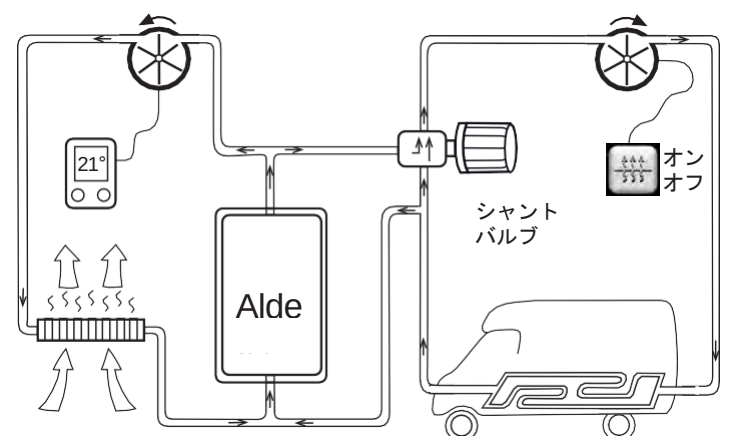
キャンピングカーの温度は、暖房システムのコントロールパネルによって監視されます。必要に応じて、対流式暖房の温度は上昇または下降します。

AGS II Pro床暖房：

暖房システムのコントロールパネル(循環ポンプアイコン)から床暖房を開始します。シャントバルブは床の温度を均一に保ちます。

コントロールパネルで、希望の室内温度を設定出来ます。

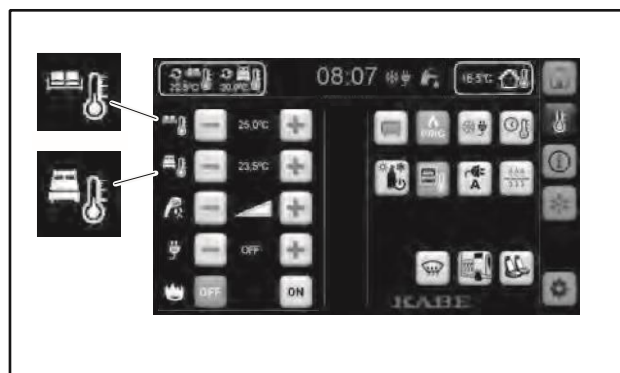
キャンピングカーの床が心地よく暖かくなるように、床暖房のシャントバルブを調整します。



対流式暖房は空気を加熱し、空気は壁に沿って上昇します。

ゾーンヒート

特定のモデルにはゾーンヒーティングがあります。
(KABE imperial)
ゾーン加熱では、ゾーン1と2の温度を個別に設定が出来ます。
ゾーン1はキャンピングカーの前部(ラウンジエリア)
ゾーン2はキャンピングカーの後方(ベッドエリア)
コントロールパネルで、希望の温度を設定します。
トイレとシャワースペースは、共通のリターンループによって暖められます。したがって、ここの温度は他のキャンピングカーよりも少し高いです。



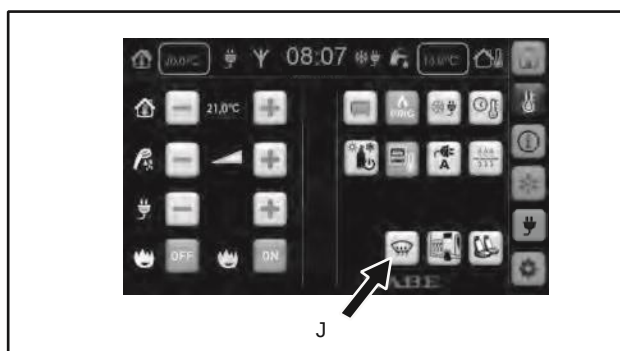
ゾーンヒーティング: ラウンジエリアとベッドエリアの異なる温度

フロントガラス暖房

旅行中、すべてのモデルにフロントガラス暖房が付いています。

大型フロントガラス(完全に統合されたモーターホーム)を備えたモデルは、リビングエリアの暖房システムを介してフロントガラスを加熱します。別のファンは、フロントガラス(J)による空気の流れを増やすことが出来ます。

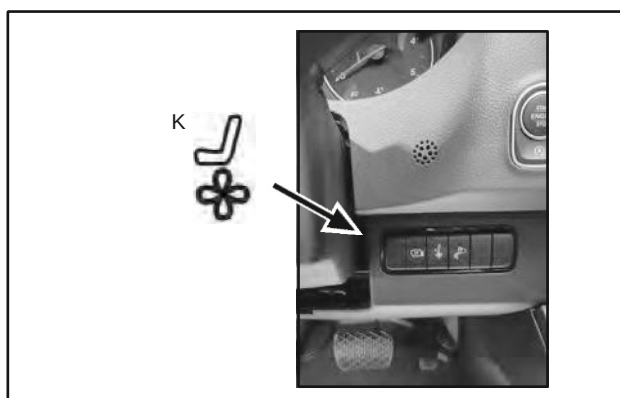
旅行中は、ダッシュボードのスイッチ(K)でファンを始動する事が出来ます。



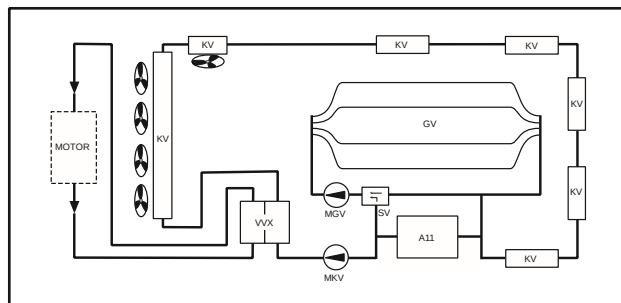
J

KABE Van

車両の暖房システムには、フロントガラスを結露させないようにするための標準機能があります。詳細については、車両のユーザーマニュアルを参照して下さい。



K



ウィンターコネクション

冬の接続では、ボイラーは230V電源がキャンピングカーに接続されています。
セクション3「使用」を参照して下さい。

換気

固定換気

キャンピングカーの換気は、RV車の換気の安全要件に関する規格EN721を満たしています。換気は、キャンピングカーが意図されている人数と用途についてテストされています。

したがって、固定換気を変更してはなりません。

キャンピングカー内の空気は、次の方法で外部に換気されます。

- ・ 屋根に固定換気装置(電気ファン)
- ・ 換気屋根ハッチ
- ・ キッチン換気

キャンピングカーの固定換気が妨げられていないことを確認して下さい。冬には、屋根のハッチと換気装置を雪から遠ざける必要があります。

特に悪天候では、湿気がルーフハッチの固定換気を損なう可能性があります。キャンピングカーの家具を保護します。

備考！

吹雪やその他の特に悪天候では、キャンピングカーの固定換気を通する湿気や雪から家具を保護する必要があります。

ルーフハッチ

ルーフハッチとルーフライトは、旅行中は閉じてボルトで固定する必要があります。遮光カーテンと網戸は、振動や換気の増加によって損傷する可能性があるため、旅行中は完全に持ち上げる必要があります。

キッチン換気

各トラベルマスターには、天井に取り付けられたモーターファンがあります。スイッチは食器棚の下ファンパネルにあります。キッチン照明のスイッチもここにあります。

ファンフィルター

このフィルターは調理用煙の脂肪を吸収し、時々洗浄する必要があります。明らかに、頻度は調理される食品とファンの使用頻度によって異なります。ファンによって生成される吸引力が低下するまで待ちます。

合成洗浄剤したお湯で洗浄して下さい。

ファンインペラ

ファンインペラとモーターは、天井への接続を外すことによってクリーニングのためにアクセス出来ます。

結露

結露は、暖かい空気が冷たい表面(たとえば、窓の内側や二重窓の内側の表面)に当たると自然に発生します。

結露の形成は、例えばいくつかの要因の影響を受けます。

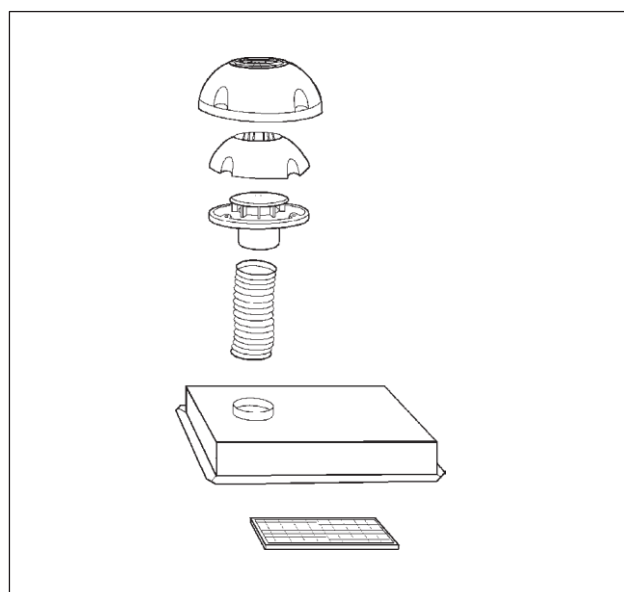
- ・ モーターホームの内側と窓の外側の温度差
- ・ 天気 空気の湿度や霧が高いということは、キャンピングカー内の空気により多くの水分が含まれていることを意味します。
- ・ キャンピングカーの人数(またはペット)の数
- ・ キャンピングカーでの活動(料理など)
- ・

天候や活動が結露が多いようなものである場合：

- ・ キャンピングカーを換気して、内部の空気を出来るだけ放出して下さい。
- ・ 効率的に換気するには、ルーフハッチを開きます。
- ・ キャンピングカーの固定換気が妨げられていないことを確認してください(たとえば、換気ルートを妨げるクッションや荷物で妨げていないか確認)
- ・ キャンピングカーの温度を上げます。
- ・ キャンピングカー内の温度を上げると、換気内の空気の流れが増加します。さらに、グレージングの内側が暖まり、結露がさらに対抗します。

冷たい表面に結露が形成されたら拭き取る必要があります。

キャンピングカーの窓はアクリルプラスチックで出来ます。水蒸気はアクリルプラスチックを通してゆっくりと移動し結露する可能性があります。これは自然であり結露はしばらくすると消えます。



キッチンファン

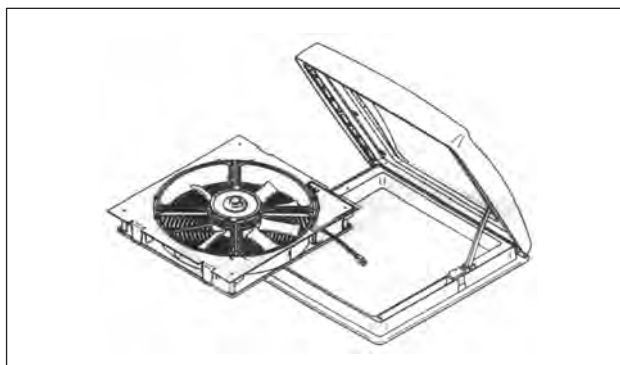
エアベント

AirVentはキャンピングカーの換気を増やします。目的は、暑い夏の日にキャンピングカーを冷やすことが出来ます。

エアベントは以下で構成されています。

- ・天井ハッチに取り付けられたファン
- ・温度が設定値を下回ったときにサーモスタットがファンへの電力を遮断します。

したがって、ファンがオンの場合、ファンは温度変化に応じて開始/停止します。



オンの位置では、サーモスタットが作動中です。サーモスタットは5～30℃の範囲で調整出来ます。

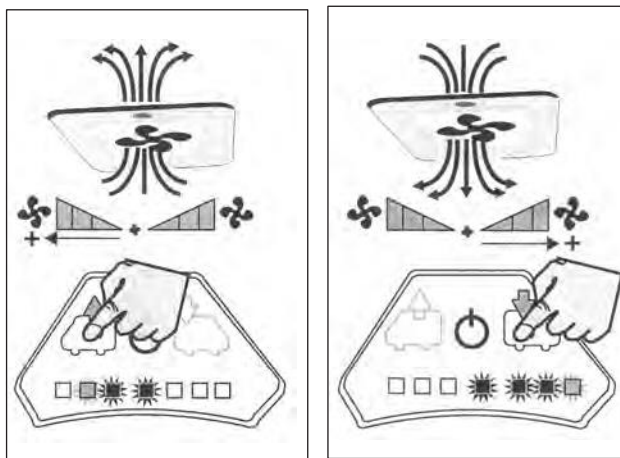
ファンの電源が入っていて、正しく設定されていることを確認します。

ファンは手動でも使用が可能です。連続運転の場合は、サーモスタットをオフの位置に設定します。これにより、温度検出機能が切断されます。



ファンは、各「方向」でいくつかの速度で設定が出来ます。

AirVentは、ドアや窓を閉めて、キャラバン/キャンピングカーの下の日よけからの冷たい空気が床の標準的な換気口から吸い込まれるようにするときに最も効果的です。



ルーフエアコン

特定のキャンピングカーには工場で取り付けられたルーフエアコンがあります(他のキャンピングカーには工場で取り付けられたオプションがあります)。

使用とメンテナンスについては、メーカーの指示を参照してください。

工場で取り付けられたルーフエアコンは、キャンピングカーのコントロールパネルから制御できます。これは、キャンピングカーの電気システムがルーフエアコンと通信することを意味します。

ルーフエアコンが完全にオフになっている(電源が入っていない)場合、通信は出来ません。ここでのキャンピングカーの電気システムは、コントロールパネルに障害メッセージを表示します。

コントロールパネルでこのエラーメッセージを回避するには、ルーフエアコンをスタンバイモードのままにします。

清水/排水システム

清水システム

清水タンクはソファ下にあります。清水タンクは凍結の恐れがない場所に設置となります。

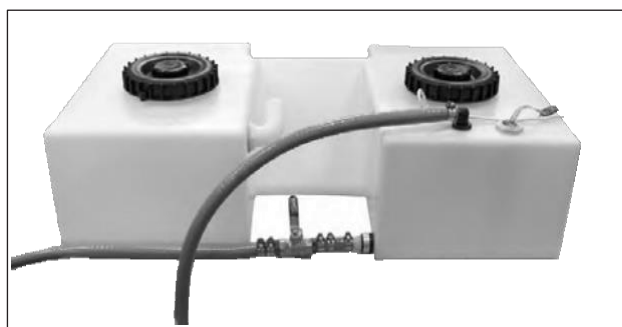
清水タンクの水位は、キャンピングカーのコントロールパネルで読み取りが出来ます。

給水は、外部からアクセスできるフィラーパイプを介して行われます。フィラーパイプのキャップはロック可能です。

備考！

新鮮な水は腐りやすいことを忘れないで下さい！

清水タンク内の水が常に新鮮であることを確認して下さい。



清水タンク



給水口

清水タンクから、水はキッチン、洗面器、シャワー、トイレ、ボイラーのタンクにポンプで送られます。水システムのホースは「食品品質」です。

水ポンプは清水タンクにあります。水道の蛇口には、蛇口がオンになったときに水ポンプを始動するスイッチがあります。



水ポンプ

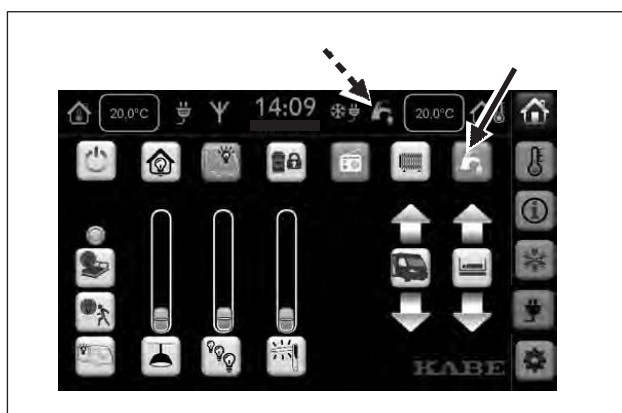
水ポンプが始動出来るように、水ポンプはキャンピングカーのコントロールパネルでオン/オフになります。

水ポンプは、走行中およびキャンピングカーを放置しているときはオフにする必要があります。

キャンピングカーの温水は、ボイラーのタンクで加熱された温水です。したがって、温水と冷水は同じポンプで汲み上げられます。

水を加熱するには、ボイラーがオンになっている必要があります。ボイラーも説明書も参照して下さい。

特に長期間使用しなかった後は、使用する前に必ずボイラーのタンク内の水を流して下さい。連続して使用する場合は、ボイラーのタンク内の水を月に1回程度排水する必要があります。これは、ヒーターのエアクションを更新するためです。

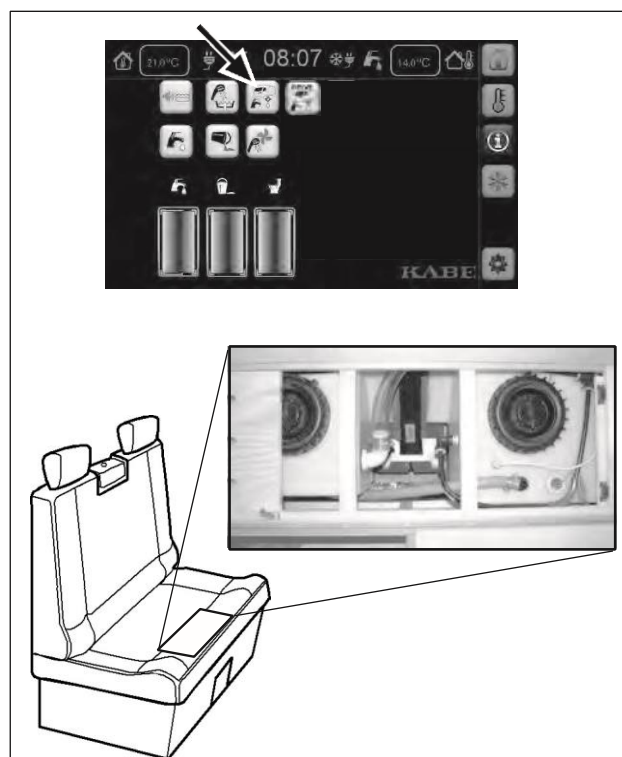


このアイコンは、水ポンプが作動していることを示しています

コントロールパネルのアイコンを押して、清水タンクを排水します。電子制御バルブが出口を開きます。キャンピングカーの下に水が流れ出します。
コントロールパネルのアイコンをもう一度押してバルブを閉じます。

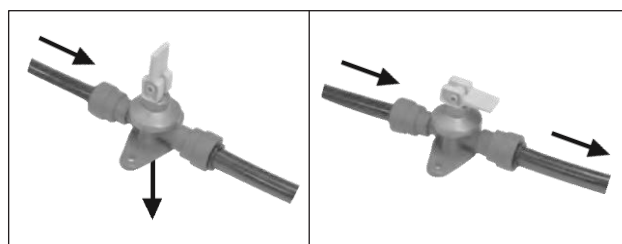
システムから水がなくなるようにするには、キャンピングカーの水道の蛇口が開いている必要があります。これにより、水(温水と低温の両方)が排出されるときに、空気を給水管に吸い込むことが出来ます。。

清水タンクは時々掃除する必要があります。タンクの内部を掃除するには、タンクの上部にある2つのキャップを緩めます。洗浄液できれいにし、洗浄剤で洗って下さい。タンクに水を補充する前に、それを洗い流し、給水管を洗い流して下さい。



清水タンクを排水します。

ボイラーのタンクは、ボイラーの隣にある別の排水バルブを介して排水されます。キャンピングカーの下に水が流れ出します。ボイラーの説明も参照して下さい。



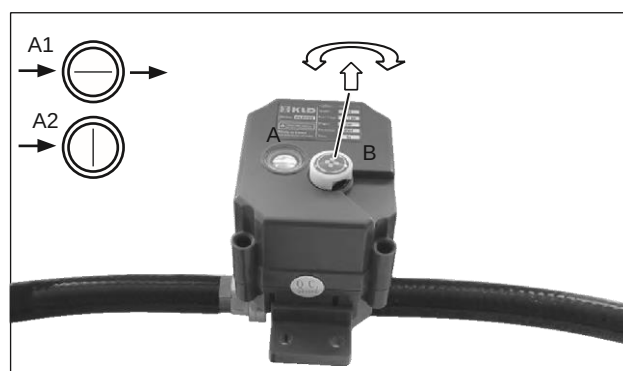
ボイラーのタンクの排水バルブオープンポジションとクローズポジション

写真は電子制御バルブです。

表示ウィンドウ(A)の線はバルブの状態を示しています。

A1 バルブが開いています。(ラインはホースと同じ方向に走っています)。

A2 バルブが閉じています。



電動ドレンバルブ

バルブは、ノブ(B)を使用して手動で操作が出来ます。ノブを引き上げ、目的のステータスが表示されるまで数回、回します。

手動操作後、ノブを押し戻します。

清水タンク容量:

Royal:	20/90 L
Crown:	20/150 L
Imperial:	20/150 L
Van:	20/83 L

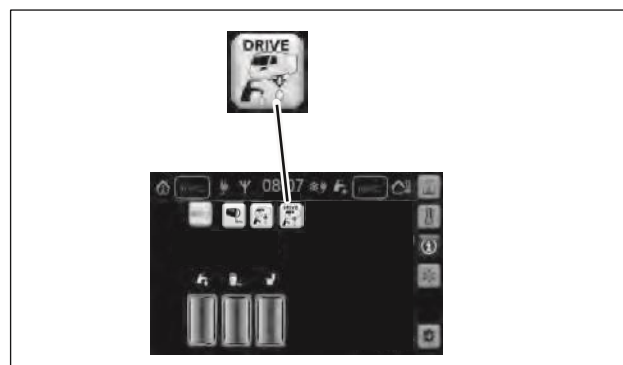
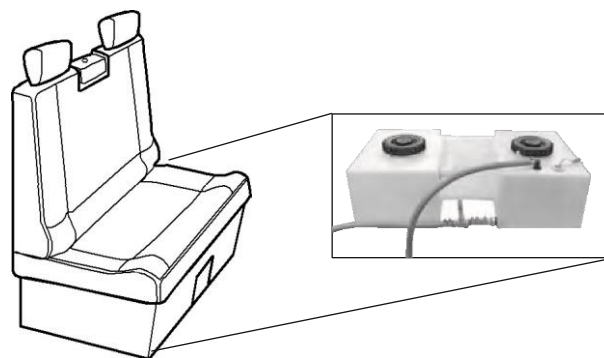
旅行の前に、「ドライブモード」を選択が出来ます。これにより、水の量は約20リットルに減少します。これらの20リットルはキャンピングカーの重量に含まれています。

水タンクが20リットルを超える場合、余分な水は負荷として計算されます。

コントロールパネルのアイコンを押して、ドライブモードを選択します。その後、キャンピングカーの下に水が流れ込み、タンクに約20リットルが残ります。

キャンピングカーのエンジンが始動すると、電動システムがタンク内の水量を測定します。タンクに20リットル以上ある場合は、可聴信号が発せられます。

コントロールパネルに「情報」メニューが表示されます。



コントロールパネルでドライブモードを選択します。キャンピングカーの下には、約20リットルが残るまで水が流れ出します。

備考！

余分な水量はキャンピングカーの負荷の一部です。キャンピングカーの総許容重量を超えないように注意して下さい。

キャンピングカーが傾いている場合、タンク内の水量の測定が影響を受ける可能性があります。

凍結の危険がある場合、水システムはマニュアルの指示に従って排水して下さい。

清水タンクを掃除するときは、オーバーフローホースも洗い流す必要があります。

浄水器

工場で取り付けられたオプションとして、特定のキャンピングカーにはAldeAquaClear浄水器があります。

これにより、清水タンクからの水が消毒およびろ過されます。

浄水器には2つの部分があります。

- ・紫外線にさらして水を消毒するUVユニット(A)
(アルデアクアクリアUV-C、3030031)
- ・水が通過するカーボンフィルター(B)
(アルデオーターカーボンフィルター、3030032)

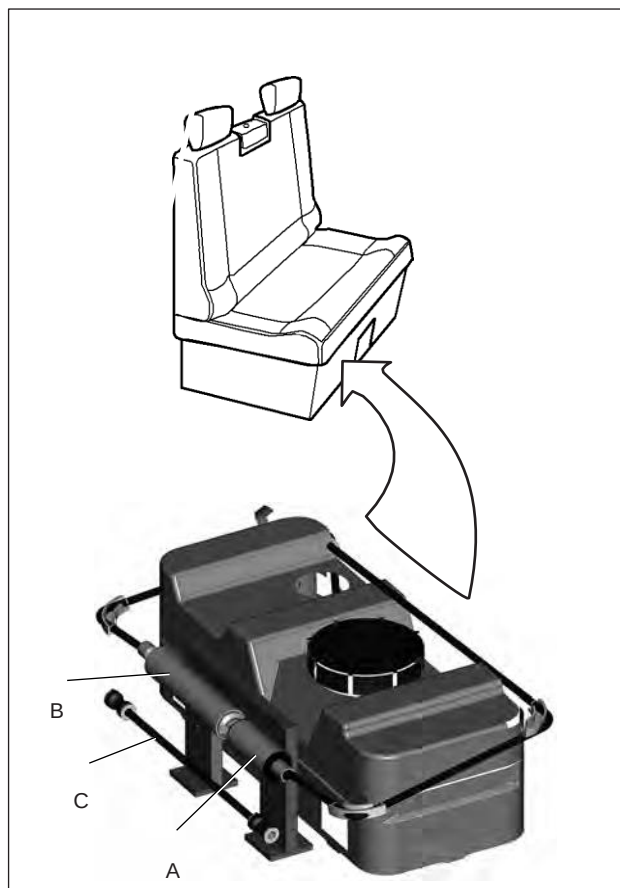
カーボンフィルターは年に一度交換する必要があります。

UVユニット(A)は300時間作動した後(つまり、紫外線が点灯した後)に交換する必要があります。

作動時間は電子機器によって記録されます。残り

作動時間はコントロールパネルに表示されます。

作業時間が残っていない場合は、コントロール・パネルにメッセージが表示されます。新しいUVユニットを取り付けてから、[リセット]を押します。コントロールパネルには、300時間の残りのアクティブ時間が表示されます。



浄水器は清水タンクに取り付けられています

気温が摂氏0度を下回るリスクがある場合は、浄水器全体を取り外して、凍らない場所に保管する必要があります。浄水器を取り外したら、キャンピングカーに付属の対応する接続ホース(C)と交換する必要があります。

浄水器のユニットを取り付け直すときは、正しい順序で設置することが不可欠です。水は最初にUVユニット(A)を通過し、次にカーボンフィルター(B)を通過します。

また、水流の方向で上向きに傾斜したユニットを取り付けることも重要です。これにより、水システム内の空気がユニットを通過出来るようになります。

備考！

凍結すると浄水器が破壊される可能性があります。キャンピングカーが加熱されておらず、気温が摂氏0度を下回るリスクがある場合は、清水システムを排水して下さい。

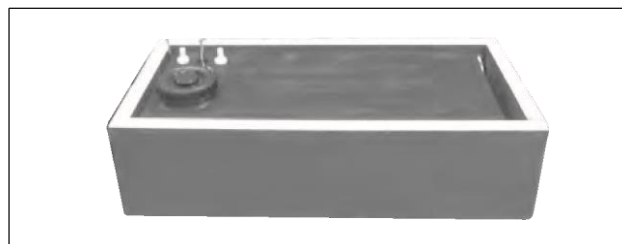
浄水器のユニットを取り外し、凍結しない場所に保管する必要があります。

使用とメンテナンスの詳細については、製造元のユーザーマニュアルも参照して下さい。

排水システム

排水タンクは、台所の流し台、洗面台、シャワーからの排水です。

排水タンクはプラスチック製で、保護用の断熱ボックスに取り付けられています。キャンピングカーの暖房が作動しているとき、排水タンクは凍結することはありません。灰色の排水タンクは、キャンピングカーの後ろに向かってリビングエリアの床にあります。



排水タンクの水



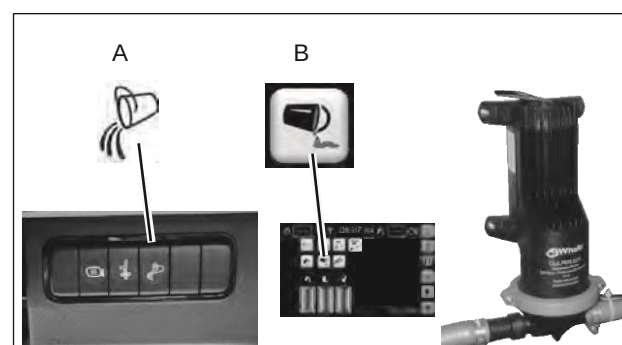
灰色の排水タンクは、キャンピングカーのリアアクスルの近くに取り付けられています

排水ポンプで汲み上げて排水タンクを排水します。このポンプの位置は、キャンピングカーのモデルによって異なります。

スイッチ(A)を介して排水ポンプを始動して、排水タンクを排水します。ドレンポンプは、コントロールパネルの情報メニュー(B)から起動することも出来ます。

ドレンポンプは、車両のエンジンが停止している場合にのみ使用が出来ます。

排水タンクの排水を承認された施設またはご自宅のトイレで処理して下さい。



排水タンクの排水ポンプとそのスイッチ

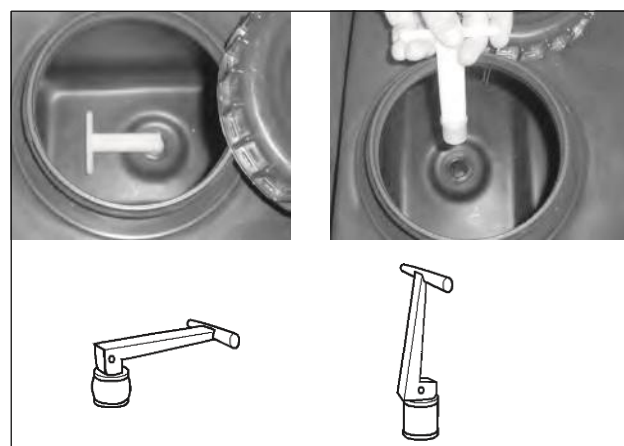
説明

臭いを避けるために、排水タンクは月に一度掃除する必要があります。臭いは、寒い季節よりも暑い時期の方が起こりやすいです。

タンクの底に溜まったスラッジや沈殿物を洗い流して、排水タンクを清掃します。

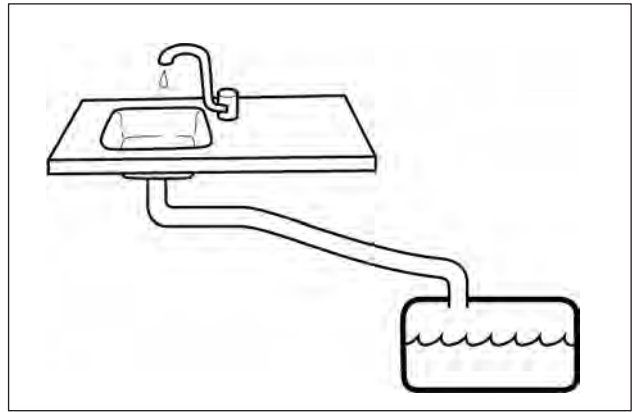
排水タンクのベースプラグはゴム製で、ハンドルを下に振ると膨張します。ハンドルを上げてまっすぐ引き上げて、ベースプラグを取り外します。

排水と清掃の手順は、「使用」セクションに記載されています。



排水タンクのベースプラグ

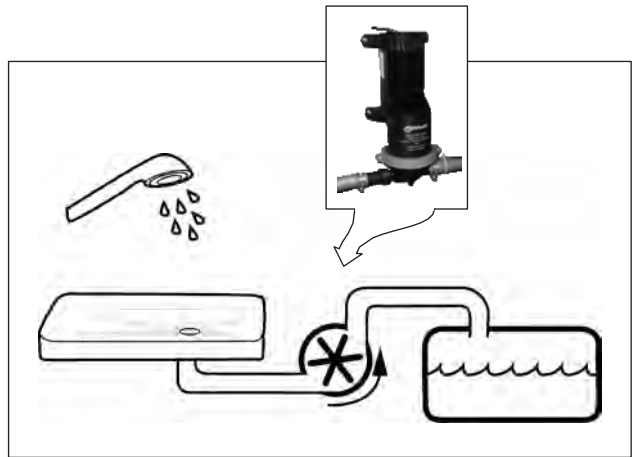
重力の影響下で、キッチンと洗面所の洗面器からの雑排水が排水タンクに流れ込みます。



キッチンと洗面所の洗面器からの排水タンク

特定のモデルでは、別のポンプがシャワーフロアから排水タンクに雑排水を送り込みます。シャワーが使用されているときにポンプが作動します。シャワーをオフにするとポンプもオフになりますが、すべての水が汲み出されるようにポンプ作動はしばらく動きます。

シャワーフロアの出口は、シャワーのポンプで完全に排水することは出来ません。少量の水が排水口に残っています。凍結の危険がある場合は、シャワーの排水口に不凍剤を注いで保護する必要があります。



シャワーの排水タンク

備考！

アルコールはシャワーの床を損傷します。

アルコール含有不凍液はすぐに排水口を清水で洗い流す必要があります。



シャワーの排水ポンプはキャンピングカーのコントロールパネルのボタンから手動で操作が出来ます。

凍結のリスク

凍結による損傷を避けるために、キャンピングカーを氷点下の温度で暖房を使用しないまま放置する場合は、清水/排水システムを完全に排水する必要があります。

次のコンポーネントが排出されていることを確認します:

- 清水タンク
- 水ポンプ
- ボイラー
- 混合栓タップ
- 排水タンク,
- シャワーホース(該当する場合は、ラゲッジ内のシャワー)
- 外部シャワー
- 水洗トイレ

大事！

保証内容は、凍結のために破損した水システムコンポーネントには適用されません。

すべての水道の蛇口と排水コックを開いたままにします。冷水と温水の両方が換気されるように、水道の蛇口はぬるま湯の位置にある必要があります。

トイレ

KABEトラベルマスターのモデルが異なれば、トイレも異なります。
シンデレラモーションガス焼却トイレ(特定のモデルのみまたは工場で取り付けられたオプション)
セッTFォードC263カセットトイレ

シンデレラモーション焼却トイレ

このトイレは、し尿とトイレ専用紙で構成されています。

トイレ専用の紙袋を使用してください。毎回、新しい紙袋をセットして下さい。

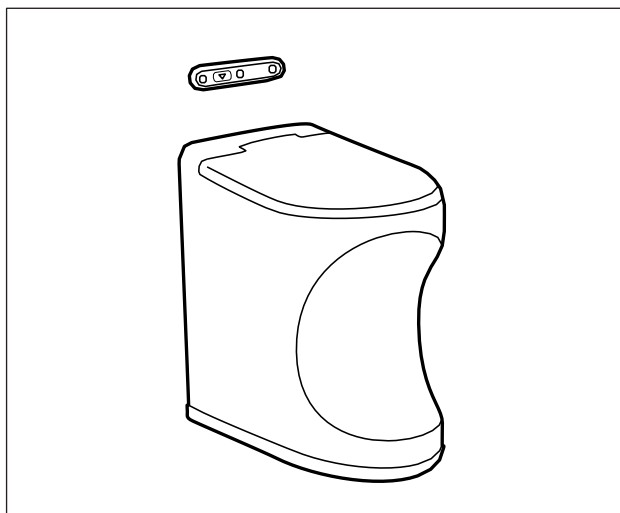
トイレを離れる時はスタートボタンを押して「フラッシュ」します。

焼却を開始する前に、紙袋は灰のボウルに落ちなければなりません。バッグが軽いと、正しく落下しないリスクがあります。必要に応じて、少量の水を注ぐことでバッグの重量を増やすことができます。

廃棄物の定期的な燃焼のために、焼却トイレはガスポンベを使用します。ガスポンベが利用可能出来るように、トイレへの供給バルブが開いていることを確認して下さい。

焼却には機能する電気も必要です。キャンピングカーの12V電源は、焼却中ずっと利用可能でなければなりません。

トイレの排泄物を焼却するには、約1～2時間かかります。焼却が機能するためには、トイレの蓋を下ろす必要があります。



警告！

このトイレは人間専用です
廃棄物とトイレットペーパー以外はリスクがありますので燃焼しないで下さい。

- ・ 緑は正常です
- ・ 黄色は焼却中です
- ・ 赤は機能障害です

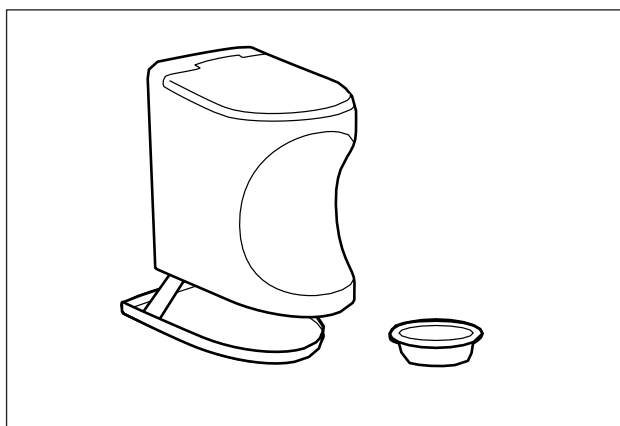
トイレの焼却機能には、完全に機能的な換気が必要です。吸気と排気の両方の換気が空いていることを確認して下さい。たとえば、雪はトイレの換気を妨げてはなりません。必要に応じて、煙突エクステンションを取り付けることができます。旅行中は煙突の延長部を配置しないで下さい。

トイレは製造元メーカーの指示に従って維持されなければなりません。

推奨される間隔:

- ・ 少なくとも週に一度は灰のボウルを空にします。
- ・ 3回に1回は灰のボウルを掃除します。
- ・ 指示に従って触媒を清掃します。

使用とメンテナンスの詳細については、製造元のユーザーマニュアルを参照して下さい。



セットフォードC263水洗カセットトイレ

使用の準備

トイレを使用する前に、タンクの底が覆われるように約2リットルの水を追加して下さい。次に汚物タンクの排水口から消臭液を追加します(便器からではありません)。

消臭液はKABEの販売代理店から購入が出来ます。

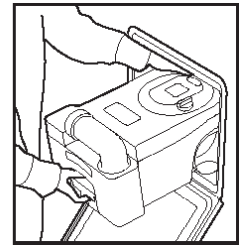
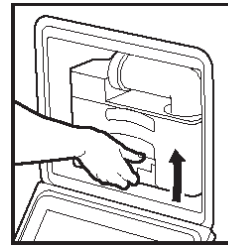
トイレのタンクがほぼいっぱいになると、水洗ボタンの横にあるレベルライトが点灯します。

レベルライトが点灯する前にタンクを空にして下さい。

トイレを使う

トイレを使用する場合:

1. トイレのスツールを希望の位置に回します。
2. トイレのバルブブレードを開くレバーを引きます。
3. 使用後は、水洗ボタンを押してトイレをきれいに洗い流して下さい。キャンピングカーのコントロールパネルの「水ポンプ」スイッチが「オン」の位置にある場合、清水タンクから水が汲み上げられます。
4. トイレのバルブブレードを閉じます。

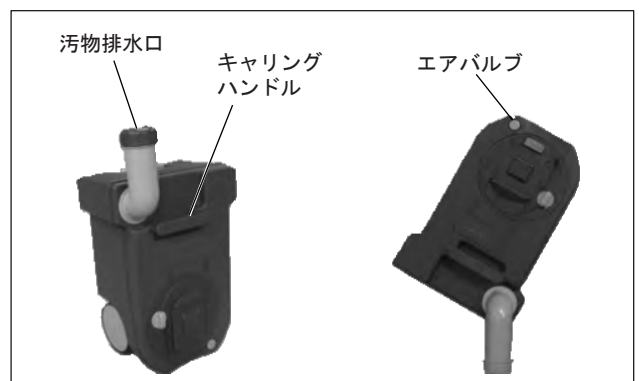
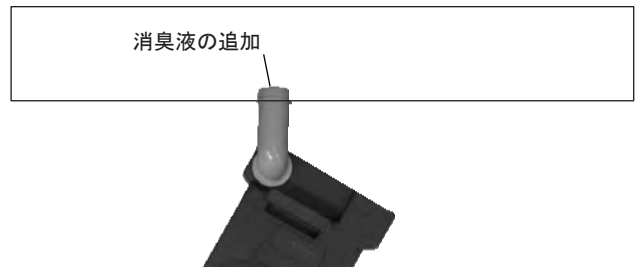


汚物タンクを空にする

トイレを空にするとき:

1. トイレのバルブブレードを閉じます。
2. 右の写真のように廃液タンクを引き出します。
3. 廃棄物タンクのハンドルを持って運びます。タンクの運搬中に上を向くように汚物排水口を回します(写真を参照)。

廃棄物タンクを標準のトイレまたはその他の承認された施設で処理して下さい。エアバルブを押します(写真を参照)。汚物排水口が下を向く前にエアバルブを押さないで下さい。



大事!

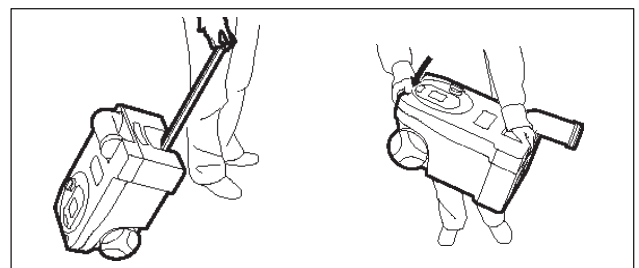
汚物排水口が下を向く前にエアバルブを押さないで下さい。

清掃

適切な作業順序を維持するには、トイレと汚物タンクを掃除することが重要です。

推奨される洗浄剤のみを使用して下さい。家庭用品は避けて下さい。これらには、トイレのシールやその他のコンポーネントを損傷する可能性のある溶剤が含まれている場合があります。

クリーニングとメンテナンスについては、製造元の使用とお手入れの手順も参照して下さい。



電気系統

KABE トラベルマスターの電気システムは、3つの別々のシステムで構成されています。

- ・ 230 V AC電気システム
- ・ ボイラーの温水ヒーター、冷蔵庫、バッテリー充電器
- ・ リビングエリアの12Vシステム 照明、ウォーターポンプ、冷蔵庫など、リビングエリアのほとんどの電気機能
- ・ 車両の12Vシステム ランニングライト、スターターモーター、および車両と旅行に関連するその他の電气的機能に使用されます。

車両のユーザーマニュアルを参照して下さい。

230V AC電気システム

230V AC電気システムは、ボイラーの温水ヒーター、循環ポンプ、冷蔵庫、バッテリー充電器に使用されます。

最大許容電力負荷は 3,600 W(16 A)です。

230V ACシステムは、アースされた電源ケーブルをキャンピングカーの外部AC入力に接続することによって通電されます。電源ケーブルは、屋外での使用と3,600 W(16A)の電力負荷に対して承認されている必要があります。(ケーブル断面積:2.5mm²以上)

電源ケーブルをアースソケットに接続します。

KABEは推奨電源ケーブルをお勧めします。



230V AC 接続



警告！

怪我の危険があります。屋外での使用が承認されている電源ケーブルを使用して下さい。ケーブルは、損傷のリスクから離して設置して下さい。損傷したケーブルは交換する必要があります。

10A	10m	20m	30m	40m	50m
1,5 mm ²	2,2V	4,4V	6,6V	8,8V	11V
2,5 mm ²	1,4V	2,7V	2,8V	5,4V	7V

ケーブルの電圧降下、10 A 負荷

電圧降下があると、キャンピングカーの電気機器が十分に機能しない場合があります。

電源ケーブルが長いほど、電圧降下が大きくなります。ケーブルの長さが異なる場合の電圧降下については、表を参照して下さい。

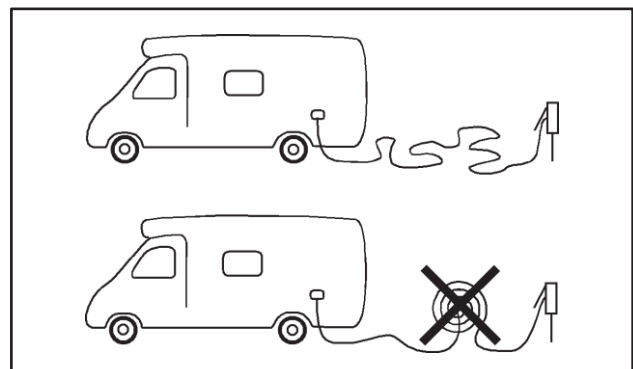
キャンプ場では、入力電圧が電圧を180～190Vまで下げる降下の影響を受ける可能性があります(特に負荷が高いと冬季時期)。

15A	10m	20m	30m	40m	50m
1,5 mm ²	3,3V	6,6V	9,9V	13,2V	16,5V
2,5 mm ²	2V	4V	6V	8V	10V

ケーブルの電圧降下、15 A 負荷

電源ケーブルをリールに入れたままにしている場合は、接続する前に完全に巻き戻す必要があります。ケーブルリール上のケーブルは、電気コイルとして機能します。これにより、リールの加熱と電力損失(電圧降下)が発生します。消費電力が高いと、ケーブルは非常に熱くなります。

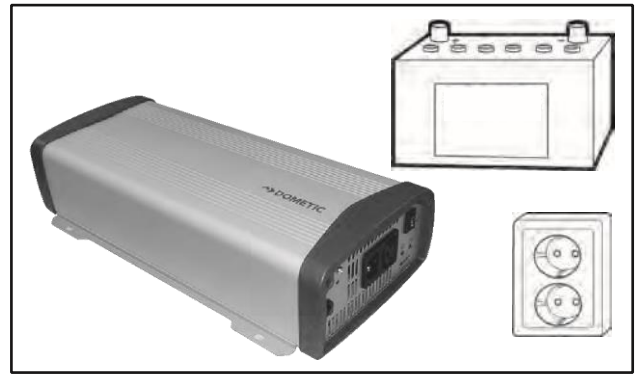
ケーブルが損傷にさらされていないこと、およびプラグがしっかりと接続されていることを確認することにも注意して下さい。



コイル状のケーブルは完全に巻き戻す必要があります

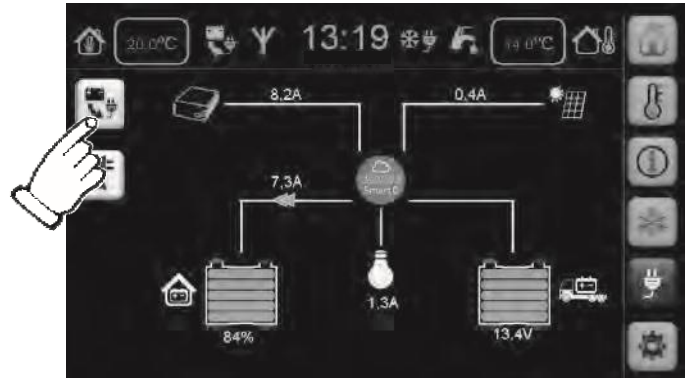
230Vインバーター

一部のモデルにはインバーターがあります(他のモデルには工場で取り付けられたオプション)。インバーターは、サブバッテリーの12Vを230Vの交流に変換します。したがって、キャンピングカーが主電源に接続されていない場合でも、キャンピングカーの電源コンセントから230Vを利用が出来ます。インバーターは、リビングエリアのサブバッテリーから電力を供給されます。インバーターから230Vを使用すると、バッテリーに負荷がかかります。サブバッテリーはインバーターから230Vを使用すると、充電量は急速に低下します。キャンピングカーが外部AC入力接続されている場合、インバーターは利用しないで外部AC230Vを使用します。キャンピングカーのすべての電源コンセントが外部AC230Vから電力が供給されます。



インバーター

インバーターは、キャンピングカーのコントロールパネルから始動および停止されます。サブバッテリーの充電を節約するために、使用していないときはインバーターの電源を切ってください(230Vが使用されていない場合)



コントロールパネルからのインバーターの起動と停止。

インバーターの最大出力は1,800Wです。電力使用量が多いほどバッテリー充電が速くなります。

バッテリーの充電量が少なくなりすぎると、インバーターは自動的にオフになります。その後、バッテリーを充電する必要があります。

インバーターが熱くなりすぎると、自動的にオフになります。

インバーターの換気が妨げられていないことを確認して下さい。

インバーターに大きすぎる負荷がかかると、インバーターの回路ブレーカーが落ちます。キャンピングカーが外部AC230Vに接続されている場合でも、電源コンセントは停止します。インバーターのブレーカーボタンを押してブレーカーをリセットします。

一部の機器は、起動時に多くの電力を必要とすることに注意して下さい。

残留電流装置は、インバーターの230Vコンセントの隣に取り付けられています。これは、キャンピングカーが外部AC230Vに接続されたときに2つの残留電流装置を持っていることを意味します。



インバーターの隣に残留電流装置が取り付けられています

キャンピングカーの冷蔵庫とボイラーはインバーターに接続されていません。冷蔵庫とボイラーは、キャンピングカーが外部AC230Vに接続されている場合にのみ230V電源から電力を供給出来ます。

詳細については、製造元のインストラクションを参照して下さい。

主電源スイッチ、12 Vシステム

リビングエリアの12Vシステムには、キー付きの主電源スイッチがあります。

この主電源スイッチは、バッテリーからの供給を遮断します。

これにより、リビングエリアのすべての機能がオフになります。

キャンピングカーを使用しないときは、主電源スイッチをオフにしてください。これにより、バッテリーが節約され、バッテリーが消耗するリスクが軽減されます。

主電源スイッチがオンになると、電気システムは起動開始するまでに数分掛かります。リビングエリアの電気機能は、起動手順が完了するまで使用が出来ません。

キャンピングカーが230Vに接続されている場合、主電源スイッチがオフの場合でも、リビングエリアのサブバッテリーと車両のスターターバッテリーが充電されます。



エンジン始動時のアラーム

エンジンがスターテッドの場合、電気システムはアラームを鳴らします。

- ・ 230V ACが接続されて場合
- ・ アンテナは伸ばされた位置にある場合

アラームが聞こえ対応するアラームがアイコンがコントロールパネルに表示されます。

リビングエリア12Vシステムの一般的な技術的説明

リビングエリアの12Vシステムは、高度な電子システムである「Smart D」に基づいています。

コントロールパネルには、システムの現在の情報が表示されます。コントロールパネルのディスプレイはタッチセンシティブです。コントロールパネルのアイコン(ボタン)がシステムに指示が送信されます。

「Smart D」はBUSシステムです。これは、電氣的機能がシステムのソフトウェアによって制御されることを意味します。ソフトウェアの電子機器は、コントロールパネル(M)に統合されています。

システムのソフトウェアは、キャンピングカーのさまざまなポイントで多数の出力および入力と通信します。入力と出力を備えた電子ユニットは、N1～N6に設計されています。(特定のモデルではN1～N5)

電力消費者(ライト、ポンプなど)は出力に接続されています。したがって、システムは、特定の出力に接続された任意の電力消費者を起動が出来ます。(A)

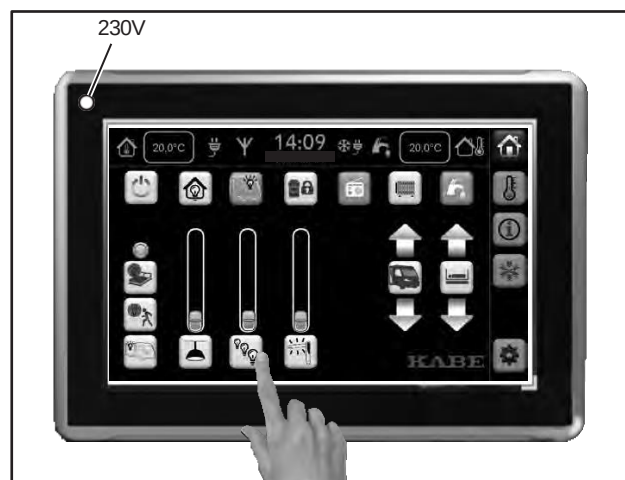
リビングエリアのほとんどのスイッチは入力に接続されています。ソフトウェアは入力を読み取り、その結果、ステータスを切り替えます。システムは、スイッチに関連付けられたアクションを実装します。(A)

例：

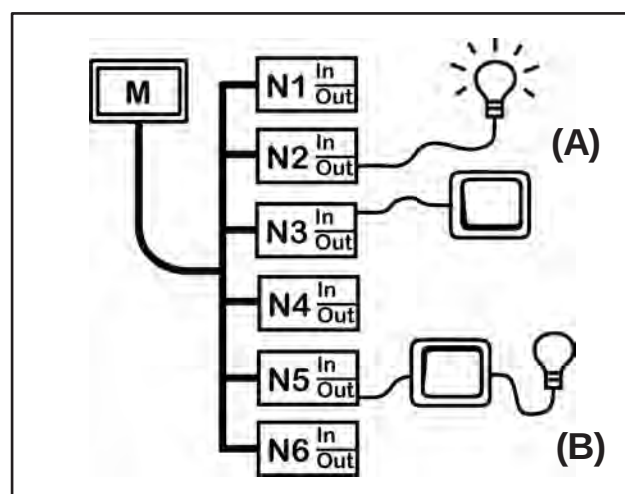
ライトをオンにします。スイッチを押します。入力から、ソフトウェアはスイッチが作動中になったことを読み取ります。ソフトウェアは、ライトに電力を送るように出力に命令します。ライトが点灯します。

キャンピングカーのいくつかのポイントには、従来から消費者に接続されたスイッチがあります。ここで、スイッチは出力と消費者の間の電源回路を製造または遮断します。(B)

- スwitchがオフの位置にあると、接続が切断されます。ソフトウェアはコンシューマーをオンに出来ません。
- スwitchをオンの位置に置くと、ソフトウェアは消費者をオンにするかオフにするかを制御が出来ます。



コントロールパネル(M)



BUSシステムには、さまざまなユニットに電気入力と出力(N1～N6)があります



BUSシステムのN1ユニットは、ドメティック Smart D 12V配電ボックスです



BUSシステムのN2～N6ユニットは次のとおりです。ドメティックSmart D I/Oカード

コントロールパネル

コントロールパネルのメニューを以下に説明します。マニュアルでは、可能なすべての機能について説明しています。キャンピングカーのコントロールパネルには、使用可能な機能のみが表示されます。

コントロールパネル照明

コントロールパネルは数秒後に消えます。すばやくタッチすると、照明が回復します。

ステータスバー

コントロールパネルの上部にあるステータスバーには、現在の表示(現在のステータス)とアラームが表示されます。

ステータスバーの情報は、どのメニューを選択しても同じ方法で表示されます。

ステータスバーには、次の情報が表示されます。

- A. キャンピングカー室内温度
- B. 外部AC230V接続アイコン
- C. テレビアンテナアップのアイコン
- D. 日時
- E. 暖房接続セットのアイコン
- F. 水ポンプのアイコン
- G. 外気温



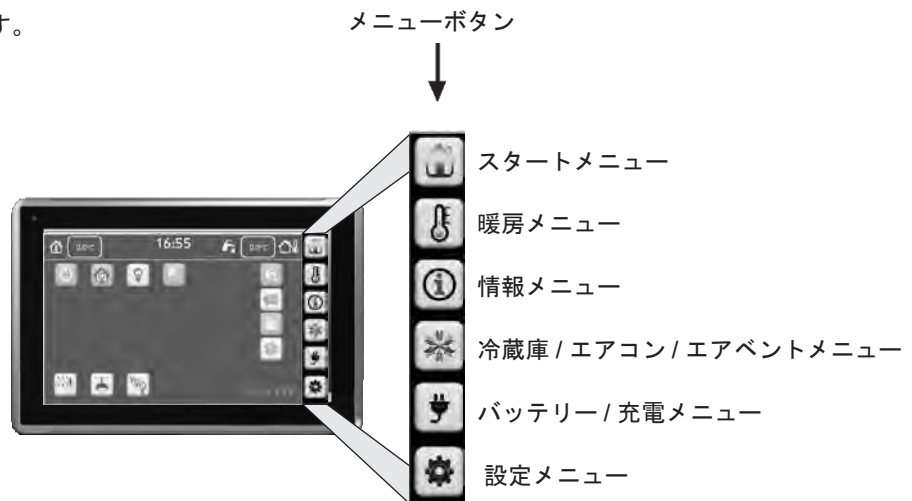
メニュー選択

メニューボタンを使用して、コントロールするメニューを選択する。

パネルが表示されます。

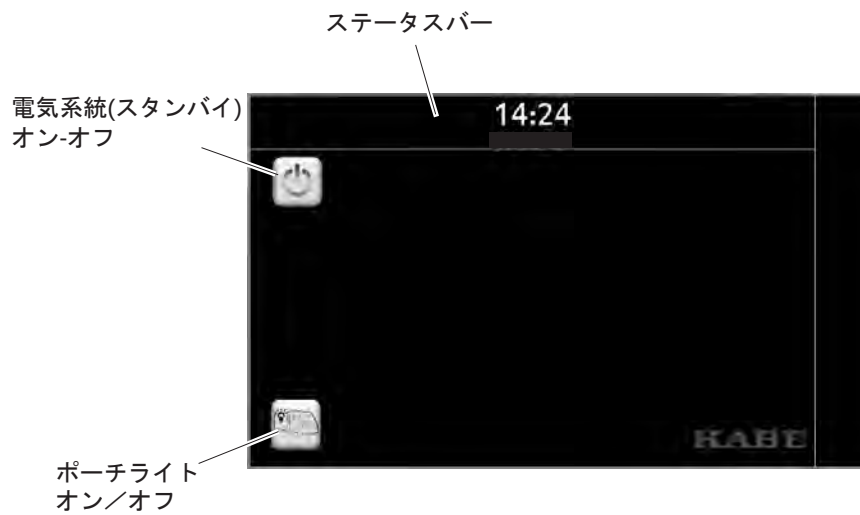
各メニューはプッシュ可能なボタンを介して利用可能な多くの機能を作ります。

各メニューについて以下に説明します。

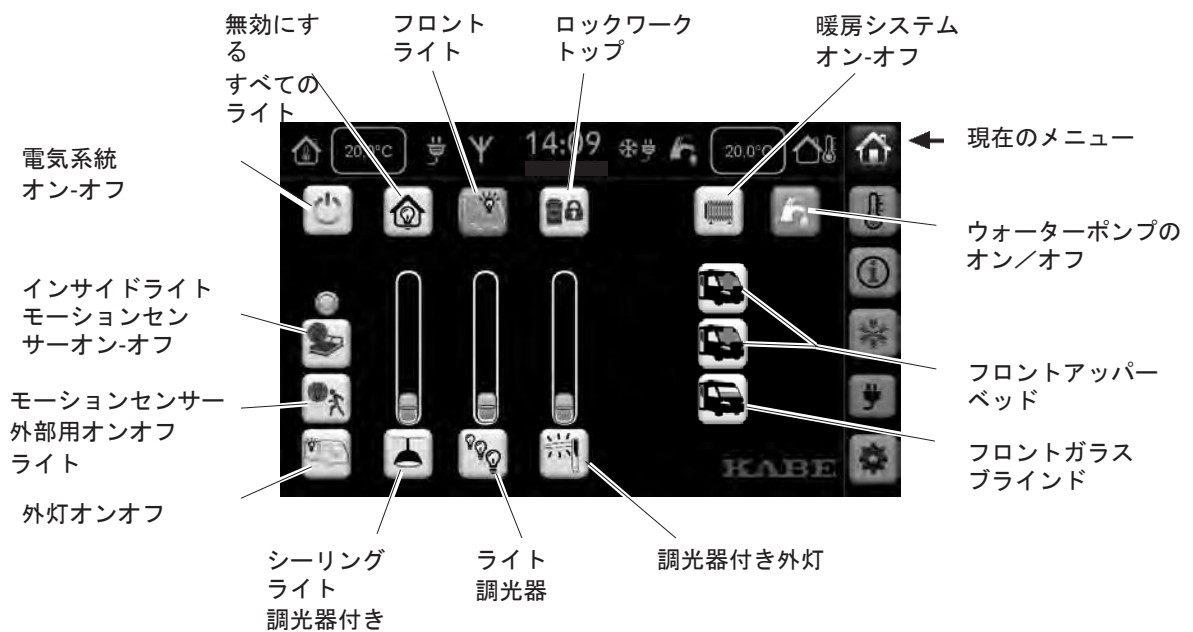


電気系統オフ(スタンバイ)

電気システムがオフの場合でも、一部の機能はコントロールパネルから利用が出来ます。

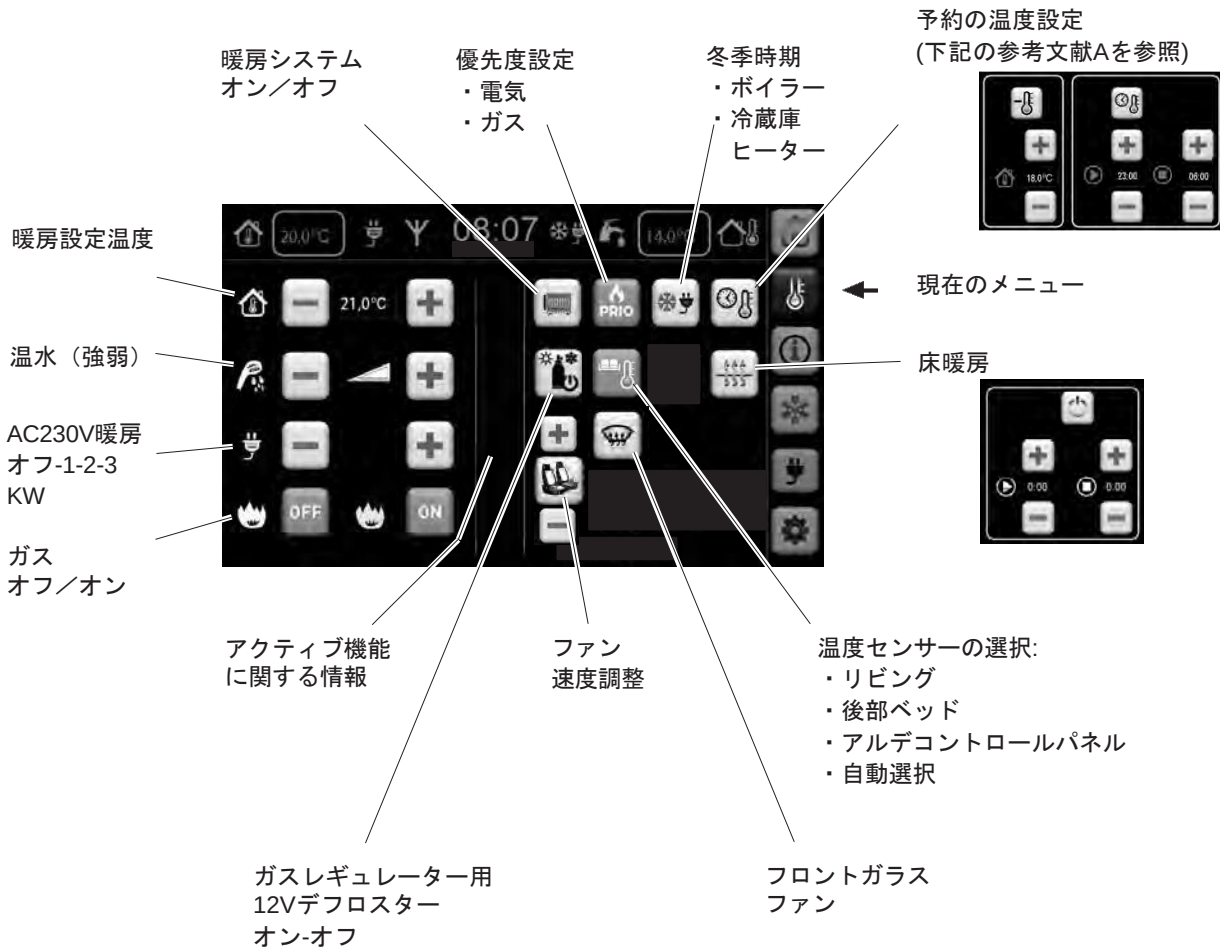


スタートメニュー



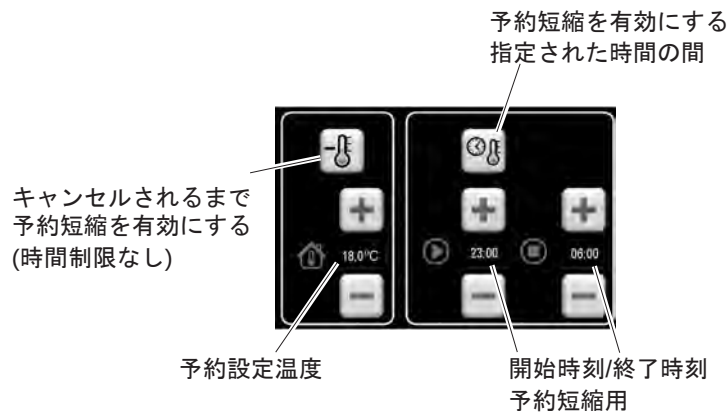
暖房メニュー

暖房のコントロールパネルはワードローブにあります。最もよく使用される機能もあります。
キャンピングカーのコントロールパネルはこのメニューで利用が出来ます。

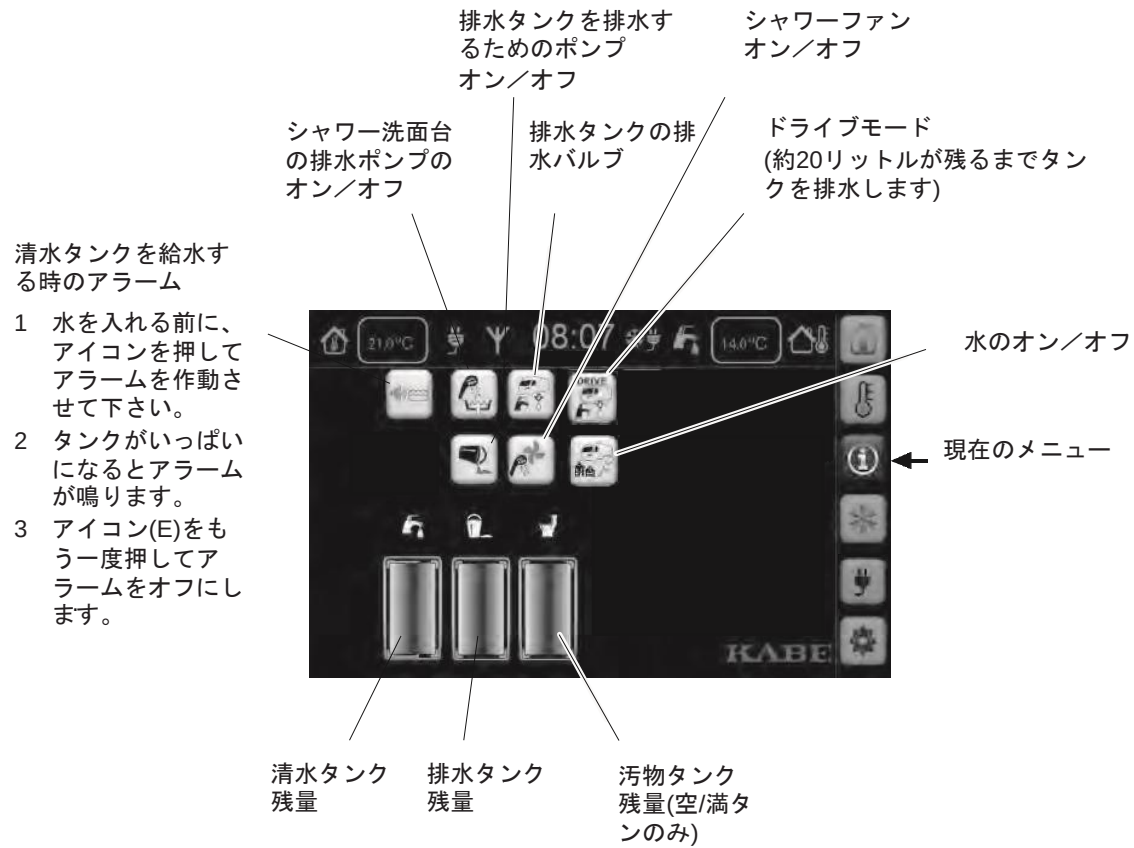


参考A:

予約の温度設定



情報メニュー

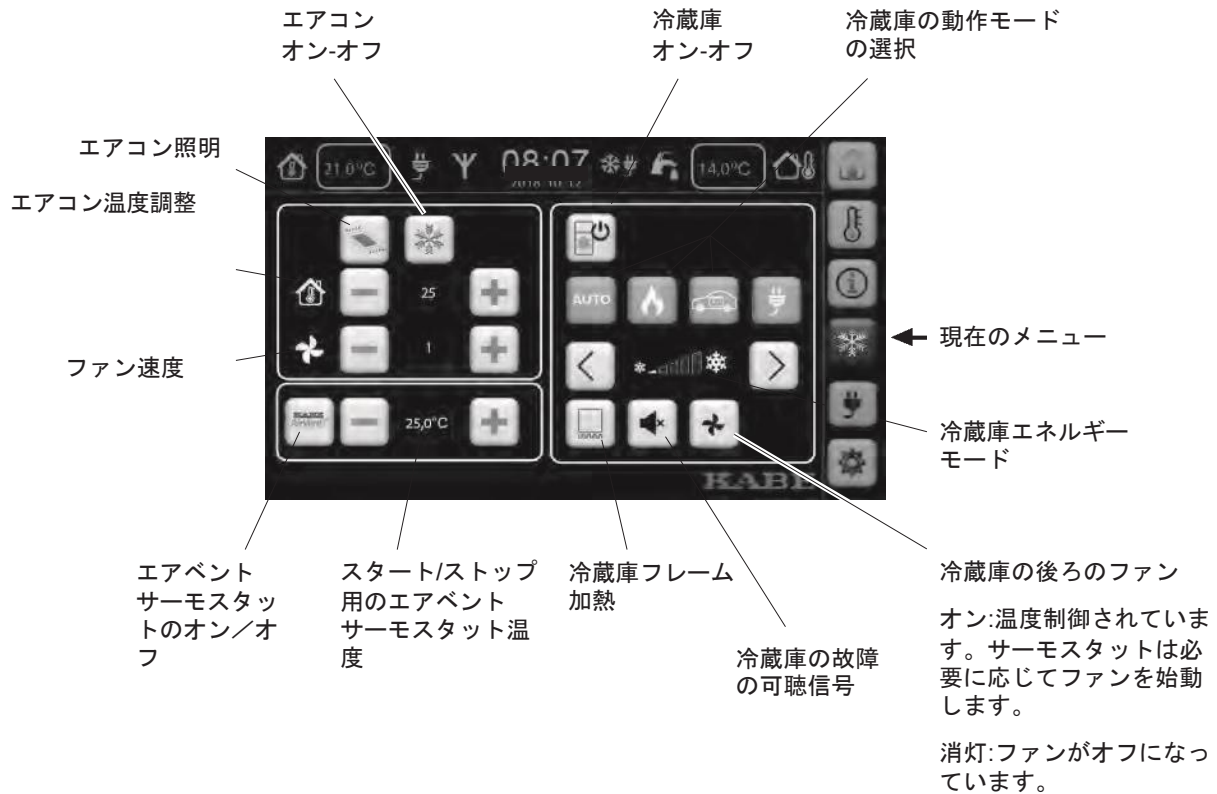


冷蔵庫 / エアコン / エアイベントメニュー

冷蔵庫の機能はコントロールパネルから調整が出来ます。製造元のユーザーマニュアルも参照して下さい。

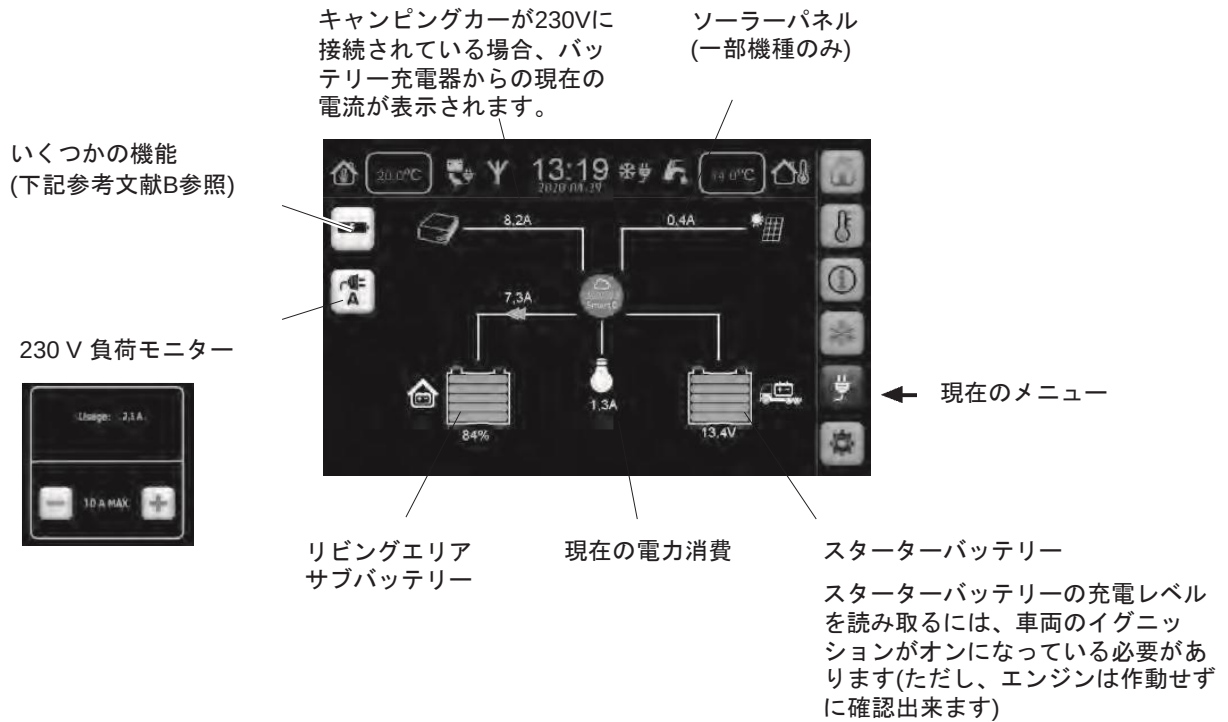
ルーフエアコンメニューは、工場でルーフエアコンが取り付けられているキャンピングカーでのみ利用が出来ます。

AirVentメニューはサーモスタット用です。AirVentファンは、ルーフハッチの横にあるファンのパネルを介して始動および調整されます。



バッテリーとバッテリー充電メニュー

このメニューには、バッテリーの充電レベルが表示されます。
電気システムの電力消費者は、メニューのライトで示されています。
特定のモデルには、電気システムのさまざまな部品の電流を測定するセンサーがあります。消費電流と充電量はメニューに表示されます。
工場で取り付けられたソーラーパネルを備えたキャンピングカーは、ソーラーパネルからの現在の電流を示しています。



参考B:

ボタンの機能は、モーターホームが外部AC230Vに接続されているかどうかの影響を受けます。

インバータ、12V DC-230V AC オン/オフ



キャンピングカーが230Vに接続されていない場合にのみ表示されます。

バッテリー充電器のタイマー設定によるサイレントモード（深夜時間帯）。

230 Vが接続されている場合にのみ表示されます。



設定メニュー

コントロールパネル
のバックグラウンド
照明

日付と時刻を調整する

時間帯

エラー メッセージ



← 現在のメニュー

バッテリーとバッテリー充電

リビングエリアのサブバッテリー

リビングエリアの12Vシステムはサブバッテリーで駆動されます。

プラスチックの箱に入っています。

このバッテリーは、いわゆるサブバッテリーです

リビングエリアのサブバッテリーはAGMタイプです。このサブバッテリーの状態を維持するには、定期的に使用することが最善の方法です。バッテリーは、使用しないと充電が失われます。

交換用サブバッテリーはAGMタイプである必要があります。キャンピングカーの機器は、このタイプのサブバッテリー用に設計されています。他の種類のサブバッテリーはキャンピングカーを損傷する可能性があります。

車両のスターターバッテリー

車両の12Vシステムは、運転席の隣の床にあるスターターバッテリーから電力を供給されます。

車両の12Vシステムは車両側機器で使用されます。

一部のモデルでは、運転席の下に床に加熱マットがあります。スターターバッテリーには、加熱されたマットを取り上げることでアクセス出来ます。

車両の12Vシステムの詳細と説明については、車両のユーザーマニュアルを参照して下さい。

走行中の充電

走行中は車両のスターターバッテリーとリビングエリアのサブバッテリーの両方が充電されています。

230V ACバッテリー充電器の使用

キャンピングカーにはバッテリー充電器が設置されています。外部AC230Vが接続されているときはいつでも充電が出来ます。

バッテリー充電器は、サブバッテリー充電要件を「感知」し、充電電流をこれに適応させます。

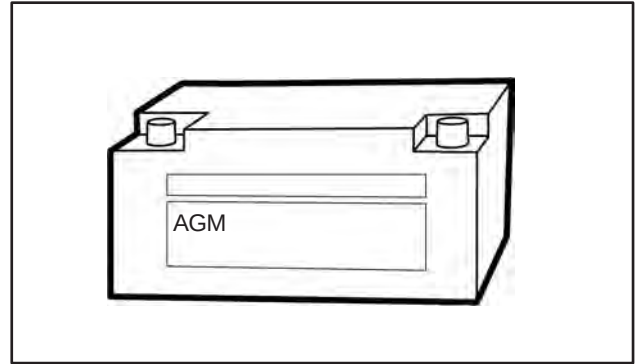
まず、リビングエリアのサブバッテリーが充電されません。リビングエリアのサブバッテリーが完全に充電されると、スターターバッテリーの充電が開始されます。

備考！

バッテリー充電器を接続している時にはカバーをしないで下さい。バッテリー充電器が過熱するリスクがあります。

大事！

メーカーのバッテリー充電器説明書も参照して下さい。



リビングエリアのサブバッテリー



警告！

火災の危険があります。

キャンピングカーのリビングエリアには12 V AGMタイプのサブバッテリーのみを使用して下さい。



サブバッテリー充電器

リビングエリアのサブバッテリーに関する重要な情報

サブバッテリーの耐用年数は、サブバッテリーの使用方法によって影響を受けます。

- ・ サブバッテリーを大量に放電しないで下さい。
- ・ サブバッテリーを完全に充電します(少なくとも24時間)。充電が大きくなるにつれて、サブバッテリーの充電はますます遅くなります。
- ・ 出来るだけ早くサブバッテリーを充電して下さい。サブバッテリーが充電量の半分に落ちることはありません。使用後はサブバッテリーを完全に充電して下さい。

コントロールパネルのサブバッテリー電圧を読み取ってサブバッテリーの充電を確認します。

サブバッテリー電圧がサブバッテリー充電と同等であるにするには、次の点を考慮する必要があります。

・ サブバッテリー負荷

サブバッテリーの電圧レベルは負荷とともに低下します。サブバッテリー容量を読み取る前に出来るだけ多くのライトをオフにし、冷蔵庫が12Vシステムから電力を供給されていないことを確認して下さい。

・ サブバッテリーの充電

電圧の読み取り中にサブバッテリーが充電されていないことを確認します(エンジンがオフなのと外部AV230Vが接続されていない事)



警告！

サブバッテリー液は腐食性です。

皮膚や目に入った場合は、水でたっぷりと洗い医師に連絡してください。



以下は20°Cでの目安値です。:

- > 12.5 V バッテリーが完全に充電されています
- 12.2 V – 12.5 V バッテリー 50% 充電済
- < 12.2 V バッテリーを充電する必要があります

キャンピングカーをしばらく(冬の間など)使用しない場合は、バッテリーは乾燥した涼しい(つまり凍結しない)場所に保管する必要があります。

切断されたサブバッテリーは、隔月でトリクル充電する必要があります。

接続されたサブバッテリーは隔週で充電する必要があります。

キャンピングカーが使用されていない場合、サブバッテリーは、完全に充電されたサブバッテリーよりも凍結によって損傷しやすいことに注意して下さい(表を参照)

冬季時期には、サブバッテリーはそれほど多くの電流を供給出来ません。ただし、その容量は失われません。暖かい天候で戻ってきます(図を参照)

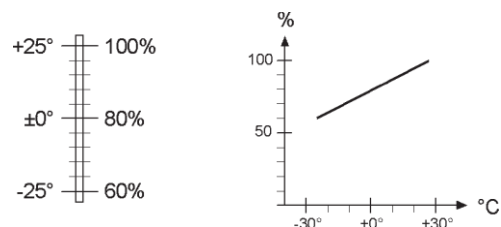
サブバッテリーの経年劣化 古くなりますと充電しにくいです。機能はしますが、新しいバッテリーと同じ能力はありません。交換をお勧めします。

バッテリーを清潔に保ちます!

バッテリーの接続部にしっかりと接触していることを確認して下さい。酸化物を除去するには、スチール製の端子ブラシで端子を清掃します。バッテリーの端子を端子をグリースでコーティングして、酸化物から保護します。

Density gr/cm ³	Freezing point °C
1.28 (full charge)	-67
1.24	-45
1.20	-27
1.16	-16
1.12	-10
1.10 (flat)	-7

異なる充電でのサブバッテリー酸の凝固点レベル



異なる温度でのバッテリー容量

サブバッテリー残量が少ない場合の自動スイッチオフ

Smart D電気システムには、バッテリー充電の監視が組み込まれています。

サブバッテリーの充電量が特定のレベルを下回ると、コントロールパネルに「低容量」というメッセージが表示されます。

サブバッテリーを充電します(230 Vを接続するか、エンジンを始動します)

メッセージを閉じるには、メニューを選択して下さい。

サブバッテリーの充電量がさらに低下すると、電気システムは電気システムの消費者の大部分を自動的にオフにします。電気機能(ライトやポンプなど)が機能しなくなります。電子機器への電源がオフになるため、冷蔵庫とボイラーもオフになります。

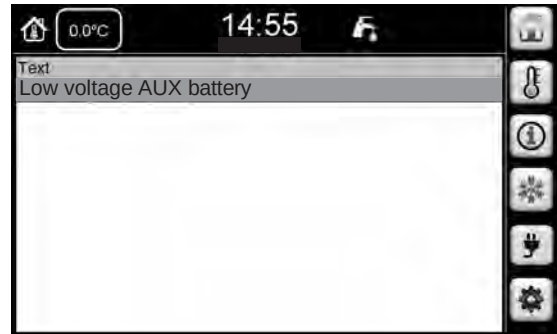
電気システムのスイッチを切る目的は、サブバッテリーを過度に放電してサブバッテリーを損傷しないようにすることです。

サブバッテリーが完全に充電されると、電気システムは自動的にリセットされます。バッテリーを完全に充電するには数時間かかります。

電気システムを早く(一度に)リセットする場合は、電気システムのスイッチを切り、スイッチをオフの位置にします。バッテリーの充電が開始された場合は、電気システムの電源が完全に切れないようにこれも中断する必要があります。

次にサブバッテリーが充電されている間に電気システムを起動します。

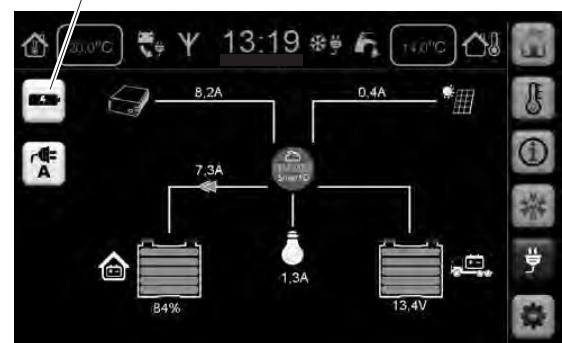
サブバッテリー充電器は電気システムをリセットするのに十分な電力を供給します。すべての機能が利用可能です。



説明

サイレントモード

コントロールパネルからサイレントモードをオフにすることにより、バッテリー充電器をフルパワーで使用するのが適切です。



照明

電球を交換する場合、新しい電球は元の電球と同じタイプと強度でなければなりません。

KABEは主にLED電球を使用しています。これにより、照明の消費電力が削減されます(つまり、他の電球を使用する場合と比較してバッテリーが長持ちします)。LED電球は、従来の白熱電球よりもはるかに長い寿命を持っています。

一部のLED電球は、従来のハロゲン電球と同じベースを持っています。ただし、消費電力を制限し、電球内の不要な熱を避けるために、LEDライトを選択する必要があります。

同じタイプのLED電球は、さまざまな色相で輝くことが出来ます。



警告！
やけどの危険があります！
点灯したハロゲン電球は熱くなります。低エネルギー電球の代わりにハロゲン電球を取り付けると、過熱する可能性があります。

人感センサー付きエントランス照明

コントロールパネル(A)を介してポーチライトをオンにします。ポーチライトは常時点灯しています。

キャンピングカーに人感センサーがある場合は、コントロールパネルにアイコン(B)と(C)が表示されます。コントロールパネル(B)を押して、人感センサーを作動中にします。数分後に外光が消えます。暗闇の中で人感センサーが動きを検出すると、再び点灯します。



ボタン(C)が作動中になっている場合、車内の一部の照明がポーチライトに追従し、人感センサーによって作動中になります。

目的は、人感センサーが車両外の動きを検出したことを車内の人々に認識させることです。

車内を邪魔することなく、モーションセンサーでポーチライトを作動オフにしたい場合は、ボタン(C)をオフにします。



ブレーカー

230V ブレーカー

キャンピングカーの230Vブレーカーボックスには、2つの回路ブレーカーがあります。

- ・ 16Aはボイラー／ヒーター用の回路ブレーカー
- ・ 10Aはバッテリー充電器 冷蔵庫 電源コンセント用の回路ブレーカー

電気系統には、電力用の残留電流装置があります。機能は、回路ブレーカー側の埋め込み式ボタンを使用してテスト出来ます。



工場でインバーターが取り付けられたキャンピングカーには、インバーターによって取り付けられた残留電流装置もあります。

その機能は、残留電流装置のボタンを介してテスト出来ます。



説明

Smart Dヒューズ

電気システムの電気出力は継続的に監視されます。出力が過負荷(電流が大きすぎる)の場合、自動的にオフになります。

この機能はヒューズに相当します。

過負荷が修正されていることを確認します。

次に、電源を切り電気システムを再起動します。

Smart D電気システムは、電気入力と出力を備えたユニットで構成されています。これらのユニットは、N1 – N6(特定のモデルではN1 – N5)とマークされています。図面には、ユニットの位置が表示されます。この図面はキャンピングカーに付属しています。

ユニットN1には4つの30Aヒューズがあります。

N2～N6ユニットのそれぞれには20Aヒューズがあります。



写真は電気系統のN1ユニットです。ドメティック Smart D 12 V配電ボックス



写真は、電気システムのN2～N6ユニットの1つを示しています。

ドメティックSmart D I/Oカード

KABE Imperial / Crown (完全一体型キャンピングカー)ヒューズ

可能な限り、ヒューズはジャンクションボックスF1、F2、F3、およびF4の中央に配置されています。

概要図は、キャンピングカーのヒューズの位置を示しています。

F1

F1-0	40A	リビングエリア間の充電電流バッテリーとスターターバッテリー
F1-37	10A	
F1-38	15A	セントラルロック
F1-39	15A	水ポンプ
F1-40	3A	DEFA 警告
F1-41	10A	スターターバッテリー電圧測定
F1-42	3A	ステップ(運転席側)
F1-43	7,5A	DEFA IR
F1-44	7,5A	サイドミラー(暖房)
F1-45	7,5A	サイドビューミラー(調整)
F1-46	15A	ファン(助手席) 電動窓

大事！

車両の12Vシステムのヒューズの詳細は、車両のユーザーマニュアルに記載されています。

F1-0, 40A

F1-37, 10A	F1-38, 15A	F1-39, 15A	F1-40, 3A	F1-41, 10A	F1-42, 3A	F1-43, 7,5A	F1-44, 7,5A	F1-45, 7,5A	F1-46, 15A	F1-47	F1-48	F1-49	F1-50	F1-51	F1-52	F1-53	F1-54
------------	------------	------------	-----------	------------	-----------	-------------	-------------	-------------	------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

F2

F2-1	3A	リビングエリアのバッテリー電圧測定
F2-2	5A	アルデボイラー
F2-3	7,5A	リビングエリアバッテリーのトリクル充電
F2-4	15A	ステップ(ドア)
F2-5	15A	ソーラーパネル
F2-6	10A	シンデレラ焼却トイレ
F2-	20A	パワーアンプ/サブウーファー
F2-	20A	パワーアンプ/サブウーファー

F2-3, 7,5A	F2-6, 10A	F2-7, 20A	F2-, 150A
F2-2, 5A	F2-5, 15A	F2-8, 20A	F2-, 150A
F2-1, 3A	F2-4, 15A	F2-9, 50A	

F2	200A	インバーター
F2	150A	油圧サポートレグ
F2	15A	ハンドヘルドコントロール(油圧サポートレグ)

F3

F3-1	3A	コントロールパネル
F3-2	1A	ルーター

F3-2, 1A
F3-1, 3A

F4

F4-1	3A	I B S
F4-2	7,5A	リチウム電池、TBS(工場装着オプション)
F4-3	5A	リチウム電池、BMS(工場出荷時オプション)
F4-4	500A	リチウム電池(工場装着オプション)

*F4-4, 500A
*F4-2, 7,5A
*F4-3, 5A
F4-1, 1A

* LITUM

その他のヒューズ

トイレの電磁弁:

トイレの後ろ部分にある3Aヒューズ

トイレツールの製造元の指示を参照して下さい。

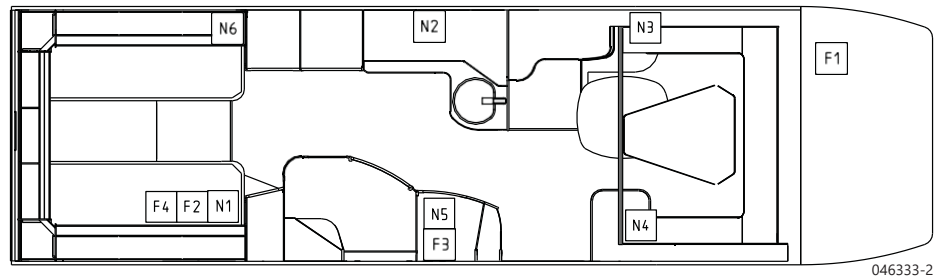
ボイラー:

ヒューズホルダー内の緑色2Aヒューズ

ヒューズの位置

次の図は、F1、F2、F3、およびF4ヒューズの位置を示しています。ユニットN1～N6も表示されます。
関連するモデルイラストを参照して下さい。

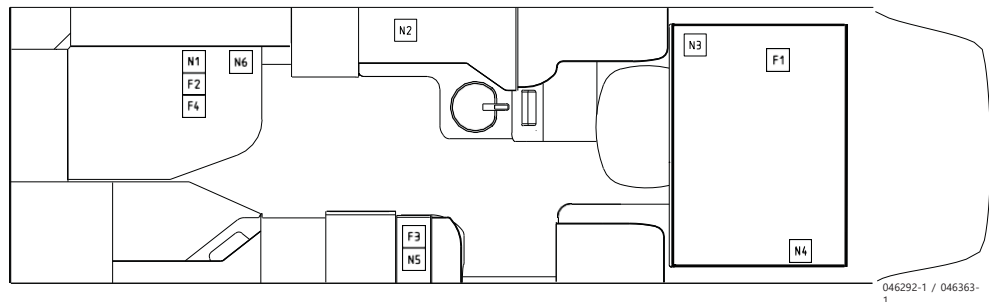
Tm CrI 760 LGB



046333-2

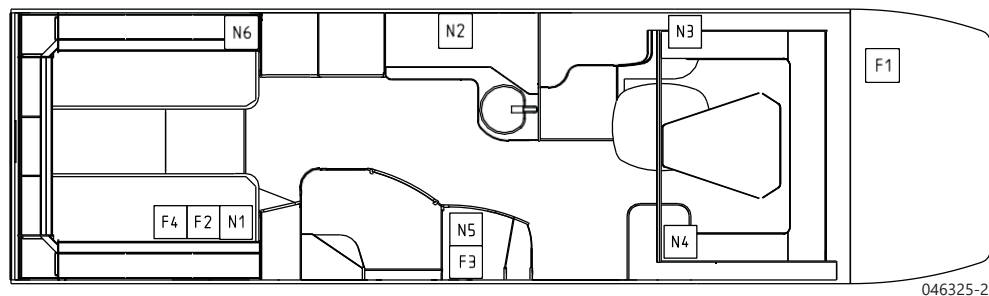
説明

Tm CrI 760 LXL
Tm CrI 810 LXL
Tm MI 810 LXL



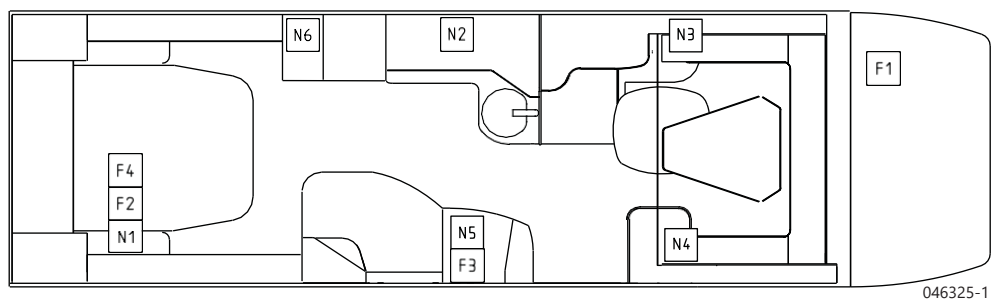
046292-1 / 046363-1

Tm CrI 810 LGB
Tm MI 810 LGB



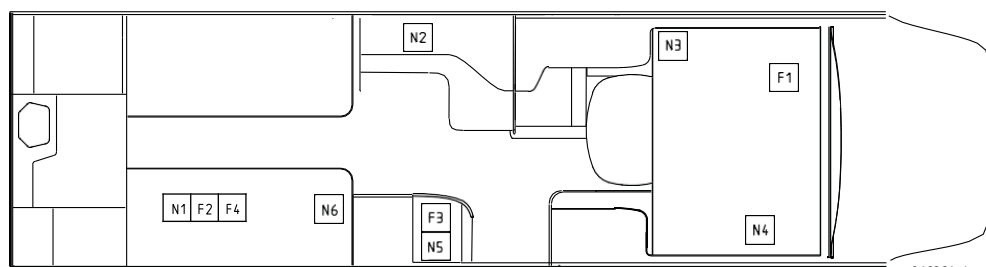
046325-2

Tm CrI 810 LQB
Tm MI 810 LQB



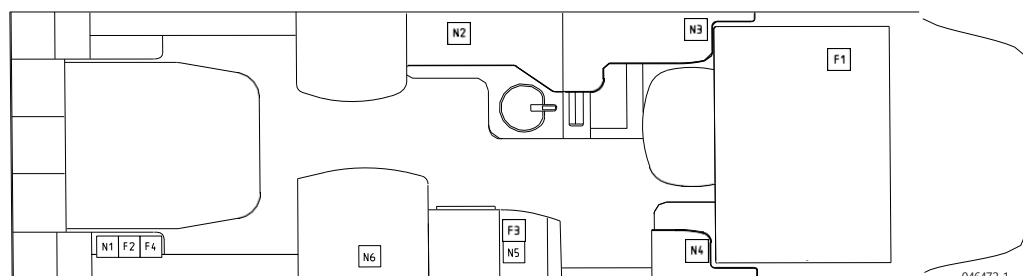
046325-1

Tm CrI 810 LT
Tm MI 810 LT



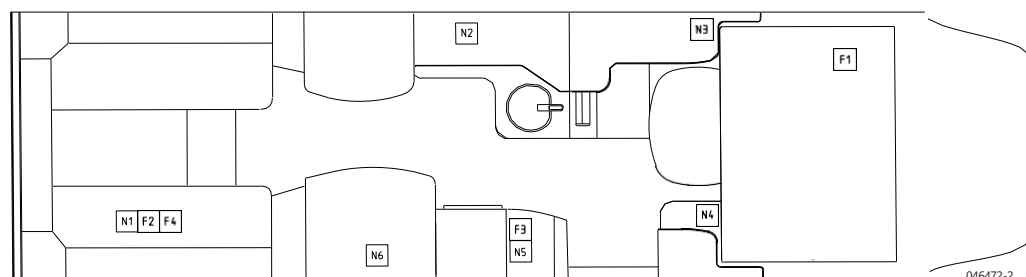
046261-4

Tm CrI 860 LQB
Tm MI 860 LQB



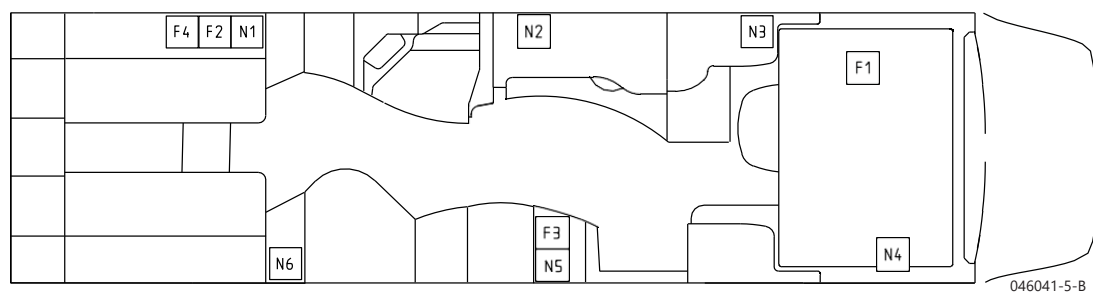
046472-1

Tm CrI 860 LGB
Tm MI 860 LGB

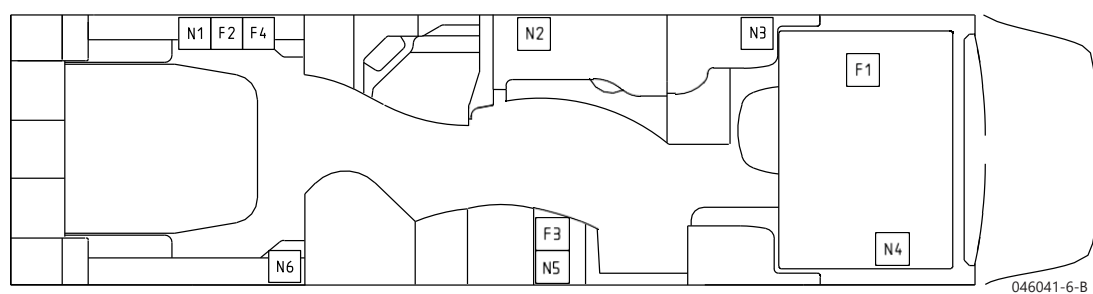


046472-2

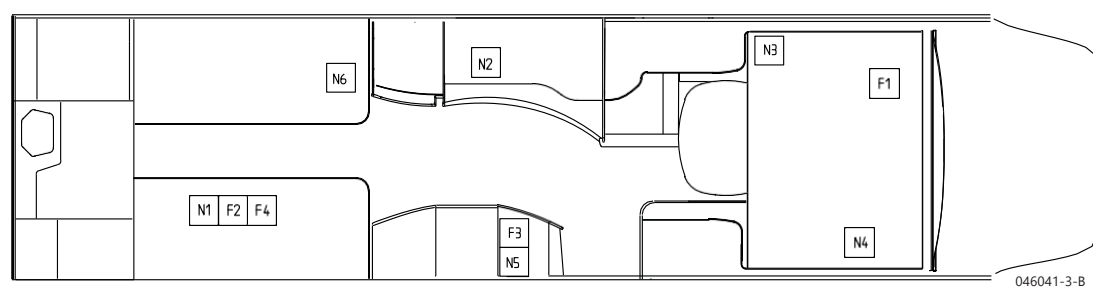
Tm MI 910 GB



Tm MI 910 QB



Tm MI 910 T



KABE ROYAL(半一体型キャンピングカー)ヒューズ

可能な限り、ヒューズはジャンクションボックスF1、F2、F3、およびF4の中央に配置されています。
図は、キャンピングカー内のヒューズの位置を示しています。

F1

F1-0 40A リビングエリアバッテリーとスターター
バッテリー間の充電電流

大事！

車両の12Vシステムのヒューズの詳細は、車両の
ユーザーマニュアルに記載されています。

F1-37 3A スターターバッテリー電圧測定

F1-38 15A アラーム

F1-39 - - -

F1-40 3A DEFAIR

F1-41 10A セントラルロック

F1-37, 3A
F1-38, 15A
F1-39, 15A
F1-40, 3A
F1-41, 10A
F1-42
F1-43
F1-44
F1-45
F1-46
F1-47
F1-48
F1-49
F1-50
F1-51
F1-52
F1-53
F1-54

F1-0, 40A

F2

F2-1 3A リビングエリアのバッテリー電圧測定

F2-2 5A アルデボイラー

F2-3 7,5A リビングエリアバッテリーのトリクル充電

F2-4 15A ベッド受信装置

F2-5 15A ソーラーパネル

F2-6 10A シンデレラ焼却トイレ

F2-7 50A 充電電流

F2 200A インバーター

F2 150A 油圧サポートレグ

F2 15A ハンドヘルドコントロール(油圧サポートレグ)

F2-4, 15A	F2-5, 15A	F2-6, 10A
F2-1, 3A	F2-2, 5A	F2-3, 7,5A
F2-11, 50A		

F3

F3-1 3A コントロールパネル

F3-2 1A ルーター

F3-2, 1A
F3-1, 3A

F4

F4-1 3A IBS

F4-2 7,5Aリチウム電池、TBS(工場装着オプション)

F4-3 5Aリチウム電池、BMS(工場出荷時オプション)

F4-4 500Aリチウム電池(工場装着オプション)

*F4-4, 500A
*F4-2, 7,5A
*F4-3, 5A
F4-1, 1A

* LITUM

その他のヒューズ

トイレの電磁弁:

トイレの後ろ部分にある3Aヒューズ

トイレツールの製造元の指示を参照して下さい。

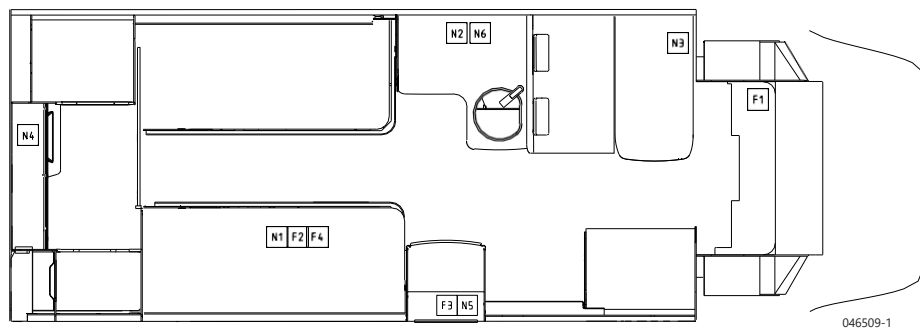
ボイラー:

ヒューズホルダー内の緑色2Aヒューズ

ヒューズの位置

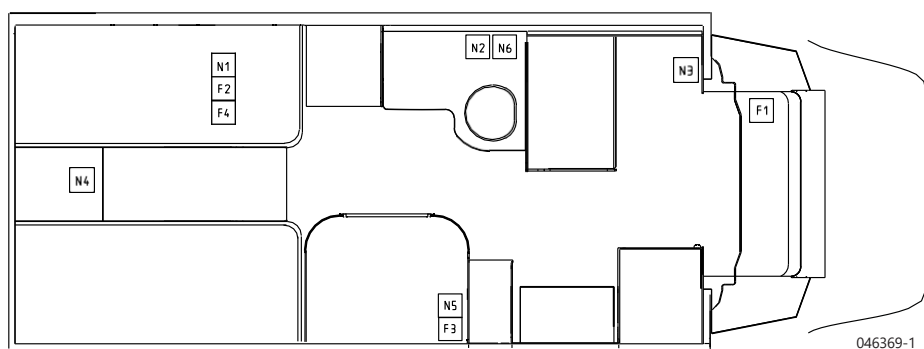
次の図は、F1、F2、F3、およびF4ヒューズの位置を示しています。
ユニットN1～N6も表示されます。
関連するモデルイラストを参照して下さい。

Tm RX 780 LT



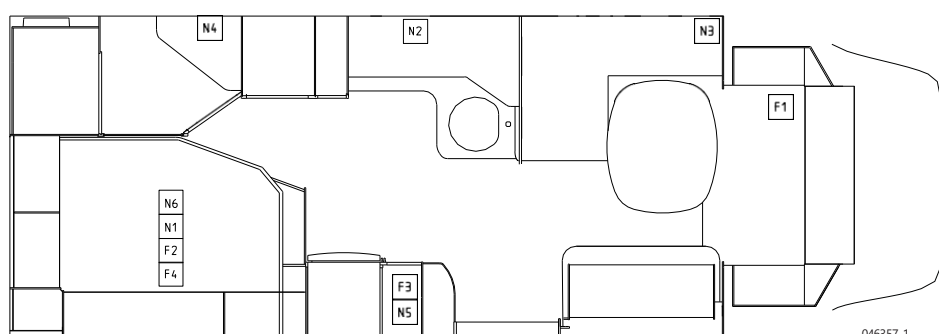
046509-1

Tm RX 780 LB
Tm RX 780 LGB



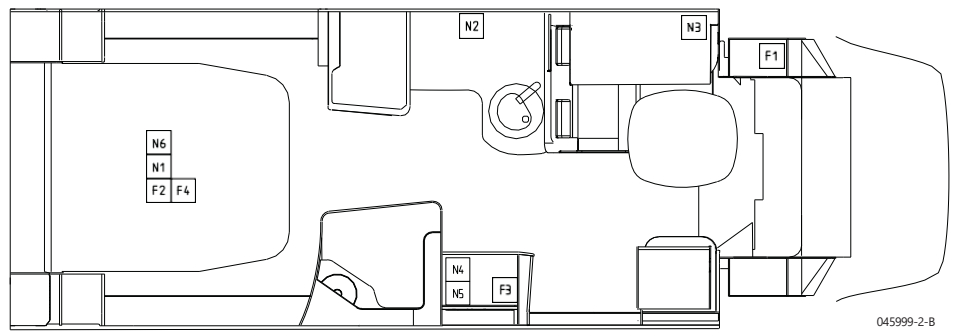
046369-1

Tm RX 780 LXL

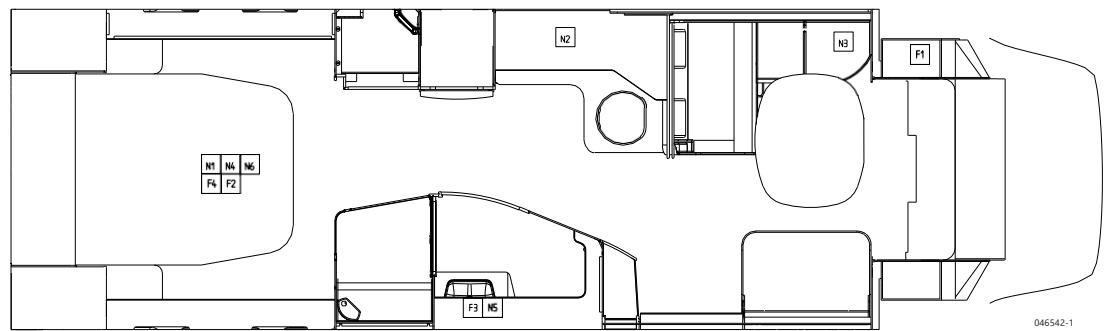


046357-1

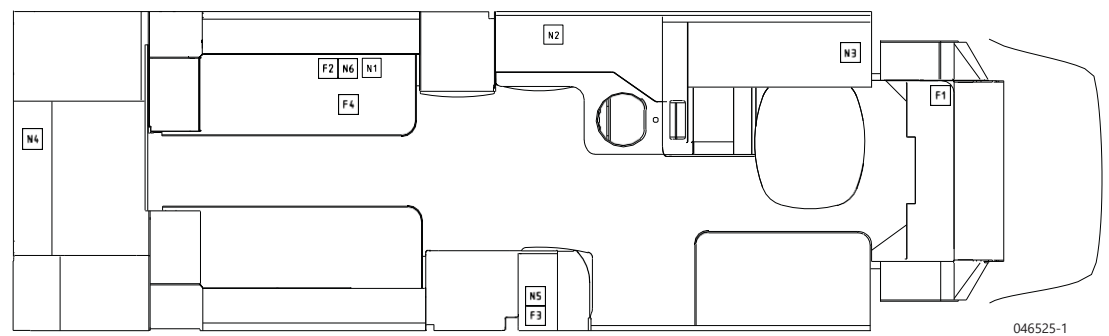
Tm RX 780 LQB



Tm RX 880 LQB



Tm RX 880 LT



KABE Vanヒューズ

可能な限り、ヒューズはジャンクションボックスF1、F2、およびF4の中央に配置されています。
図は、キャンピングカー内のヒューズの位置を示しています。

大事！

車両の12Vシステムのヒューズの詳細は、車両のユーザーマニュアルに記載されています。

F1

F1-0 リビングエリアバッテリー間の充電電流とスターターバッテリー

F1-37 3A スターターバッテリー電圧測定
F1-38 15A DEFA アラーム(工場出荷時オプション)
F1-39 7,5A 絶縁リレーへの信号電圧
F1-40 3A DEFA (工場出荷時オプション)

F1-37, 3A
F1-38, 15A
F1-39, 7,5A
F1-40, 3A

F1-0, 40A

F2

F2-1 7,5A リビングエリアのバッテリートリクル充電
F2-2 3A リビングエリアのバッテリー電圧測定
F2-3 1A
F2-4 3A Smart Dコントロールパネル
F2-5 5A アルデボイラー
F2-6 1A ルーター
F2-7 15A ステップ/オーニング
F2-8 15A ソーラーパネル

F2-3, 1A	F2-2, 3A	F2-1, 7,5A
F2-6, 1A	F2-5, 5A	F2-4, 3A
	F2-8, 15A	F2-7, 15A

F2-9, 50A

F2-9 150A インバーター

F4

F4-1 3A 受信装置
F4-2 7,5Aリチウム電池、TBS(工場装着オプション)
F4-3 5Aリチウム電池、BMS(工場出荷時オプション)
F4-4 500Aリチウム電池(工場装着オプション)

*F4-4, 500A
*F4-2, 7,5A
*F4-3, 5A
F4-1, 1A

* LITIUM

その他のヒューズ

トイレの電磁弁:

トイレの後ろ部分にある3Aヒューズ

トイレツールの製造元の指示を参照して下さい。

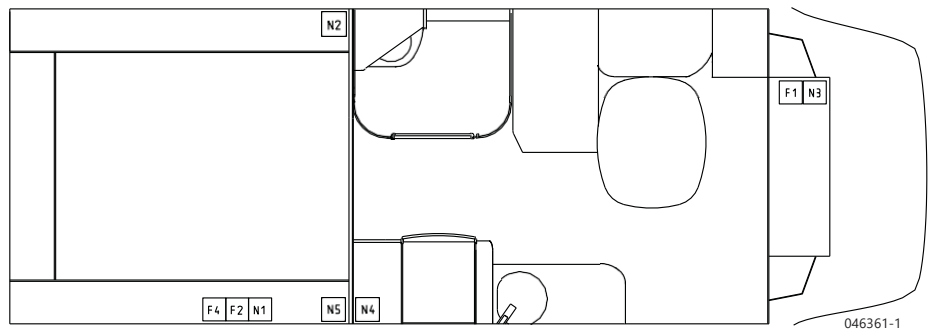
ボイラー:

ヒューズホルダー内の緑色2Aヒューズ

ヒューズの位置

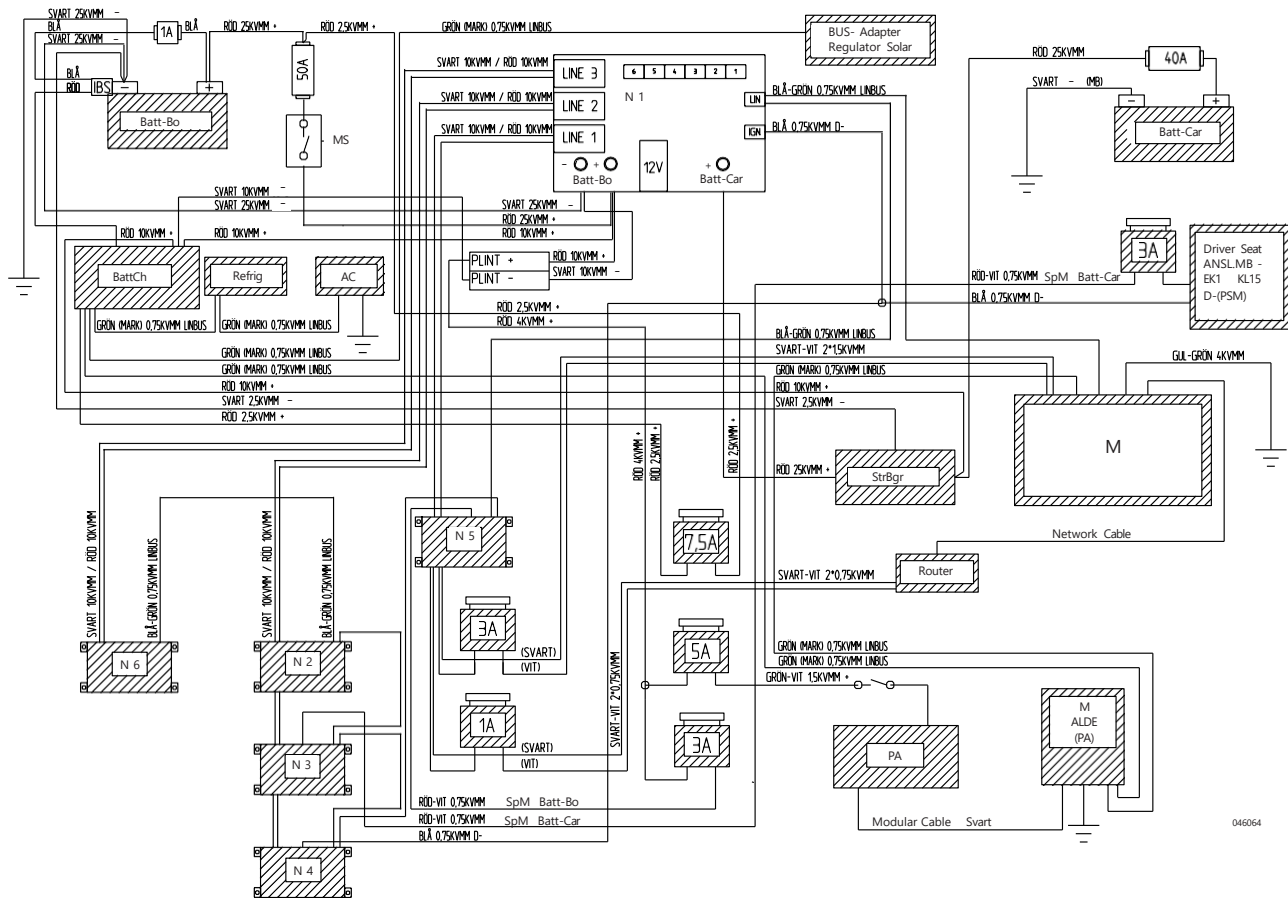
次の図は、F1、F2、およびF4ヒューズの位置を示しています。
ユニットN1～N6も表示されます。

KABE Van
Tm CrV 690 LB



回路図

Smart D回路図、KABE Imperial / Crown (完全一体型キャンピングカー)ヒューズ



鍵:

- 12V-Bo 12 Vリビングエリア
- 12V-Car 12 V車
- Batt バッテリー
- Batt-Bo サブバッテリー、リビングエリアの12Vシステム
- Batt-Car バッテリー、車両の12Vシステム

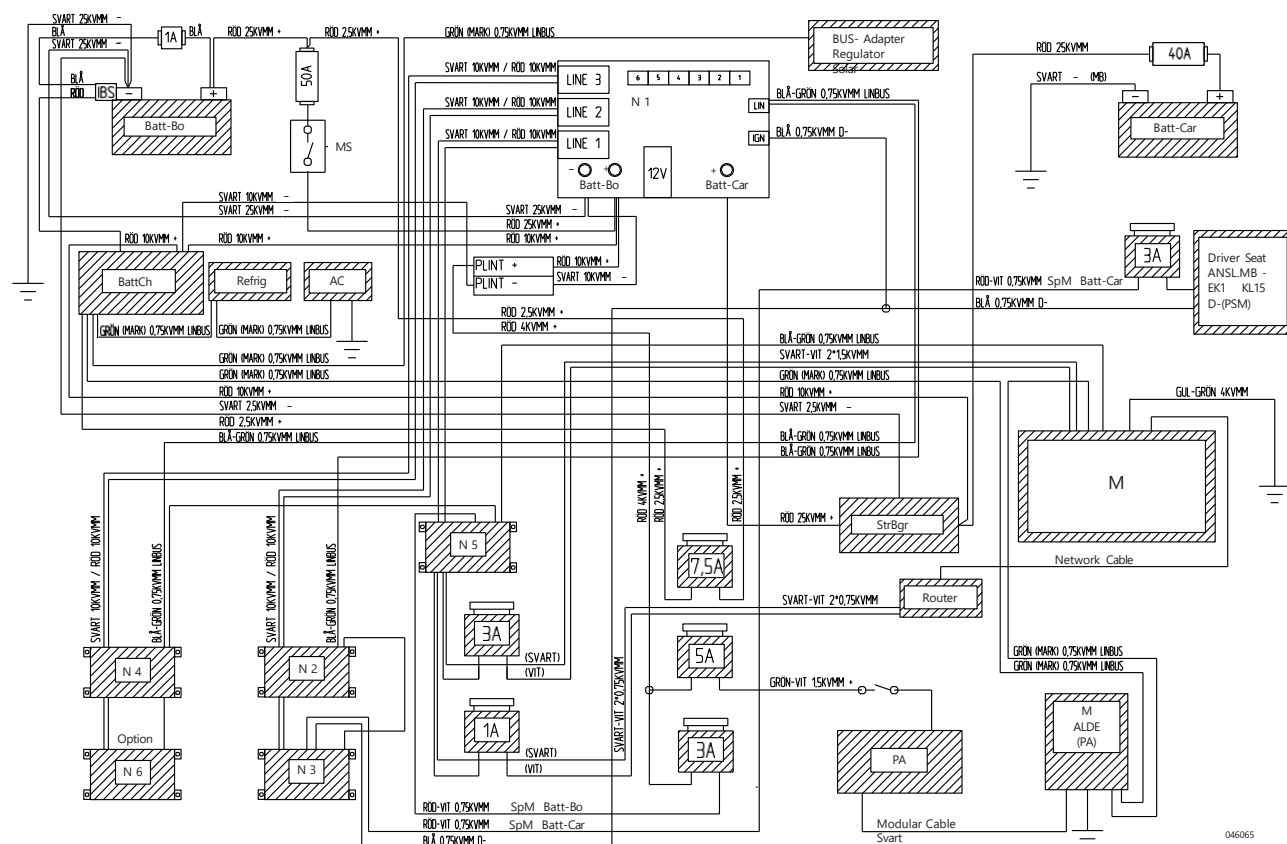
- BattCh 充電器
- M コントロールパネル
- MS 主電源スイッチ
- N1-N6 入力と出力を備えた電子ユニット
- PA ボイラー
- PLINT 端子台
- Refrig 冷蔵庫
- SpM 電圧計
- StrBgr 現在の制限

単位(N)接続の順序は、異なるモデル間で異なる場合があります。機能に違いはありません。

適用対象:

- ・ LINバス通信ケーブル(青緑)
- ・ 12Vの電源電圧(黒赤)

Smart Dサーキット図、KABE Royal(半一体型キャンピングカー)



鍵:

12V-Bo 12Vリビングエリア

12V-Car 12V車

Batt バッテリー

Batt-Boサブバッテリー、リビングエリアの12Vシステム

Batt-Carバッテリー、車両の12Vシステム

BattCh 充電器

M コントロールパネル

MS 主電源スイッチ

N1-N6 入出力付き電子ユニット

PA ボイラー

PLINT 端子台

Refrig 冷蔵庫

SpM 電圧計

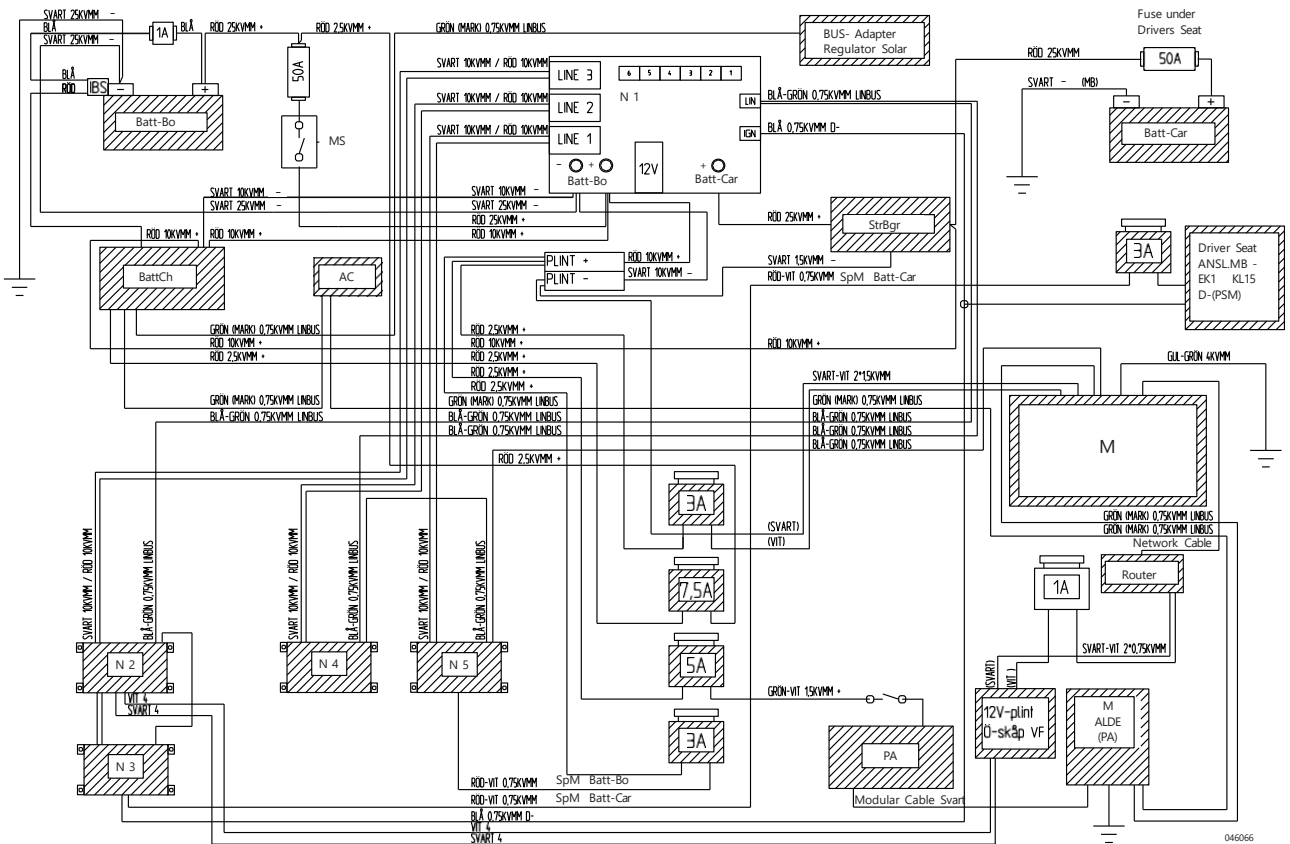
StrBgr 現在の制限

単位(N)接続の順序は、異なるモデル間で異なる場合があります。機能に違いはありません。

適用対象:

- ・LINバス通信ケーブル(青緑)
- ・12Vの電源電圧(黒赤)

説明



ソーラーパネル

特定のキャンピングカーには、屋根にソーラーパネルがあります。このパネルは、相互接続されたいくつかのソーラーパネルで構成されています。

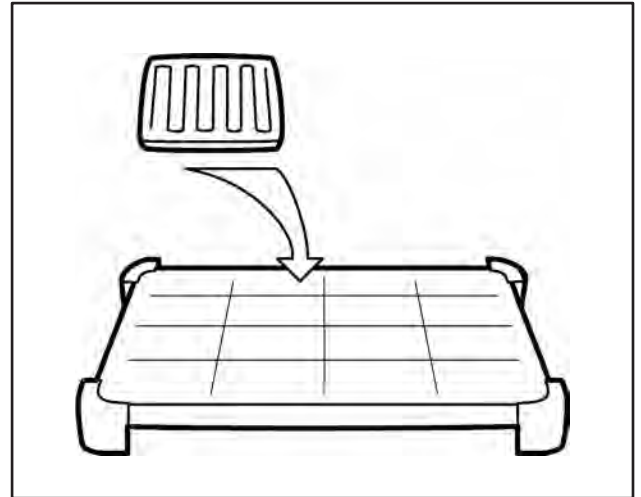
ソーラーパネルに太陽が当たると、電流が発生します。これにより、リビングエリアのサブバッテリーが充電されます。

可能な限り最高の充電容量を得るために、ソーラーパネル全体に太陽の光を浴びる必要があります。

パネルが部分的に影になっている場合、電流はに制限されます。

太陽光が最も少ない太陽電池に相当します。

汚れや雪はソーラーパネルに到達する太陽光を制限する可能性があることを忘れないで下さい。ソーラーパネルが清潔で雪がないことを確認して下さい。



ソーラーパネル

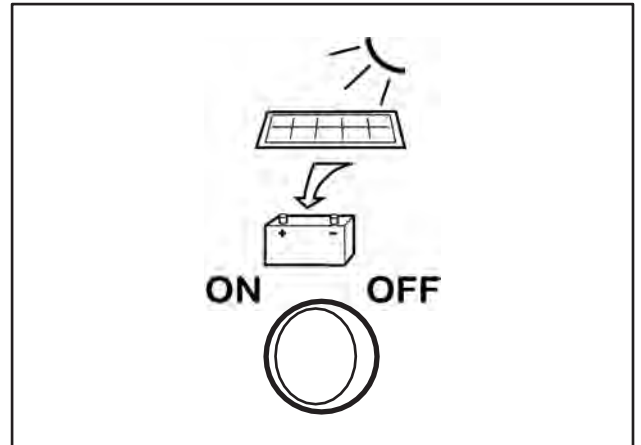
ソーラーパネルの電子機器は、サブバッテリーが過充電されないように充電プロセスを監視します。電子機器は、サブバッテリーからの電流によって電力を供給されます。

スイッチはソーラーパネルの電子機器をオフにし、それによって太陽電池もオフにします。スイッチがオフの位置にあるとき、サブバッテリーは太陽エネルギーで充電出来ません。

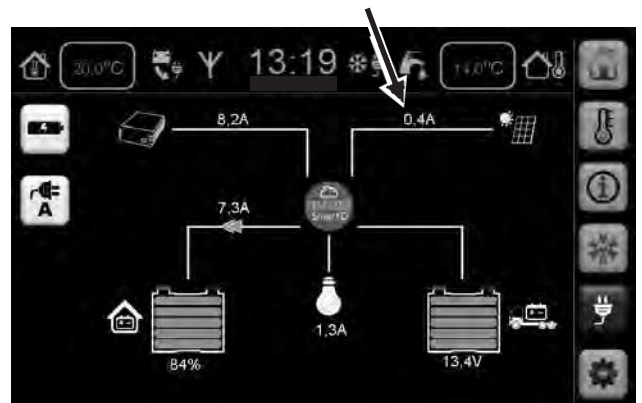
ソーラーパネルが電気を発電出来ない場合は、ソーラーパネルの電子機器の電源を切ります。電子機器をオフにすると、サブバッテリーの既存の容量を節約できます。ソーラーパネルの電源をオフにする事は、たとえば、キャンピングカーがガレージに駐車されている場合に適しています。

サブバッテリーがソーラーパネルで充電出来るように、パネルのスイッチがオンの位置にある事を確認して下さい。

太陽電池が生成している電流の量をコントロールパネルから読み取ります。



太陽電池スイッチのオンオフ



説明-アンテナシステム

キャンピングカーにはテレビアンテナシステムがあります。
アンテナシステムは以下で構成されています。

- テレビアンテナ
- ケーブルテレビ接続(K)
- 信号スイッチ
- TVアンテナソケット
- アンテナマウント

最高の受信を得るために、アンテナマウントを上げる事が出来ます。(特定のモデルのみ)

備考！

移動中、アンテナはボットムの位置にあり、後方を向いている必要があります。

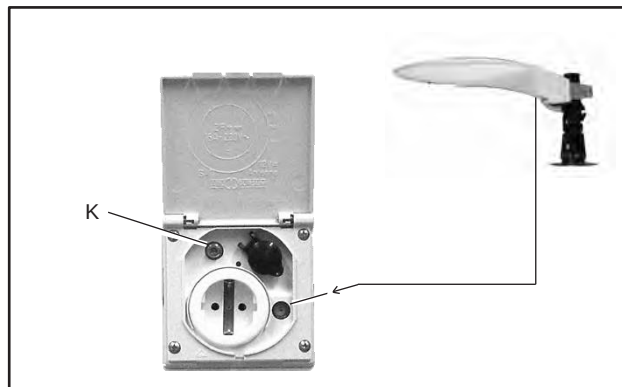
現在、多くのキャンプ場でケーブルテレビを提供しています。

ケーブルテレビはアンテナソケット(K)に接続する必要があります。

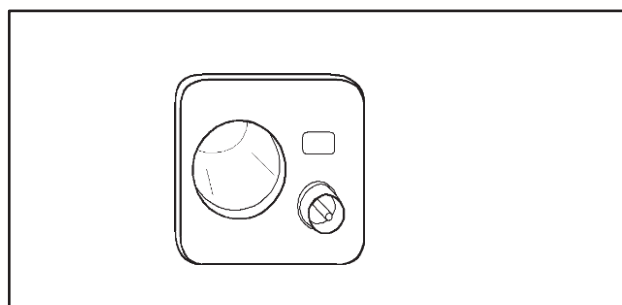
ケーブルテレビがキャンピングカーに接続されている場合、キャンピングカーのアンテナからの信号とケーブルテレビからの信号をテレビ棚の横にあるアンテナソケットに接続するかどうかを選択する必要があります。

選択するには、信号の適切なスイッチボタンを押します。

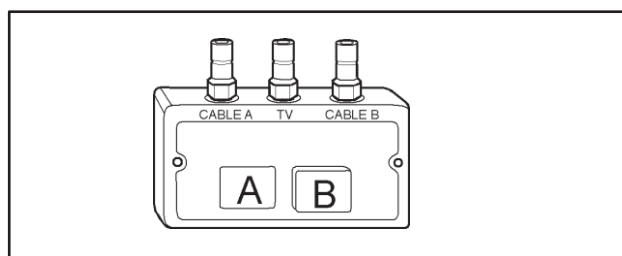
- A. テレビアンテナ
- B. ケーブルテレビ



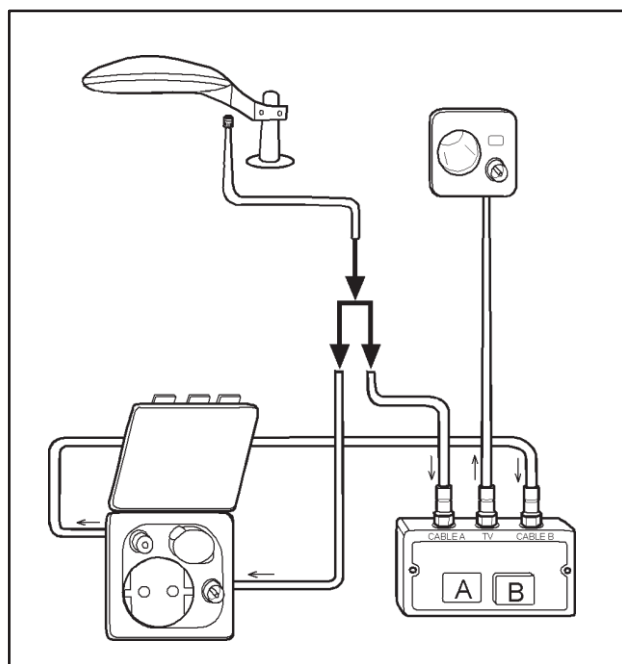
キャンピングカーのケーブルテレビ接続



テレビアンテナソケット.



信号スイッチ



キャンピングカーのアンテナシステムの概略図

KABE Smart Dリモート

紹介

KABE Smart Dは、1台以上の携帯電話から車両のコントロールパネルをリモートコントロールすることが出来ます。

条件

KABE Smart Dのリモートコントロールには、車両に次のことが必要です。

Smart D電気システムを持っています。

一部のモデルには、Smart Dリモートが標準装備されています。

Smart D電気システムを備えた他のモデルは、

オプションとしてSmart Dリモートがあります。

リモコンが機能するには、次の条件を満たす必要があります。

- ・車両の電気システムがオンで、インターネットに接続されます。

(ルーターとSIMカードが取り付けられています)

- ・携帯電話にはSmart D Remoteアプリがインストールされ、個人アカウントを介して車両に接続されます。

- ・携帯電話はインターネットに接続されています。

- ・年間サブスクリプションは、機能がアクティブになるように登録します。

KABEディストリビューターは、リモートコントロールの起動と実行をお手伝いします。

車両への接続

車両の電気システムがインターネットに接続されている場合、アクティベーションコードがコントロールパネル(設定メニュー)に表示されます。

アクティベーションコードがKABEに登録されている必要があります。

アクティベーションコードは、車両を接続するために個人の電子メールアカウント(携帯電話)を使用します。

KABEはプライベートメールアドレスの使用を推奨しています。企業やその他の組織の電子メールアドレスには、車両と電子メールアカウント(携帯電話)間の通信に問題を引き起こす可能性のあるフィルターが付いていることがあります。



複数の携帯電話を接続する

複数のアカウント(携帯電話)を1台の車両に接続出来ます。

1つのアカウントは所有者アカウントであり、次の権限があります

車両に接続する他のアカウントを承認します。

車両所有権の変更について

新しい所有者のアカウントを車両に接続します。所有者アカウントを新しい所有者に切り替えます。

所有者であるアカウント(携帯電話)は、接続されている他の携帯電話(アカウント)を切断します。

スタートメニュー



以下にスタートメニューと各アイコンの機能が表示されます。



230 V 接続済み



室内温度



外気温



現在のバッテリー電圧
(リビングエリアサブ
バッテリー)



電気系統
オン/オフ



すべての照明
を消す



ベバストエンジンヒーター



ポーチライト



スタートメニュー
(現在のメニュー)



暖房メニュー



エアコン/エアベントメニュー

暖房メニュー



230 V 接続済み



室内温度



外気温



現在のサブバッテリー電圧
(リビングエリアバッテリー)



暖房
オン／オフ



床暖房



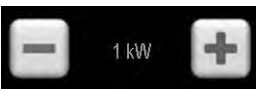
冬季時期



設定温度



温水 強弱



外部AC230V暖房
オフ-1-2-3KW



ガス暖房オフ／オン



スタートメニュー



暖房メニュー
(現在のメニュー)

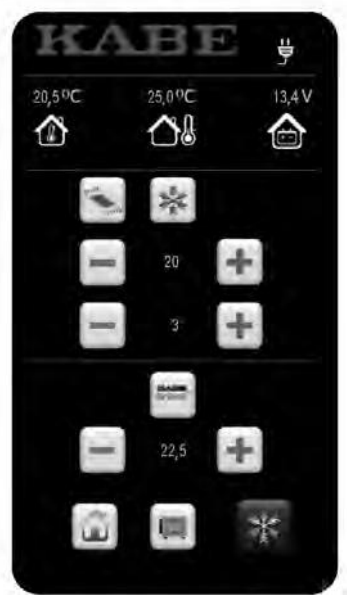


エアコン / エアイベントメニュー

エアコン/エアイベントメニュー



特定のモデルにはエアコンとエアイベントの両方があります。
その他のモデル車両で使用可能な機能を表示します。



230 V 接続済み



室内温度



外気温



現在のサブバッテリー電圧
(リビングエリアバッテリー)



エアコン照明



エアコン: オン-/オフ



エアコン:温度設定



エアコン:ファン速度



エアイベントサーモスタット:オン/オフ



エアイベントサーモスタット:
開始/停止の温度



スタートメニュー



暖房メニュー



エアコン/エアイベントメニュー
(現在のメニュー)

メンテナンス

メンテナンススケジュール

このセクションには、定期的に行う必要があるメンテナンスの一覧とタイミングのみが含まれています。場合によっては、メンテナンス対策は、より詳細な指示へのコメントまたは参照を見て下さい。

毎週のメンテナンス

確認	コメント/参照
清水タンクの清掃。	「使用する」を参照して下さい。
排水タンクの清掃。	「使用する」を参照して下さい。
リークインジケーターを使用して、ガスシステムを確認します。	「使用する」を参照して下さい。
暖房システムのラジエーター液確認。	膨張タンクのレベルを確認して下さい。

毎月のメンテナンス

確認	コメント/参照
サブバッテリー。	少なくとも月に一度はバッテリーを完全に充電して下さい。
トイレのゴム製ガスケットの潤滑。	「説明」および製造元のユーザー手順を参照して下さい。
トイレのゴム製ガスケット/トイレの水洗ハッチの掃除。	「説明」と製造元のユーザーを参照して下さい。
キッチンファンのフィルター掃除。	「説明」と製造元のユーザーを参照して下さい。
ボイラーの排水	給湯器に新しいエアクッションを作成します。製造元の指示に従って扱います。
外装パネル	グラスファイバーの表面が以下から保護されていることを確認する。 少なくとも年に2回ワックスをかけることによる変色を防ぎます。

年次メンテナンス

確認	コメント/参照
年間サービス	保証とサービスブックに従ってKABEサービスワークショップをご利用下さい。
暖房システム	グリコールテスターを使用してグリコールレベルを確認します。
ロック	「説明」を参照して下さい。
ステップアーティキュレーション	潤滑。
ステップスイッチ	潤滑。
サポートレッグ	清掃。接触スプレーを使用して下さい。
ドアとハッチのゴムストリップ	潤滑。
対流式暖房のエアークレニング	個別のメンテナンス手順を参照して下さい。
冷蔵庫の背面を掃除する	冷却フィンを絶縁しているほこりを取り除きます。
	製造元のユーザー手順を参照して下さい。

スペア:予備の電球とヒューズがあることを確認して下さい。

清掃

外装を洗う

全般

キャンピングカーの外装を洗うときは、次の点に注意して下さい:

- ・ 推奨される洗剤のみを使用して下さい。
- ・ 各洗剤のパッケージの指示に従って下さい。
- ・ 誤ったクリーニングは、キャンピングカーの仕上げやトリムを損傷する可能性があります。
- ・ 車両のユーザーマニュアルの指示を尊重して下さい。

自動洗車

KABEは、キャンピングカーを自動洗車で洗わないことをお勧めします。

手洗いをお勧めします。自動洗車よりもはるかにキャンピングカーに優しいです。

高圧洗浄

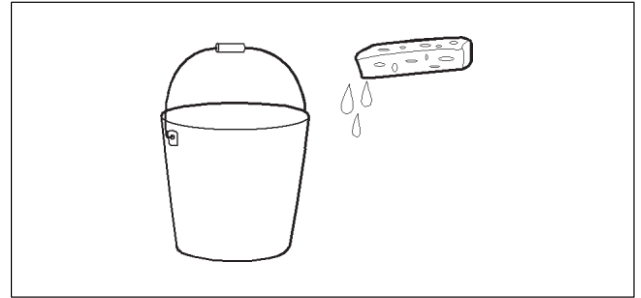
強力な水の噴流はトリムを損傷する可能性があるため、高圧洗浄は避けて下さい。

手洗い

- 1 キャンピングカーを水でたっぷり流して下さい。
キャンピングカーの換気口に水をかけるのは避けて下さい。
- 2 キャンピングカーをぬるま湯と刺激の少ないカーシャンプーで洗って下さい。スポンジまたは洗浄ブラシを使用して下さい。直射日光の当たる場所でキャンピングカーを洗わないで下さい。10分以内にキャンピングカーから洗剤を洗い流します。窓はアクリル窓用の洗剤を使用して個別に清掃する必要があります。「窓の掃除」の見出しを参照して下さい。
- 3 ハードワックスポリッシュを使用して、アスファルトの飛沫、すす粒子、その他の汚れを取り除きます。汚れが落ちるまで、柔らかいスポンジまたは布で表面を作業して下さい。
- 4 洗車後キャンピングカーの仕上げを保護するためにWAXをかけるのをお勧めします。



警告！
けがの危険があります。
屋根を掃除するときは細心の注意を払ってください。滑ったり転んだりするリスクを覚えておいて下さい。安定した表面にいることを確認して下さい。



洗剤・脱脂剤

キャンピングカーのジョイントやフィッティング周辺のシーラントの損傷を防ぐため、キャンピングカーやキャラバン用の洗剤のみを使用して下さい。

適切な洗剤は、最寄りのKABE販売代理店から入手できます。洗剤溶液の強さに注意して下さい。洗剤の使いすぎは避けて下さい。

脱脂剤は使用しないで下さい。

ハードワックスポリッシュを使用して、タールとアスファルトの飛沫を取り除きます。

窓の掃除

キャンピングカーの窓は、不適切な洗剤によって損傷する可能性があります。

ドメティックガラスクリーナーは、窓の掃除にお勧めです。

窓の傷は、ドメティックアクリリックガラスポリッシュとドメティック特殊研磨布で磨くことが出来ます。

上記の補助具は、ドメティックウィンドウクリーナーセットに含まれています。

変色

外部的には、キャンピングカーのパネルと屋根はアルミニウム、グラスファイバー、プラスチックでできています。これらの素材の色は、日射やその他の環境要因の影響を受けます。材料はディスコレーションの対象となる場合があります。

定期的にワックスで処理することにより、変色を防ぎます。

変色が発生した場合は、次のようにすぐに改善する必要があります:

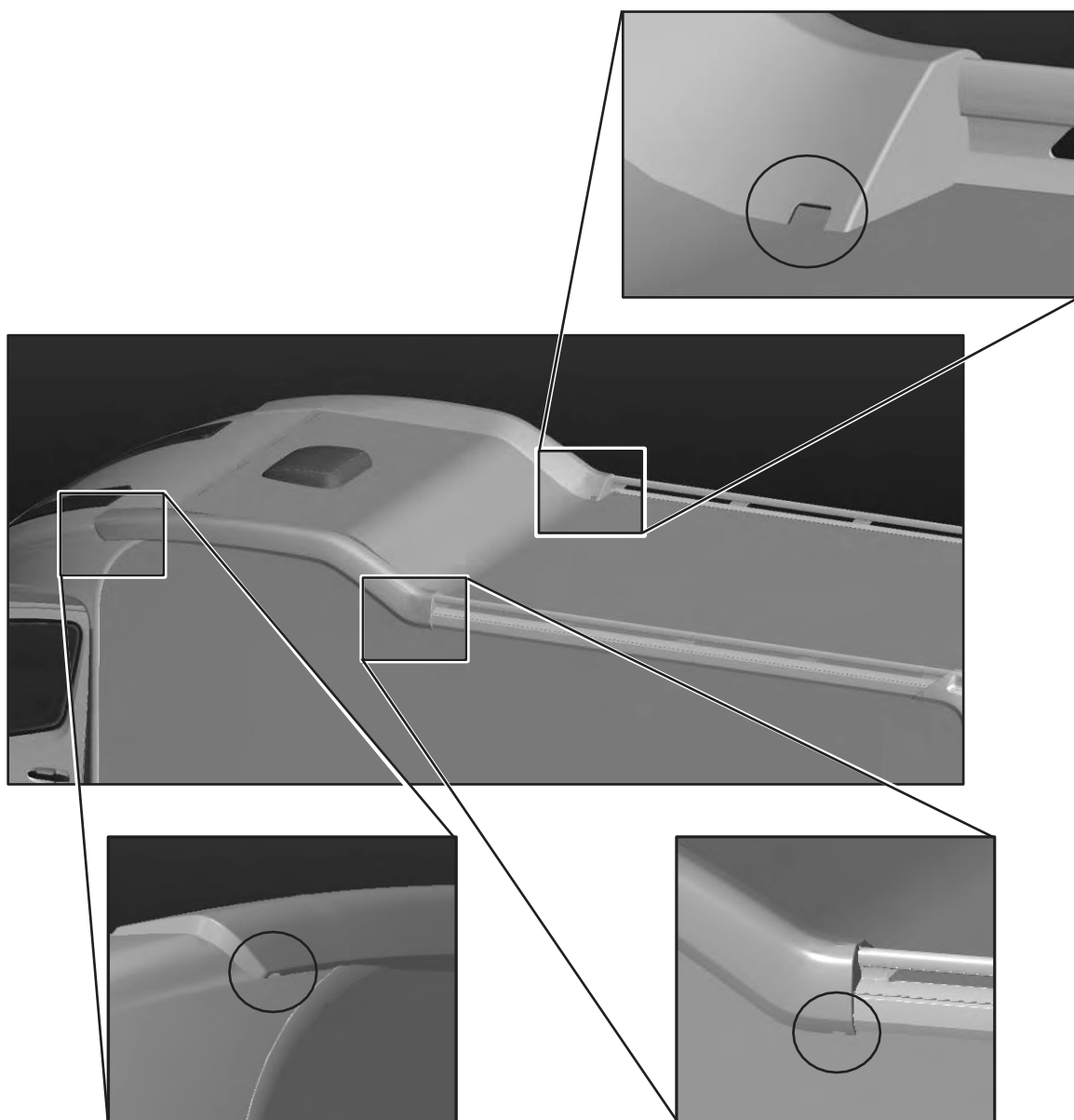
- ・ 変色を磨きます。高度なポリッシュ磨きには、最初の「こすり」が必要です。ひどい変色は、こすり磨いたりする前にウェットサンディングを必要とする場合もあります。
- ・ ポリッシュを使用して、光沢のある仕上がりに戻します。
- ・ 適切なシーラーで仕上げをシールします。
- ・ ワックスで処理することで新たな変色を防ぎます。

作業する際にトリムを傷つけないように注意して下さい。

特別清掃

これは、天井ベッドを備えたRoyal（半統合型キャンピングカー）に関連しています。水がなくなるように、排水溝が開いていることを確認して下さい。

キャンピングカーの屋根の特定のプラスチックの細部には排水溝があります。排水溝が汚れで詰まると、プラスチックの細部の下に水分が溜まる危険があります。これは損傷を引き起こす可能性があります。排水溝が開いていることを定期的に確認して下さい。



内部の掃除

繊維

掃除機とブラシを使用してクッションを掃除します。汚れは乾く前に取り除く必要があります。製造元の指示を参照して下さい。
クッションテキスタイルは取り外し可能で、必要に応じてドライクリーニング出来ます。
革で覆われたクッションは、製造元の指示に従って取り扱う必要があります。必要に応じて、ベッドカバー、カーテン、カーテンをドライクリーニング出来ます。
床材は水とテキスタイル用の中性洗剤で湿らせて(浸さずに)洗う必要があります。

天井と壁の敷物

リビングエリアの内壁には合成壁カバーが付いています。これは掃除機をかけることが出来ます。汚れは石鹼と水で取り除くことが出来ます。

湿った雑巾（マイルドな石鹼水）を使用して天井を綺麗にします。

内装品

インテリアフィッティングの木とベニヤの表面は雑巾で拭くことが出来ます。少し湿らせた布を使用して汚れを取り除きます。

溶剤などは使用しないで下さい。これらはコーティングやベニヤを溶解する可能性があります。

トイレ

製造元の指示に従ってトイレを掃除して下さい。推奨される洗浄剤のみを使用するようにして下さい。製造元の指示を参照して下さい。

まな板

まな板は未処理の表面を持つ木材です。食品の変色やその他の影響に対するまな板の耐性を高めるために、表面をキッチンワークトップ用の薬剤で処理することが出来ます。（硬質ワックス油で保護）

長期保管

ここでの長期保管とは、キャンピングカーが使用されない長期保管を指します(冬季時期)。

長期保管前の注意事項

- ・燃料を入れます。
- ・これにより、タンク内での結露の発生を回避出来ます。
- ・タイヤの空気圧を上げます。
- ・キャンピングカーを掃除する。
ボディワークを洗ってワックスをかけます。
キャンピングカーの下側を掃除します。内部を綺麗にする。
- ・ロック、ヒンジ、ドア/ハッチストリップに注油する。
- ・暖房システム内のラジエーター液に十分な凍結保護(グリコール)があることを確認して下さい。
- ・クッションやテキスタイルを取り外します。
屋内の乾燥した場所に保管して下さい。
- ・清水システムを排水して清掃します。
手順については、「使用する」を参照して下さい。
- ・清水タンクの排水コックを開いたままにします。
- ・ボイラータンク内を排水します。
- ・ドレンバルブを開いたままにします。
- ・すべての給水栓が温水と冷水の両方に対して開いた位置にあることを確認して下さい。
- ・浄水器(オプション)が取り付けられている場合は、取り外して下さい。

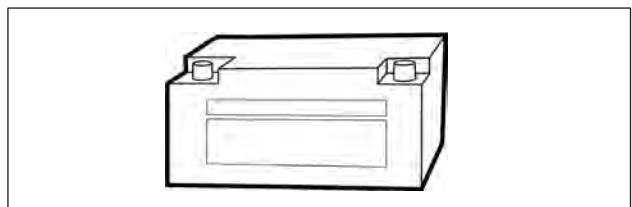
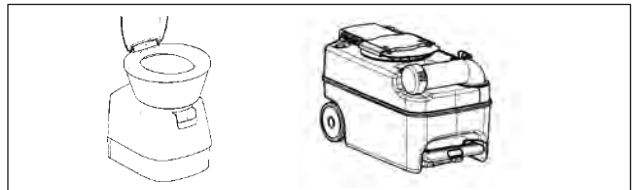
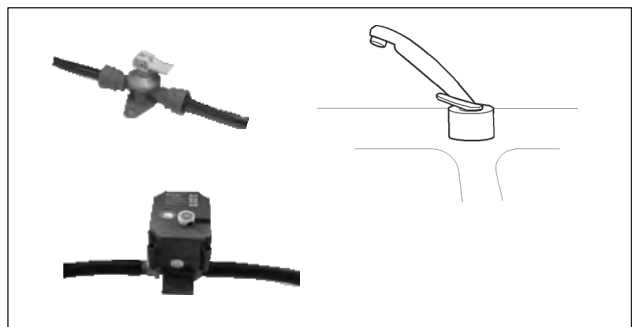
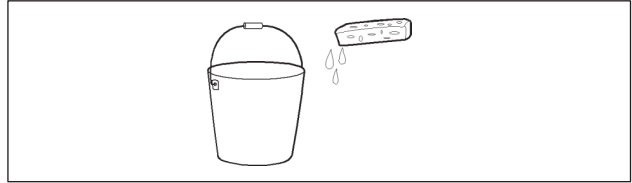
別の手順を参照して下さい。

- ・排水システムを排水して清掃します。説明については、「使用」を参照して下さい。
- ・プラグをフラッシング出口に戻さず、排水タンクを開いたままにします。これにより、排水タンク内の凍結を回避出来ます。
- ・シャワーの排水口が空であり、必要に応じて凍結から保護されていることを確認して下さい。
- ・トイレ、その接続部、汚物タンクを掃除します。
保管と凍結による損傷の回避については、製造元の指示を参照して下さい。
- ・スターターバッテリーとリビングエリアのサブバッテリーを取り外します。
- ・サブバッテリーを充電して下さい。
- ・サブバッテリーは凍結の恐れがない乾燥した場所に保管して下さい。3か月ごとにサブバッテリーをトリクル充電します。「説明 - 電気システム」セクションを参照して下さい。
- ・冷蔵庫を空にします。
- ・冷蔵庫(および該当する場合は冷凍室)のドアを少し開いたままにします。
- ・食器棚、ワードローブ、引き出し、ソファの蓋を少し開いたままにして、キャンピングカーのすべてのエリアが換気されるようにします。
- ・冬のハッチを冷蔵庫の換気グリルに取り付けます。
- ・ガスボンベのマスターバルブとすべてのガス供給バルブを閉じます。

推奨

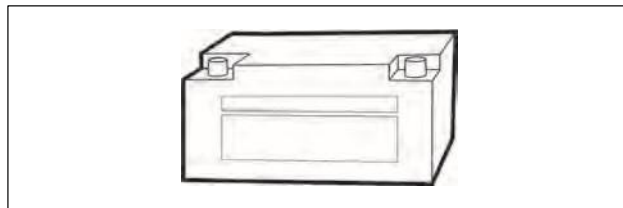
キャンピングカーに除湿機(乾燥剤)を置きます。

- ・車輪への負荷を軽減します。タイヤの変形を避けるには、タイヤの空気圧を上げて下さい。



長期保管時の注意事項

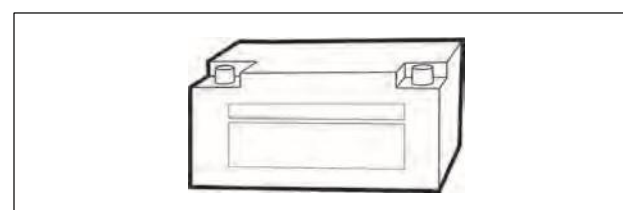
- 3ヶ月ごとにバッテリーをトリクル充電します。
「説明 - 電気システム」セクションを参照して下さい。



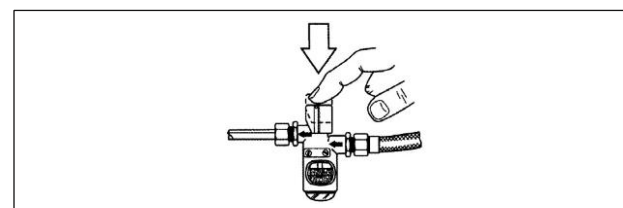
- キャンピングカーを月に一度、室内を換気して下さい。
- 除湿機の液面を確認して下さい。
- キャンピングカーの換気が妨げられていないことを確認して下さい。

長期保管後のご使用前の注意事項

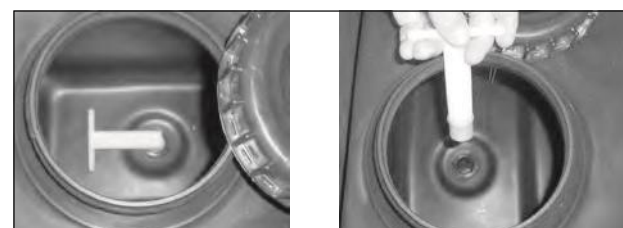
- サブバッテリーを充電して下さい。
- キャンピングカーのサブバッテリーを取り付けます。
- 回路ブレーカーが落ちていないことを確認して下さい。



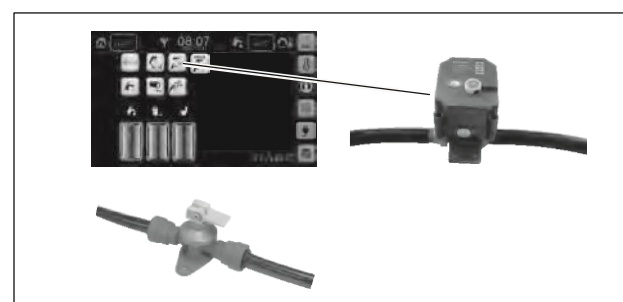
- リークインジケーターを使用して、ガスシステムを確認します。



- ゴム製のプラグを排水タンクの排水口に取り付けます。



- キャップをトイレの汚物タンクに取り付けます。
- トイレの汚物タンクが正しく配置されていることを確認して下さい。
- トイレを使用する準備が出来ていることを確認して下さい。(すべて/すべての排水/空にするデバイスは閉じられている事を確認して下さい)
- 清水タンクの排水コックを閉じます。
- 水ホースとお湯ホースのドレンコックを開きます。
- ボイラーの排水バルブを閉じます。



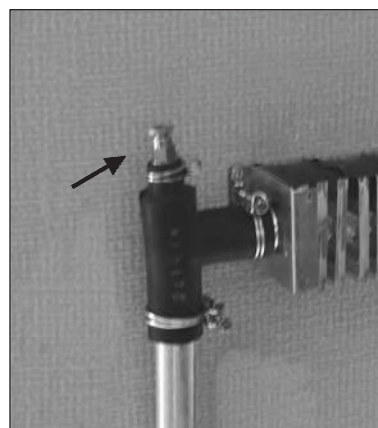
- サポートレグに注油します。
- タイヤの空気圧を確認して下さい(スペアタイヤ含む)

対流式暖房システムのエア抜き

対流式暖房システム内の空気は流体循環を妨げます、すなわち暖かさはキャンピングカー全体に広がるが出来ません。したがって、対流式暖房システムは、ニップルを介してエア抜きする必要があります。

次のようにエア抜きをする：

- 1 膨張タンクに十分な量のラジエーター液が入っている事を確認して下さい。
- 2 キャンピングカーのコントロールパネルで、循環ポンプをオフにします。
- 3 キャンピングカーを少し上り坂に向けて駐車します。エアは対流式暖房システムの前面に集まります。
- 4 ブリーディングした近くの内装具を雑巾や紙で保護して下さい。
- 5 ニップルを開き、すべての空気を排出します。ラジエーター液だけが出始めたらニップルを閉じます。
- 6 すべてのニップルをエア抜きします。
- 7 車両が少し下り坂を向くように車両を移動します。エア抜きを繰り返します。
- 8 上り坂と下り坂の駐車場を利用して交互に数回繰り返す必要があります。

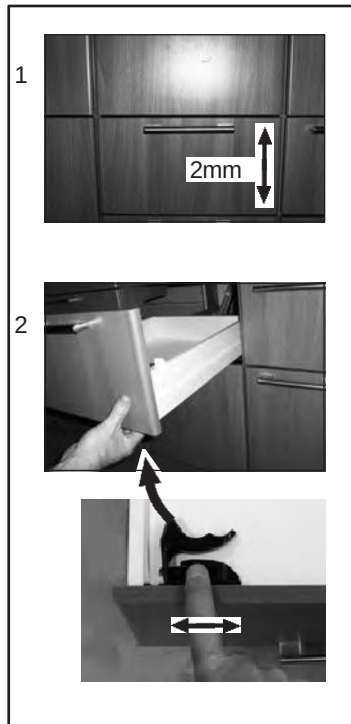


ニップルからエア抜き

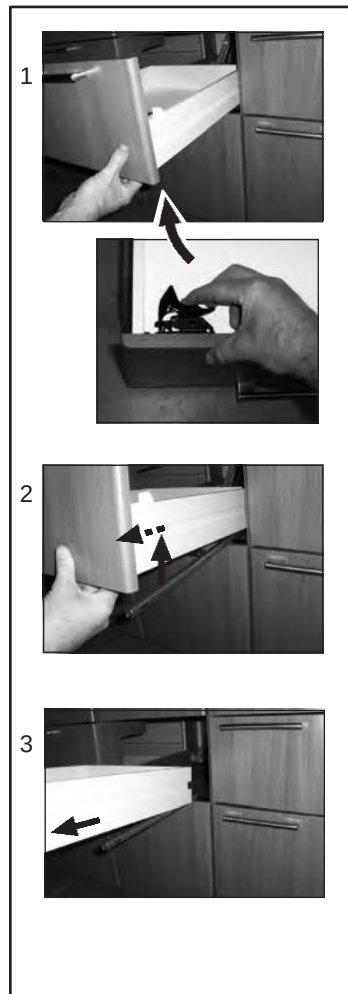
ワークトップ引き出し



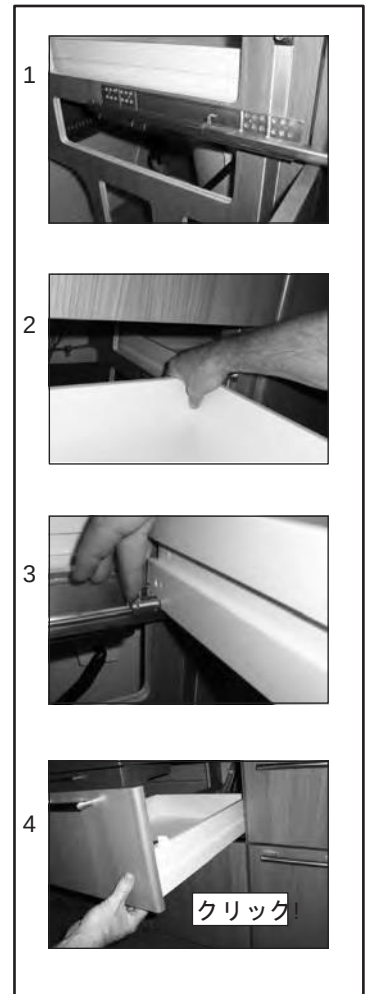
引き出し調整



引き出しの取り外し



引き出し継手



ワークトップ引き出しバスケット



引き出し式
取り外し

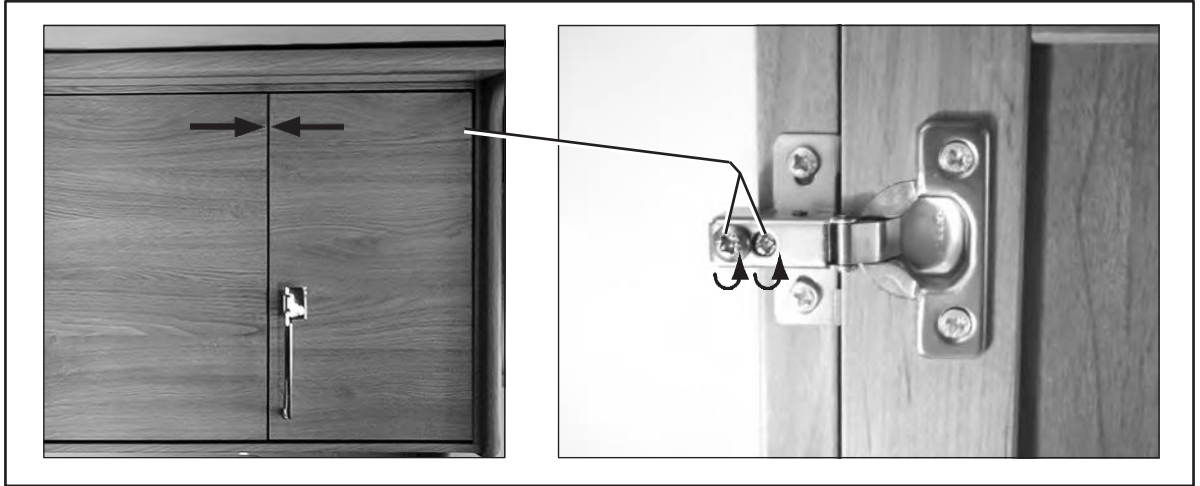
引き出し式
フィッティング

フロントパネル
の調整

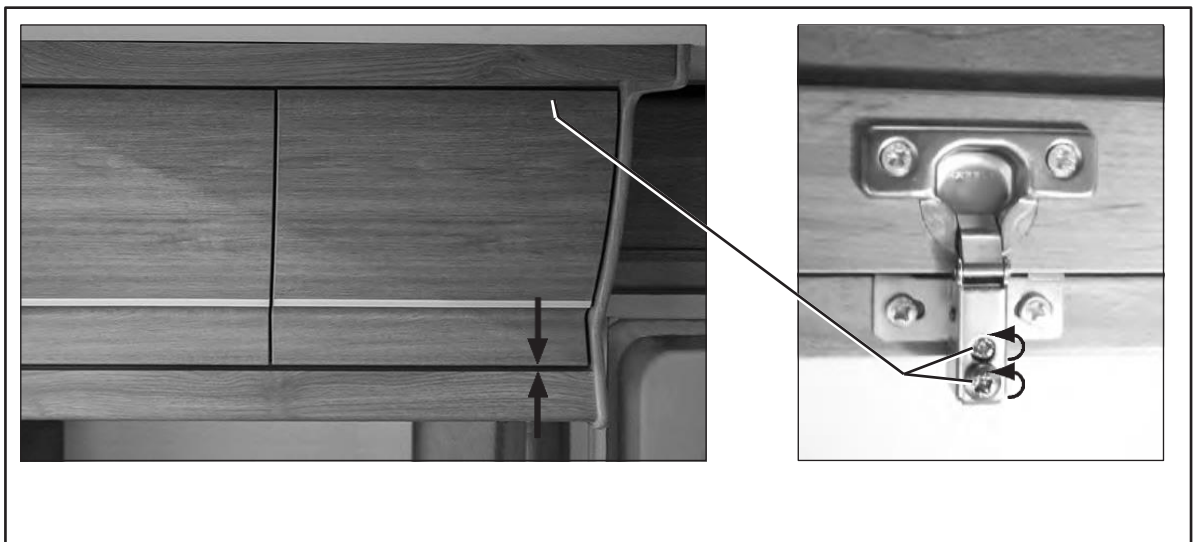


食器棚のドア調整

食器棚の扉



オーバーヘッド食器棚ドア



KABEはすべてのモデルを継続的に開発しています。このため、当社は製品の設計および機器の変更を導入する権利を留保することをご理解下さい。これらの変更は、常にユーザーマニュアルに記載されているとは限りません。このユーザーマニュアルの詳細、画像、説明は、いかなる主張の根拠にもなり得ません。



Kabe AB

www.kabejapan.com

2022/12～